

# 米に関するマンスリーレポート

## 資料編

(令和5年1月号)

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

# 目次

## 1 米の需給

主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和4年10月20日))

需給-1

## 2 米の在庫情報

令和2・3年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)

在庫-1

Excel

## 3 米の価格情報

1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和3年産)

価格-1

Excel

2 スポット価格の状況(株式会社クリスタルライス)

価格-4

3 米の現物市場の状況

価格-5

## 4 米の契約・販売情報

1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成26年産～令和3年産)

契約-1

Excel

2 令和3年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)(速報)

契約-5

Excel

3 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果(令和4年産)

契約-11

4 政府備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成23年産～令和4年産)

契約-12

## 5 支援事業等

(1) 水田活用の直接支払交付金

支援-1

(2) コメ新市場開拓等促進事業

支援-3

(3) 畑作物産地形成促進事業

支援-4

(4) 畑地化促進事業

支援-5

(5) 小麦・大豆の国産化の推進

支援-6

(6) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)

支援-7

(7) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)

支援-10

(8) 収入保険

支援-13

(9) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業

支援-15

(10) コロナ影響緩和特別対策

支援-17

(11) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

支援-18

## 6 その他

(1) 水稲うるち玄米の農産物検査結果

その他-1

(2) 国産飼料用米の使用可能数量

その他-2

(3) 麦・大豆の需要情報

① 令和4年産麦の産地別銘柄別入札結果

その他-5

② 令和4年産大豆の産地品種銘柄別入札結果

その他-7

(4) 野菜等の需給情報

その他-11

(5) 令和4年産水稲の収穫量

その他-15

(6) 年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移

その他-21

(7) 各道府県農業再生協議会等が作成した令和5年産主食用米の生産の目安等

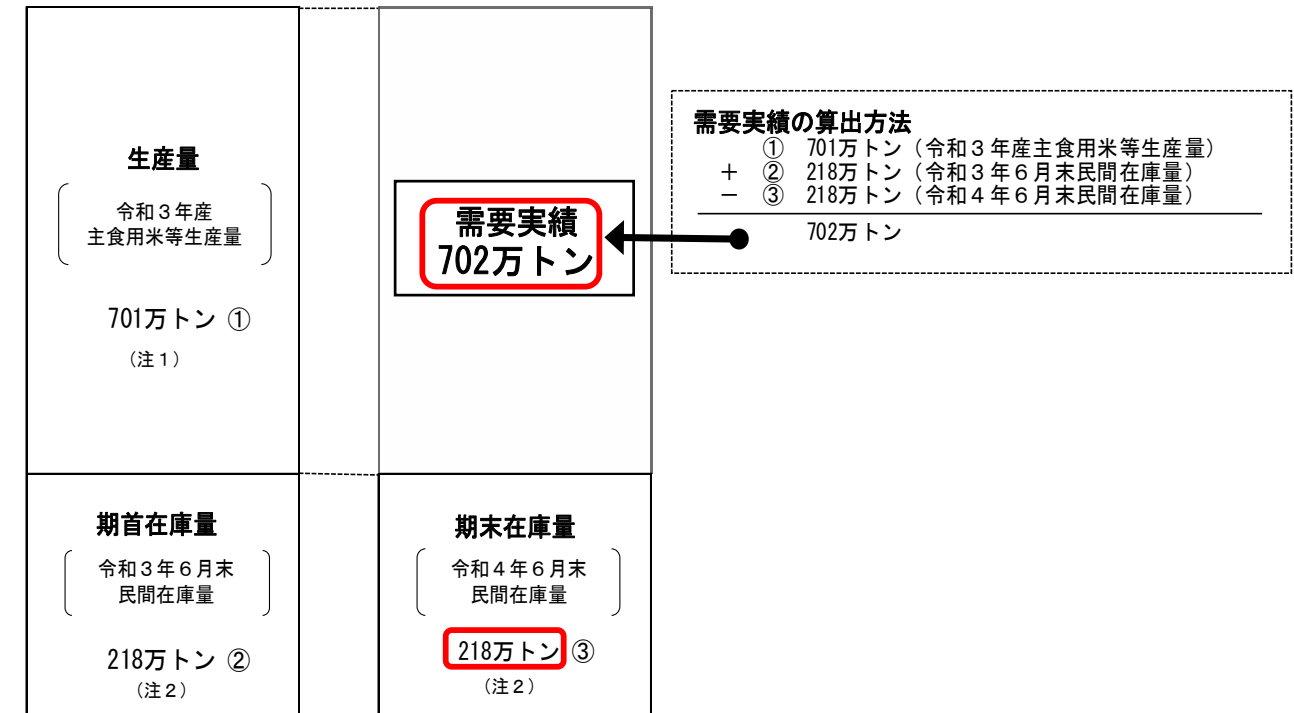
その他-23

# 1 米の需給

## 主食用米等の需給見通し（米の基本指針(令和4年10月20日)）

### (1) 令和3/4年の需要実績（確定値）

- 令和3/4年（令和3年7月から令和4年6月までの1年間）の需要実績（確定値）は、前年（701万トン）から2万トン減少し、702万トンとなった。
- 令和4年6月末民間在庫量は、前年と同数の218万トンとなった。



注1: 主食用米等生産量は、令和2年産水稻の収穫量(主食用)〔作物統計〕農林水産省大臣官房統計部である。  
注2: 6月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に10a以上の作付生産者の在庫量推計値を加えたものである。  
注3: ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

### (参考) 6月末民間在庫量の推移

(単位: 万トン)

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年 (確定値)
民間在庫	213	175	182	184	161	212	216	181	180	224	220	226	204	199	190	189	200	218	218

その他詳細な内容は、下記URL「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」をご覧ください。

URL: [https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku\\_sisin/index.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/index.html)

## (2) 全国の令和4/5年及び令和5/6年の需要見通し（推計値）

- 令和4/5年の需要見通しについて、平成30年11月の基本指針において採用した下記手法により算出すると、令和4/5年は691万トンですが、直近の米の販売量が対前年同期比で増加していることや令和4年産米の相対取引価格が令和3年産米より上昇していることによる需要量への影響等を踏まえて、需要量を691万トンから697万トンまでの6万トンの幅をもって設定。さらにこの数値から令和5/6年の需要見通しを推計すると680万トンとなる。

### 【需要見通しの算出方法】

- 平成8/9年から令和3/4年までの需要実績をそれぞれ当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量を算出
- ①で算出した値を用いたトレンド(回帰式)で、令和4/5年(令和4年7月から令和5年6月まで)及び令和5/6年(令和5年7月から令和6年6月まで)の1人当たり消費量(推計値)を算出
- ②で算出した値に令和4年及び令和5年の人口(推計値)を乗じて算出

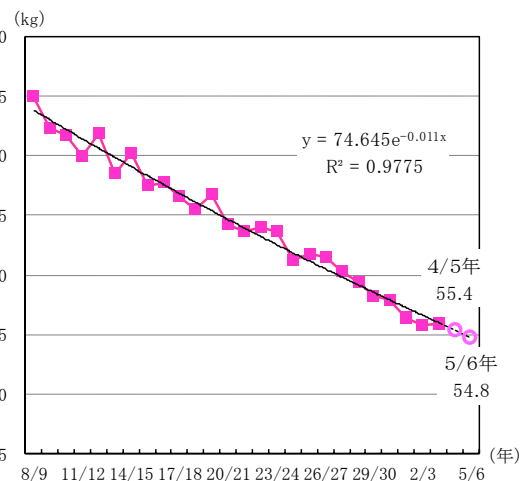
#### ① 平成8/9年から令和3/4年までの1人当たり消費量を算出

年	需要実績 ①	人口 ②	1人当たり消費量 ①/②
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	127,042	59.4
29/30	739.6	126,919	58.3
30/元	734.6	126,749	58.0
元/2	714.4	126,555	56.4
2/3	704.0	126,146	55.8
3/4	701.5	125,502	55.9

注：人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値である。

#### ② 令和4/5年及び令和5/6年の1人当たり消費量(推計値)を算出

年	x	1人当たり消費量(y)
8/9	1	75.0
9/10	2	72.4
10/11	3	71.7
11/12	4	69.9
12/13	5	71.8
13/14	6	68.5
14/15	7	70.2
15/16	8	67.5
16/17	9	67.7
17/18	10	66.7
18/19	11	65.5
19/20	12	66.7
20/21	13	64.3
21/22	14	63.6
22/23	15	64.0
23/24	16	63.6
24/25	17	61.2
25/26	18	61.7
26/27	19	61.5
27/28	20	60.3
28/29	21	59.4
29/30	22	58.3
30/元	23	58.0
元/2	24	56.4
2/3	25	55.8
3/4	26	55.9
4/5	27	55.4 (推計値)
5/6	28	54.8 (推計値)



#### ③ 令和4/5年及び令和5/6年の1人当たり消費量(推計値)に令和4年及び令和5年の人口(推計値)を乗じて需要見通しを算出

	4/5年	5/6年
1人当たり消費量(推計値) ①	55.4kg	54.8kg
	4年	5年
人口(推計値) ②	124,750千人	124,189千人
	4/5年	5/6年
需要見通し ①×②	690.9万トン	680.3万トン

注1：人口(推計値)は、令和4年においては「人口推計(総務省、令和4年9月公表)」の総人口(令和4年9月1日現在(概算値)。以下「令和4年9月現在人口」という。)、令和5年においては令和4年9月現在人口に「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、平成29年4月公表)」の令和4年10月1日から令和5年10月1日までの総人口(出生中位・死亡中位推計)の減少率を乗じて算出した値。

注2：図中の需要見通しは、1人当たり消費量(推計値)の実数に、人口(推計値)の実数を乗じて算出した値のため、図中の1人当たり消費量(推計値)(小数点第2位を四捨五入)に人口(推計値)(小数点第1位を四捨五入)を乗じて算出した値とは一致しない。

### (3) 令和4/5年及び令和5/6年の需給見通し

- 令和4/5年の需給見通しについては、需要量を前記で算出した691万トンから697万トンまでの6万トンの幅をもって設定。この結果、令和5年6月末民間在庫量は191～197万トンと見通す。
- 令和5/6年の需給見通しについては、需要量を前記で算出した680万トンと見込む中で、令和4年産米と同水準の作付面積として生産量を設定しても、669万トンと需要量を11万トン下回ることから、令和4年産米と同水準の作付面積とした生産量の669万トンと設定。この結果、令和6年6月末民間在庫量は180～186万トンと見通す。

#### 令和4/5年及び令和5/6年の主食用米等の需給見通し

令和2年産米のコロナ影響緩和特別対策（特別枠）を除いた場合の見通し

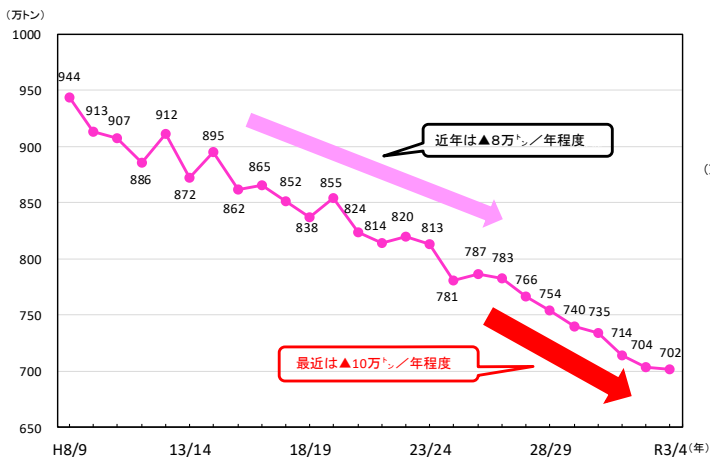
(単位：万トン)

令和4/5年	令和4年6月末民間在庫量	A	218	→	209	《9》
	令和4年産主食用米等生産量	B	670			
	令和4/5年主食用米等供給量計	C = A + B	888	→	879	《9》
	令和4/5年主食用米等需要量	D	691 ~ 697			
	令和5年6月末民間在庫量	E = C - D	191 ~ 197	→	182 ~ 188	《9》

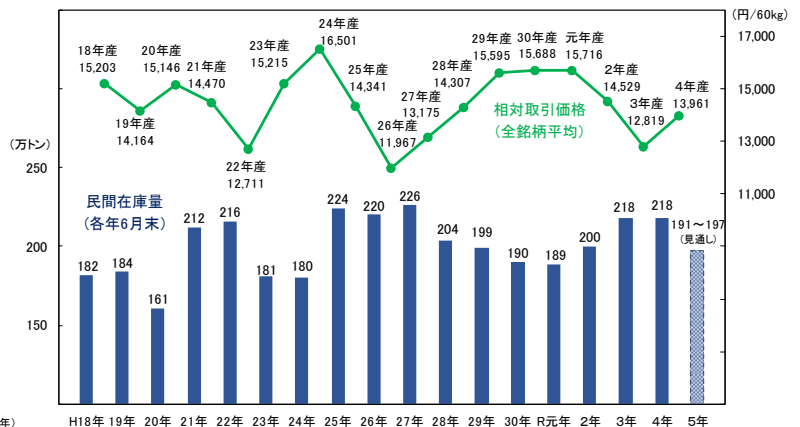
令和5/6年	令和5年6月末民間在庫量	E	191 ~ 197
	令和5年産主食用米等生産量	F	669
	令和5/6年主食用米等供給量計	G = E + F	860 ~ 866
	令和5/6年主食用米等需要量	H	680
	令和6年6月末民間在庫量	I = G - H	180 ~ 186

- 注1：「主食用米等」の中には、主食用に供給されるもののほか、加工用途及び輸出用に供給されているものの一部が含まれている。  
 注2：欄外の記載は、令和2年産米の15万トンについて、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）に取り組む場合の見通し。  
 注3：主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）の販売・提供動向等によって、今後、変動する可能性がある。  
 注4：上記の需給見通しのほか、SBS方式による輸入予定数量を最大とした数量が主食用等として流通する見通し。  
 注5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

#### (参考) 主食用米の需要量の推移



#### (参考) 相対取引価格と民間在庫量



## 2 米の在庫情報

### 令和2・3年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)

(北海道から秋田)

(単位:千玄米トン)

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
北海道	出荷+販売段階	160.3	125.1	231.1	361.6	408.6	404.3	383.2	350.1	316.6	277.0	234.9	196.0	
	3年産米		0.0	135.2	276.2	334.7	342.3	331.4	305.8	279.4	245.2	208.9	173.6	
	1年古米(2年産)	153.7	119.5	91.9	82.4	71.8	60.3	50.4	43.1	36.3	30.9	25.4	21.8	
	出荷段階	135.1	103.6	204.6	312.2	356.5	345.2	332.0	304.4	272.8	236.3	201.1	167.0	
	3年産米			124.8	244.8	297.0	296.4	290.2	268.4	243.0	211.6	180.0	148.4	
	1年古米(2年産)	132.2	101.1	78.1	66.0	58.4	47.8	41.1	35.4	29.2	24.4	20.8	18.5	
	販売段階	25.2	21.5	26.5	49.5	52.1	59.2	51.2	45.6	43.8	40.6	33.8	29.0	
	3年産米		0.0	10.4	31.4	37.8	45.9	41.2	37.4	36.3	33.6	28.8	25.3	
	1年古米(2年産)	21.5	18.4	13.8	16.4	13.4	12.5	9.3	7.8	7.1	6.6	4.6	3.3	
	青森	出荷+販売段階	83.4	68.1	108.7	156.8	173.4	168.9	151.9	131.4	118.8	104.1	89.5	76.7
		3年産米			54.2	108.1	133.1	135.9	124.4	107.6	98.3	85.8	73.3	61.9
		1年古米(2年産)	80.4	65.6	52.4	47.0	38.9	31.9	26.6	22.8	19.7	17.5	15.4	14.2
出荷段階		64.9	52.5	94.7	135.9	155.3	151.5	137.9	117.6	104.7	89.8	77.2	64.6	
3年産米				53.1	100.5	124.7	125.2	115.1	97.3	86.8	73.9	63.3	51.3	
1年古米(2年産)		64.6	52.3	41.4	35.2	30.5	26.1	22.7	20.2	17.8	15.8	13.9	13.3	
販売段階		18.4	15.5	14.1	20.9	18.0	17.5	14.1	13.8	14.1	14.3	12.3	12.1	
3年産米				1.2	7.6	8.4	10.7	9.3	10.3	11.5	11.9	10.1	10.6	
1年古米(2年産)		15.8	13.3	11.0	11.8	8.4	5.8	3.9	2.7	1.9	1.7	1.5	0.9	
岩手		出荷+販売段階	69.9	54.5	59.0	132.5	148.6	169.8	159.9	149.0	136.9	121.7	107.8	94.0
		3年産米			19.1	98.4	119.7	145.1	138.5	131.6	123.3	114.0	101.8	89.1
		1年古米(2年産)	68.2	53.2	39.0	33.4	28.4	24.3	21.0	17.0	13.2	7.5	5.9	4.8
	出荷段階	56.9	45.4	51.1	117.9	133.7	155.5	147.4	137.4	122.0	106.9	96.3	84.9	
	3年産米			17.5	90.7	110.5	135.9	130.4	123.9	113.3	101.3	91.9	81.2	
	1年古米(2年産)	56.2	44.9	33.3	27.0	22.9	19.5	16.8	13.4	8.5	5.5	4.3	3.7	
	販売段階	13.1	9.1	7.9	14.5	14.9	14.3	12.4	11.6	14.9	14.9	11.5	9.1	
	3年産米			1.6	7.7	9.2	9.2	8.1	7.8	10.0	12.8	9.8	7.9	
	1年古米(2年産)	12.0	8.3	5.8	6.4	5.5	4.9	4.2	3.7	4.7	2.0	1.5	1.1	
	宮城	出荷+販売段階	116.6	97.4	137.6	220.1	213.7	206.9	201.7	200.9	187.1	166.0	144.2	126.2
		3年産米		0.0	58.0	141.4	146.2	153.1	160.4	168.5	161.0	143.2	124.5	109.4
		1年古米(2年産)	114.1	95.4	77.9	77.4	66.5	53.1	40.7	31.9	25.7	22.3	19.4	16.6
出荷段階		99.3	84.9	123.9	191.3	186.9	182.9	182.8	183.3	165.9	145.9	128.1	111.0	
3年産米				53.7	129.3	132.6	139.0	148.1	155.9	143.8	126.6	111.2	96.4	
1年古米(2年産)		98.6	84.4	69.7	61.7	54.0	43.7	34.6	27.3	22.0	19.2	16.9	14.5	
販売段階		17.4	12.5	13.7	28.8	26.8	24.1	18.8	17.6	21.3	20.1	16.1	15.3	
3年産米			0.0	4.4	12.1	13.6	14.1	12.3	12.6	17.2	16.6	13.3	12.9	
1年古米(2年産)		15.5	11.0	8.2	15.7	12.5	9.4	6.0	4.6	3.7	3.1	2.5	2.1	
秋田		出荷+販売段階	100.2	73.3	160.2	291.6	300.8	296.5	276.3	250.4	222.5	193.4	163.7	136.0
		3年産米			109.3	244.4	259.2	259.7	244.6	223.0	198.6	172.6	146.4	120.2
		1年古米(2年産)	96.9	70.7	48.7	45.5	40.1	35.6	30.6	26.4	23.0	20.1	16.7	15.4
	出荷段階	81.8	60.0	145.8	268.3	274.2	265.1	249.3	226.2	196.5	168.9	144.5	118.7	
	3年産米			105.7	233.5	244.4	240.9	228.6	207.6	179.5	153.6	131.4	106.5	
	1年古米(2年産)	80.4	59.0	39.2	34.4	29.3	23.7	20.3	18.3	16.8	15.3	13.1	12.2	
	販売段階	18.5	13.3	14.5	23.2	26.6	31.5	27.1	24.2	25.9	24.5	19.2	17.3	
	3年産米			3.6	10.9	14.8	18.7	15.9	15.4	19.1	19.0	15.0	13.7	
	1年古米(2年産)	16.5	11.7	9.5	11.2	10.8	11.9	10.4	8.1	6.2	4.8	3.7	3.2	

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
山形	出荷+販売段階	89.1	71.4	100.0	207.1	217.6	217.2	200.4	192.5	167.8	144.8	124.7	107.3	
	3年産米		0.0	46.8	159.8	180.5	189.8	178.6	172.3	153.8	137.9	119.5	102.8	
	1年古米(2年産)	83.6	66.9	49.5	44.1	34.2	24.9	19.9	18.4	12.6	6.0	4.3	3.7	
	出荷段階	75.8	60.1	89.5	187.8	199.9	201.1	187.7	175.5	152.2	130.8	112.6	95.7	
	3年産米			45.9	152.4	171.6	180.1	170.1	163.6	145.2	127.5	110.0	93.5	
	1年古米(2年産)	73.5	58.3	42.0	33.9	26.8	19.6	16.4	10.8	6.0	2.6	1.9	1.6	
	販売段階	13.4	11.3	10.5	19.3	17.7	16.1	12.7	17.0	15.6	14.1	12.1	11.6	
	3年産米		0.0	0.9	7.4	8.9	9.6	8.5	8.8	8.6	10.4	9.5	9.4	
	1年古米(2年産)	10.1	8.6	7.5	10.2	7.4	5.3	3.4	7.6	6.6	3.4	2.4	2.1	
	福島	出荷+販売段階	95.8	77.2	80.1	197.7	193.9	191.4	174.5	158.3	140.3	123.8	109.3	94.4
		3年産米		0.0	17.2	138.2	144.5	150.9	142.4	133.7	123.1	112.9	100.6	87.1
		1年古米(2年産)	88.8	71.4	58.1	55.6	45.9	37.4	29.3	22.0	15.0	9.6	7.4	6.1
出荷段階		72.3	58.4	65.3	161.9	158.9	157.5	144.8	130.5	112.7	96.1	85.2	72.4	
3年産米			0.0	16.2	126.3	128.5	131.7	123.3	113.2	100.3	88.7	79.1	67.4	
1年古米(2年産)		68.3	54.9	46.2	33.0	28.1	23.6	19.5	15.4	10.8	6.5	5.3	4.3	
販売段階		23.5	18.9	14.8	35.8	35.0	33.9	29.7	27.8	27.6	27.8	24.1	22.0	
3年産米			0.0	1.0	11.8	16.1	19.1	19.1	20.5	22.8	24.2	21.5	19.7	
1年古米(2年産)		20.4	16.5	11.8	22.6	17.8	13.8	9.8	6.6	4.2	3.1	2.1	1.9	
茨城		出荷+販売段階	43.7	53.3	138.3	155.4	151.2	143.8	133.4	114.9	100.7	86.6	72.3	59.9
		3年産米		20.8	112.2	132.3	131.3	127.4	118.5	101.1	88.1	75.0	61.7	50.2
		1年古米(2年産)	41.6	30.8	24.7	21.7	18.6	15.3	13.9	12.8	11.6	10.7	9.9	9.0
	出荷段階	26.8	34.7	104.7	120.1	118.8	113.3	106.0	88.9	76.1	64.9	53.5	43.4	
	3年産米		14.6	88.6	105.7	105.3	101.9	95.2	78.7	66.5	55.8	44.9	35.3	
	1年古米(2年産)	26.4	19.8	15.9	14.2	13.3	11.2	10.6	10.0	9.5	9.1	8.6	8.0	
	販売段階	16.8	18.6	33.6	35.2	32.3	30.5	27.5	26.0	24.5	21.6	18.8	16.5	
	3年産米		6.2	23.6	26.6	26.0	25.5	23.3	22.4	21.6	19.2	16.8	14.8	
	1年古米(2年産)	15.2	11.0	8.8	7.5	5.3	4.1	3.3	2.9	2.1	1.7	1.3	1.0	
	栃木	出荷+販売段階	96.8	80.5	140.1	184.7	190.9	195.9	183.9	173.9	169.8	151.6	134.4	116.6
		3年産米		0.0	71.5	121.3	138.1	150.4	145.0	139.9	138.3	124.0	109.8	94.6
		1年古米(2年産)	93.5	77.7	66.2	61.7	51.8	45.1	38.7	33.9	31.4	27.5	24.5	22.0
出荷段階		74.5	64.1	120.4	157.9	166.4	173.2	165.1	155.5	141.5	124.8	112.3	97.0	
3年産米				65.0	109.4	124.3	136.5	132.4	126.2	116.2	102.1	91.3	78.0	
1年古米(2年産)		74.4	64.0	55.3	48.4	42.1	36.6	32.7	29.3	25.3	22.8	21.0	19.1	
販売段階		22.3	16.4	19.7	26.9	24.5	22.7	18.7	18.4	28.3	26.8	22.1	19.6	
3年産米			0.0	6.6	11.9	13.8	13.9	12.6	13.7	22.1	22.0	18.5	16.6	
1年古米(2年産)		19.1	13.7	10.9	13.3	9.7	8.5	6.0	4.6	6.1	4.7	3.5	2.9	
群馬		出荷+販売段階	10.7	9.4	8.3	7.4	18.7	27.9	24.1	17.0	15.7	15.1	13.6	11.5
		3年産米			0.1	0.9	13.1	23.0	19.8	13.2	12.3	11.8	10.5	8.8
		1年古米(2年産)	10.1	9.0	7.8	6.1	5.2	4.6	4.0	3.5	3.2	3.0	2.9	2.5
	出荷段階	8.3	7.7	6.6	5.1	16.4	25.6	21.5	13.9	12.9	12.2	11.2	9.5	
	3年産米				0.8	12.7	22.2	18.6	11.4	10.6	10.1	9.1	7.5	
	1年古米(2年産)	8.3	7.7	6.6	4.3	3.8	3.4	2.9	2.5	2.3	2.2	2.1	2.0	
	販売段階	2.4	1.7	1.7	2.3	2.2	2.3	2.6	3.1	2.9	2.9	2.4	2.0	
	3年産米			0.1	0.1	0.4	0.8	1.2	1.8	1.7	1.8	1.4	1.2	
	1年古米(2年産)	1.9	1.3	1.2	1.8	1.4	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.5	
	埼玉	出荷+販売段階	17.5	14.5	23.7	36.1	41.5	40.6	37.1	36.1	32.9	28.3	23.3	19.3
		3年産米		0.4	12.0	26.2	33.4	33.6	30.7	30.3	27.4	23.7	19.5	16.0
		1年古米(2年産)	17.4	14.0	11.6	9.8	8.1	6.9	6.3	5.8	5.4	4.6	3.8	3.3
出荷段階		13.6	11.0	18.7	29.8	34.7	33.5	31.3	30.7	26.9	23.3	19.5	15.8	
3年産米			0.0	9.9	21.9	28.0	27.9	26.0	25.8	22.6	19.4	16.0	12.8	
1年古米(2年産)		13.6	10.9	8.8	7.9	6.8	5.6	5.2	4.9	4.3	3.9	3.4	3.1	
販売段階		3.9	3.5	5.1	6.3	6.8	7.2	5.9	5.5	5.9	5.0	3.9	3.5	
3年産米			0.4	2.1	4.3	5.4	5.8	4.7	4.5	4.8	4.3	3.5	3.3	
1年古米(2年産)		3.8	3.0	2.8	1.9	1.3	1.3	1.1	0.9	1.1	0.7	0.3	0.2	

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	35.8	66.6	108.0	101.3	95.7	89.2	80.0	73.2	64.0	54.4	44.2	30.1
	3年産米	0.0	38.2	82.9	78.4	74.2	67.2	59.4	54.5	46.5	37.9	28.7	16.3
	1年古米(2年産)	35.1	27.9	24.6	22.5	21.1	21.7	20.3	18.5	17.3	16.4	15.4	13.8
	出荷段階	26.1	51.9	91.3	85.7	80.8	73.1	66.7	61.7	49.8	40.3	32.2	19.5
	3年産米		35.4	75.9	71.0	66.5	58.9	53.0	48.7	40.2	30.9	23.1	11.1
	1年古米(2年産)	26.0	16.4	15.4	14.6	14.3	14.1	13.8	12.9	9.5	9.4	9.1	8.4
	販売段階	9.8	14.7	16.7	15.6	14.9	16.1	13.3	11.5	14.2	14.1	12.0	10.5
	3年産米	0.0	2.8	7.0	7.4	7.7	8.3	6.4	5.8	6.3	7.0	5.6	5.1
	1年古米(2年産)	9.0	11.4	9.3	7.8	6.8	7.5	6.6	5.6	7.8	7.0	6.3	5.4
	東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3年産米					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1年古米(2年産)		0.0	0.0	0.0	0.0								
出荷段階													
3年産米													
1年古米(2年産)													
販売段階		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3年産米					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1年古米(2年産)		0.0	0.0	0.0	0.0								
神奈川		出荷+販売段階	0.6	0.4	0.6	2.2	2.1	2.0	1.7	1.6	1.4	1.3	1.0
	3年産米			0.4	2.2	2.1	1.9	1.7	1.6	1.4	1.2	1.0	0.8
	1年古米(2年産)	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.5	0.3	0.5	2.2	2.1	1.9	1.7	1.5	1.4	1.2	0.9	0.7
	3年産米			0.4	2.1	2.0	1.9	1.7	1.5	1.3	1.2	0.9	0.7
	1年古米(2年産)	0.5	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	3年産米				0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	1年古米(2年産)	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0					
	山梨	出荷+販売段階	1.8	1.3	1.8	3.7	3.8	4.8	4.5	4.1	3.1	2.7	2.4
3年産米				1.0	3.1	3.4	4.6	4.4	4.1	3.1	2.7	2.4	2.0
1年古米(2年産)		1.8	1.3	0.8	0.6	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
出荷段階		1.5	1.1	1.7	3.4	3.3	4.2	4.0	3.7	2.7	2.3	2.1	1.7
3年産米				1.0	3.0	3.0	4.1	3.9	3.7	2.7	2.3	2.1	1.7
1年古米(2年産)		1.5	1.1	0.6	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0			
販売段階		0.2	0.2	0.2	0.3	0.5	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
3年産米				0.0	0.2	0.3	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
1年古米(2年産)		0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長野		出荷+販売段階	32.0	23.8	30.9	62.5	76.4	72.5	66.2	59.6	53.8	48.9	43.8
	3年産米			14.1	47.9	65.2	64.7	60.6	56.3	52.2	47.6	42.8	37.4
	1年古米(2年産)	29.8	22.0	15.3	13.7	10.6	7.4	5.2	3.1	1.5	1.2	0.9	0.7
	出荷段階	24.8	18.6	26.4	54.8	69.0	66.0	60.7	54.3	49.3	44.6	40.2	34.8
	3年産米			13.1	44.9	61.2	60.4	56.9	52.3	48.7	44.1	39.8	34.5
	1年古米(2年産)	23.8	17.7	12.7	9.4	7.5	5.3	3.6	1.9	0.6	0.4	0.3	0.3
	販売段階	7.3	5.2	4.5	7.7	7.4	6.6	5.5	5.3	4.5	4.3	3.6	3.4
	3年産米			1.1	3.0	4.0	4.3	3.8	4.0	3.5	3.4	2.9	2.9
	1年古米(2年産)	6.0	4.3	2.6	4.3	3.1	2.1	1.6	1.2	0.9	0.8	0.6	0.5
	静岡	出荷+販売段階	2.9	3.7	15.2	20.0	19.6	18.0	14.7	13.1	11.4	9.4	7.6
3年産米			2.0	14.2	19.4	19.2	17.7	14.5	12.9	11.2	9.3	7.6	5.7
1年古米(2年産)		2.9	1.7	1.0	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0
出荷段階		0.6	1.3	9.0	13.0	13.1	12.3	9.5	8.7	7.6	6.3	5.2	1.6
3年産米			1.0	8.9	12.9	13.0	12.2	9.5	8.7	7.6	6.3	5.2	1.6
1年古米(2年産)		0.6	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0					
販売段階		2.3	2.4	6.3	7.1	6.6	5.8	5.2	4.4	3.7	3.1	2.5	4.1
3年産米			0.9	5.4	6.5	6.2	5.4	5.0	4.2	3.6	3.1	2.4	4.1
1年古米(2年産)		2.3	1.4	0.9	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0



		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
新潟	出荷+販売段階	88.3	58.1	213.9	296.3	294.2	266.7	241.4	215.8	187.0	158.0	131.1	106.9	
	3年産米		0.6	175.0	265.8	268.4	244.7	222.9	200.2	174.0	146.5	120.7	98.1	
	1年古米(2年産)	84.0	53.8	35.4	28.2	23.8	20.3	16.9	14.1	11.9	10.7	9.6	8.4	
	出荷段階	67.6	42.6	190.4	266.3	265.5	237.8	215.0	191.7	163.0	133.9	110.5	85.0	
	3年産米		0.5	162.3	244.3	246.9	222.1	201.8	180.6	154.1	126.1	103.5	78.8	
	1年古米(2年産)	66.3	40.9	27.0	20.9	17.7	14.8	12.5	10.5	8.5	7.7	7.0	6.1	
	販売段階	20.7	15.6	23.5	30.0	28.7	29.0	26.4	24.1	24.0	24.1	20.5	21.9	
	3年産米		0.1	12.8	21.5	21.5	22.6	21.1	19.6	19.9	20.4	17.3	19.2	
	1年古米(2年産)	17.7	12.9	8.4	7.3	6.1	5.4	4.4	3.6	3.4	2.9	2.6	2.2	
	富山	出荷+販売段階	37.5	29.8	77.6	104.5	100.7	97.4	88.9	81.8	72.0	62.4	51.7	39.0
		3年産米		0.7	54.4	85.2	88.1	83.2	77.0	71.7	64.4	57.1	48.5	36.7
		1年古米(2年産)	36.2	28.0	22.4	18.7	12.0	13.7	11.5	9.7	7.3	5.0	3.0	2.2
出荷段階		30.1	24.7	71.1	86.4	83.2	77.4	71.7	66.9	59.0	51.5	44.7	32.0	
3年産米			0.4	51.3	80.4	82.6	76.9	71.3	66.6	58.8	51.3	44.5	31.8	
1年古米(2年産)		30.1	24.2	19.8	6.0	0.7	0.5	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	
販売段階		7.4	5.1	6.4	18.2	17.4	20.0	17.3	14.8	13.0	10.9	7.1	7.1	
3年産米			0.3	3.0	4.8	5.6	6.3	5.7	5.1	5.7	5.9	4.0	4.8	
1年古米(2年産)		6.2	3.8	2.6	12.8	11.3	13.2	11.1	9.3	7.1	4.8	2.9	2.1	
石川		出荷+販売段階	22.6	20.8	65.2	77.0	72.6	67.3	61.1	55.0	50.2	44.3	38.7	31.9
		3年産米		3.4	50.4	64.5	61.8	58.2	53.7	49.6	45.6	40.5	35.4	29.0
		1年古米(2年産)	21.0	16.4	13.8	11.8	10.2	8.4	6.9	4.9	4.3	3.6	3.1	2.7
	出荷段階	15.7	15.5	47.7	56.9	54.0	51.2	47.4	43.1	38.3	34.8	31.3	25.5	
	3年産米		2.2	36.4	48.3	46.2	44.6	41.8	38.8	35.3	32.2	28.9	23.2	
	1年古米(2年産)	14.9	12.6	10.8	8.1	7.4	6.3	5.3	4.0	2.9	2.6	2.4	2.3	
	販売段階	7.0	5.4	17.5	20.1	18.6	16.0	13.6	11.9	11.9	9.5	7.3	6.4	
	3年産米		1.1	14.1	16.1	15.5	13.6	11.9	10.8	10.3	8.3	6.5	5.8	
	1年古米(2年産)	6.1	3.8	3.0	3.7	2.8	2.1	1.5	0.9	1.4	0.9	0.7	0.4	
	福井	出荷+販売段階	21.8	22.3	51.8	69.0	65.1	59.3	54.0	48.1	41.9	37.7	31.7	26.0
		3年産米		4.8	36.4	56.1	53.5	49.6	45.9	40.7	36.7	32.4	26.8	21.6
		1年古米(2年産)	20.4	16.4	14.5	12.2	11.1	9.3	8.0	7.3	5.0	5.2	4.8	4.3
出荷段階		15.9	14.3	37.4	52.0	50.6	46.6	43.8	39.5	34.2	30.4	26.0	20.8	
3年産米			2.1	26.6	45.3	44.4	41.4	39.1	35.1	31.5	27.8	23.4	18.3	
1年古米(2年産)		15.7	12.0	10.7	6.6	6.1	5.2	4.8	4.4	2.7	2.6	2.6	2.5	
販売段階		5.9	8.0	14.4	17.0	14.5	12.7	10.2	8.6	7.7	7.4	5.7	5.2	
3年産米			2.7	9.8	10.8	9.1	8.2	6.8	5.6	5.2	4.7	3.4	3.3	
1年古米(2年産)		4.7	4.4	3.8	5.7	5.0	4.1	3.2	2.8	2.3	2.6	2.2	1.8	
岐阜		出荷+販売段階	12.1	10.3	11.5	16.7	22.9	29.5	27.5	26.3	24.7	21.9	19.9	17.3
		3年産米		0.5	3.5	9.7	16.8	24.5	23.2	22.7	21.6	19.2	17.4	15.2
		1年古米(2年産)	10.4	8.6	6.9	6.2	5.2	4.3	3.6	3.1	2.6	2.3	2.1	1.8
	出荷段階	5.7	4.0	5.9	9.0	15.1	22.4	21.3	20.8	19.1	17.1	15.1	12.3	
	3年産米		0.3	2.6	7.6	13.9	21.4	20.3	19.9	18.3	16.3	14.4	11.7	
	1年古米(2年産)	5.4	3.5	3.0	1.3	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	
	販売段階	6.4	6.3	5.6	7.7	7.7	7.1	6.1	5.5	5.6	4.8	4.8	5.0	
	3年産米		0.2	0.9	2.1	2.9	3.1	2.9	2.8	3.3	2.9	3.1	3.5	
	1年古米(2年産)	5.0	5.1	3.9	4.9	4.2	3.5	2.8	2.5	2.0	1.6	1.5	1.3	
	愛知	出荷+販売段階	12.2	10.7	15.5	24.4	35.9	39.4	36.1	32.7	28.7	24.8	20.8	16.6
		3年産米		1.8	9.3	20.6	32.7	36.7	33.9	30.9	27.4	23.8	20.0	16.0
		1年古米(2年産)	11.8	8.6	6.0	3.6	3.1	2.6	2.2	1.7	1.2	1.0	0.7	0.6
出荷段階		9.3	8.1	12.1	19.4	29.9	33.0	30.6	27.8	24.4	20.9	17.6	13.6	
3年産米			1.4	8.1	17.9	28.6	31.9	29.6	27.0	24.0	20.4	17.2	13.3	
1年古米(2年産)		9.3	6.6	4.0	1.5	1.3	1.1	1.0	0.7	0.5	0.5	0.4	0.3	
販売段階		2.9	2.7	3.4	5.0	6.0	6.3	5.5	4.9	4.3	3.9	3.2	3.0	
3年産米			0.4	1.2	2.7	4.1	4.7	4.2	3.8	3.4	3.3	2.8	2.7	
1年古米(2年産)		2.5	2.0	1.9	2.1	1.8	1.5	1.2	1.0	0.8	0.6	0.3	0.3	

(三重から奈良)

(単位:千玄米トン)

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	9.4	14.1	37.1	42.4	41.6	38.6	36.1	33.3	29.8	25.7	21.0	15.8
	3年産米		6.9	31.2	37.2	36.9	34.7	32.6	30.0	26.5	22.4	18.1	13.3
	1年古米(2年産)	8.4	6.3	5.1	5.0	4.6	3.8	3.5	3.2	2.7	2.7	2.3	2.0
	出荷段階	6.9	11.2	33.6	37.3	36.6	34.2	32.0	29.6	25.6	21.1	17.6	12.6
	3年産米		5.8	28.9	33.9	33.5	31.4	29.2	27.1	23.5	19.2	15.8	11.0
	1年古米(2年産)	6.1	4.6	4.0	3.4	3.1	2.8	2.7	2.5	2.1	1.9	1.7	1.6
	販売段階	2.5	2.8	3.5	5.0	5.0	4.4	4.2	3.7	4.3	4.6	3.5	3.3
	3年産米		1.1	2.3	3.3	3.4	3.4	3.3	2.9	3.0	3.2	2.3	2.3
	1年古米(2年産)	2.4	1.7	1.1	1.7	1.5	0.9	0.7	0.7	0.7	0.8	0.6	0.5
滋賀	出荷+販売段階	22.6	18.1	57.0	65.6	69.3	60.9	57.4	51.8	47.8	41.5	36.3	29.5
	3年産米		1.5	43.6	54.0	60.1	53.8	51.8	47.1	44.0	38.8	34.2	27.8
	1年古米(2年産)	21.7	15.9	12.9	11.2	8.8	6.8	5.3	4.4	3.7	2.6	1.9	1.5
	出荷段階	17.5	13.4	50.9	58.6	62.9	55.0	52.5	47.1	42.8	36.0	31.8	25.2
	3年産米		1.3	41.9	51.1	56.9	50.2	48.6	43.8	40.6	34.7	30.7	24.3
	1年古米(2年産)	17.2	12.0	8.9	7.4	6.0	4.8	3.8	3.2	2.3	1.4	1.1	0.9
	販売段階	5.1	4.7	6.1	7.1	6.4	5.9	5.0	4.7	5.0	5.5	4.5	4.3
	3年産米		0.2	1.7	2.9	3.3	3.6	3.2	3.3	3.4	4.1	3.5	3.5
	1年古米(2年産)	4.5	3.9	4.0	3.8	2.8	2.0	1.5	1.2	1.4	1.2	0.8	0.6
京都	出荷+販売段階	5.6	4.4	10.0	12.9	13.2	12.4	11.2	10.1	8.8	7.1	5.9	4.6
	3年産米		0.0	6.8	11.6	12.1	11.5	10.5	9.4	8.3	6.7	5.5	4.4
	1年古米(2年産)	5.5	4.3	3.2	1.3	1.1	0.9	0.8	0.7	0.6	0.4	0.3	0.2
	出荷段階	4.5	3.6	8.7	10.6	11.0	10.5	9.6	8.5	7.4	5.6	4.7	3.6
	3年産米		0.0	6.2	10.4	10.9	10.4	9.6	8.5	7.3	5.6	4.7	3.6
	1年古米(2年産)	4.5	3.6	2.5	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
	販売段階	1.1	0.8	1.3	2.3	2.2	1.9	1.6	1.6	1.5	1.5	1.1	1.0
	3年産米			0.6	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	1.0	0.8	0.8
	1年古米(2年産)	1.0	0.7	0.6	1.1	1.0	0.8	0.7	0.6	0.6	0.4	0.3	0.2
大阪	出荷+販売段階	0.2	0.2	0.3	0.8	1.1	2.0	1.7	1.5	1.4	1.1	0.9	0.7
	3年産米			0.2	0.8	1.1	2.0	1.6	1.5	1.4	1.1	0.9	0.7
	1年古米(2年産)	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.2	0.2	0.3	0.8	1.1	1.8	1.4	1.3	1.2	1.0	0.8	0.7
	3年産米			0.2	0.8	1.1	1.8	1.4	1.3	1.2	1.0	0.8	0.7
	1年古米(2年産)	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0					
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0
	3年産米				0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0
	1年古米(2年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
兵庫	出荷+販売段階	18.8	14.7	28.0	42.4	38.5	41.2	38.5	35.8	33.6	30.2	26.6	22.9
	3年産米		0.0	16.8	35.1	32.4	38.6	36.3	33.8	31.8	28.6	25.1	21.5
	1年古米(2年産)	17.6	13.5	10.0	6.1	5.1	2.4	2.1	1.9	1.7	1.5	1.4	1.3
	出荷段階	15.8	12.4	24.9	36.9	32.9	36.2	34.2	31.6	29.1	26.3	23.3	19.8
	3年産米		0.0	15.4	31.8	28.4	34.9	33.0	30.5	28.1	25.3	22.2	18.7
	1年古米(2年産)	14.9	11.5	8.6	4.3	3.7	1.4	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0
	販売段階	3.0	2.3	3.1	5.4	5.6	5.0	4.4	4.2	4.5	3.9	3.3	3.1
	3年産米		0.0	1.4	3.4	3.9	3.8	3.3	3.3	3.8	3.4	2.9	2.8
	1年古米(2年産)	2.6	2.0	1.4	1.8	1.5	1.1	1.0	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3
奈良	出荷+販売段階	2.9	2.2	2.1	6.9	10.1	9.8	9.1	8.6	7.5	6.8	6.0	5.2
	3年産米			0.8	6.1	9.3	9.2	8.6	8.1	7.2	6.5	5.8	5.0
	1年古米(2年産)	2.8	2.1	1.2	0.8	0.7	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2
	出荷段階	2.2	1.5	1.4	5.1	7.9	7.9	7.5	7.0	5.3	4.9	4.4	4.0
	3年産米			0.7	5.1	7.9	7.9	7.5	7.0	5.3	4.9	4.4	4.0
	1年古米(2年産)	2.2	1.5	0.7	0.0	0.0							
	販売段階	0.7	0.7	0.7	1.9	2.2	1.9	1.6	1.5	2.3	1.9	1.6	1.2
	3年産米			0.1	1.0	1.4	1.3	1.1	1.1	1.9	1.6	1.4	1.0
	1年古米(2年産)	0.6	0.5	0.5	0.8	0.7	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	0.5	0.4	0.7	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9	1.1	1.0	0.9	0.9
	3年産米		0.0	0.3	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.9	0.9	0.8	0.7
	1年古米(2年産)	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	出荷段階		0.0	0.2	0.6	0.5	0.4	0.3	0.1				
	3年産米		0.0	0.2	0.6	0.5	0.4	0.3	0.1				
	1年古米(2年産)												
	販売段階	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	1.1	1.0	0.9	0.9
	3年産米			0.0	0.1	0.2	0.3	0.5	0.6	0.9	0.9	0.8	0.7
	1年古米(2年産)	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
鳥取	出荷+販売段階	12.5	9.2	12.8	18.6	29.7	29.6	33.5	31.1	27.9	24.9	21.3	18.0
	3年産米		0.0	6.1	12.5	24.6	25.3	29.8	28.1	25.4	22.7	19.4	16.6
	1年古米(2年産)	12.4	9.1	6.7	6.1	5.1	4.3	3.7	3.0	2.6	2.1	1.9	1.4
	出荷段階	10.3	7.4	11.3	15.6	26.4	25.6	29.3	27.7	24.6	21.9	19.0	15.7
	3年産米		0.0	5.6	11.2	23.0	23.5	27.7	26.5	23.6	21.1	18.4	15.3
	1年古米(2年産)	10.3	7.4	5.7	4.4	3.4	2.2	1.6	1.2	1.0	0.8	0.6	0.4
	販売段階	2.2	1.8	1.6	3.0	3.3	4.0	4.2	3.4	3.3	3.0	2.3	2.3
	3年産米			0.5	1.3	1.6	1.9	2.1	1.6	1.8	1.6	1.1	1.4
	1年古米(2年産)	2.2	1.7	1.0	1.7	1.7	2.1	2.1	1.8	1.5	1.3	1.2	1.0
島根	出荷+販売段階	9.8	7.1	17.1	26.8	26.7	30.6	29.8	27.3	24.5	22.1	19.2	15.0
	3年産米		0.1	12.4	23.7	24.1	28.5	28.1	25.8	22.9	20.6	17.9	13.9
	1年古米(2年産)	9.5	6.7	4.5	2.9	2.4	1.9	1.5	1.3	1.4	1.3	1.2	1.0
	出荷段階	7.5	5.2	14.6	22.6	22.5	26.7	26.3	24.1	21.5	19.0	16.6	11.8
	3年産米		0.1	11.4	21.2	21.4	25.8	25.6	23.5	20.9	18.5	16.2	11.5
	1年古米(2年産)	7.4	5.1	3.2	1.3	1.1	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3
	販売段階	2.3	1.8	2.5	4.3	4.2	3.9	3.5	3.2	3.1	3.1	2.6	3.1
	3年産米		0.0	1.0	2.5	2.7	2.7	2.5	2.3	2.0	2.1	1.7	2.4
	1年古米(2年産)	2.1	1.6	1.3	1.6	1.3	1.0	0.9	0.7	0.9	0.8	0.7	0.6
岡山	出荷+販売段階	19.5	13.9	15.3	29.4	42.6	42.1	43.2	38.1	37.6	32.9	29.0	23.8
	3年産米			7.3	23.8	38.4	39.2	41.4	36.8	36.5	31.9	28.1	23.0
	1年古米(2年産)	19.2	13.5	7.9	5.4	4.0	2.8	1.8	1.3	1.0	0.9	0.8	0.7
	出荷段階	16.4	11.2	11.5	24.5	36.7	36.1	37.1	32.5	30.7	26.8	23.7	19.1
	3年産米			5.9	21.2	34.2	34.2	36.4	32.0	30.3	26.5	23.3	18.8
	1年古米(2年産)	16.2	11.0	5.5	3.3	2.5	1.8	0.7	0.5	0.3	0.4	0.4	0.4
	販売段階	3.1	2.7	3.8	4.9	5.8	6.1	6.1	5.7	6.9	6.1	5.3	4.7
	3年産米			1.3	2.7	4.2	5.0	4.9	4.8	6.1	5.5	4.8	4.3
	1年古米(2年産)	3.0	2.6	2.4	2.1	1.6	1.0	1.1	0.8	0.7	0.6	0.5	0.3
広島	出荷+販売段階	13.3	10.4	23.7	42.6	42.3	39.0	36.0	33.1	30.3	27.1	24.2	20.5
	3年産米		0.0	15.9	36.9	37.4	34.7	32.2	29.6	26.8	24.1	21.5	18.2
	1年古米(2年産)	12.5	9.7	7.2	5.1	4.3	3.7	3.3	2.9	2.8	2.5	2.1	1.7
	出荷段階	8.5	6.1	18.4	34.0	33.7	31.3	28.8	26.2	22.1	19.7	17.0	13.5
	3年産米		0.0	14.3	32.8	32.7	30.4	28.1	25.8	21.7	19.4	16.7	13.3
	1年古米(2年産)	8.5	6.1	4.1	1.1	1.0	0.8	0.6	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2
	販売段階	4.8	4.3	5.3	8.7	8.6	7.7	7.3	6.9	8.2	7.4	7.2	7.0
	3年産米		0.0	1.6	4.0	4.7	4.3	4.1	3.8	5.1	4.7	4.8	4.9
	1年古米(2年産)	4.0	3.6	3.1	4.0	3.4	2.9	2.6	2.5	2.5	2.2	1.9	1.5
山口	出荷+販売段階	5.7	4.2	11.9	27.9	31.3	33.3	31.8	30.0	27.8	24.5	21.5	18.9
	3年産米		0.3	9.3	25.3	28.8	31.5	30.5	29.0	27.1	24.0	21.2	18.8
	1年古米(2年産)	5.6	3.8	2.5	2.5	2.4	1.8	1.2	1.0	0.6	0.4	0.2	0.1
	出荷段階	4.4	3.1	10.6	25.3	28.2	30.3	29.3	27.9	25.6	22.6	19.9	17.5
	3年産米		0.2	8.7	24.3	27.5	29.7	28.9	27.6	25.5	22.6	19.9	17.5
	1年古米(2年産)	4.4	2.9	1.8	1.1	0.8	0.6	0.3	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0
	販売段階	1.3	1.1	1.3	2.6	3.0	3.0	2.5	2.1	2.1	1.8	1.6	1.5
	3年産米		0.0	0.5	1.0	1.3	1.8	1.6	1.4	1.6	1.5	1.4	1.3
	1年古米(2年産)	1.1	0.9	0.7	1.5	1.6	1.2	0.9	0.7	0.5	0.3	0.2	0.1

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	3.9	9.2	16.1	14.8	13.3	11.7	10.6	9.2	7.6	6.2	5.1	3.5
	3年産米		6.0	13.4	12.5	11.3	9.9	8.9	7.8	6.3	5.2	4.1	3.1
	1年古米(2年産)	3.6	2.9	2.4	2.1	1.9	1.7	1.6	1.4	1.2	1.0	0.9	0.4
	出荷段階	1.6	6.7	13.1	11.9	10.6	9.4	8.5	6.9	5.1	4.1	3.4	2.1
	3年産米		5.4	11.8	10.7	9.5	8.3	7.4	6.1	4.3	3.4	2.8	1.9
	1年古米(2年産)	1.5	1.3	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0	0.8	0.7	0.6	0.6	0.1
	販売段階	2.3	2.5	3.0	2.9	2.7	2.3	2.1	2.3	2.5	2.1	1.6	1.4
	3年産米		0.7	1.6	1.8	1.8	1.6	1.5	1.7	2.0	1.7	1.3	1.2
	1年古米(2年産)	2.1	1.6	1.3	1.0	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2
香川	出荷+販売段階	7.7	5.9	7.7	15.5	20.3	25.7	24.2	23.2	21.9	20.9	11.8	10.1
	3年産米		0.2	3.3	12.3	18.1	23.9	22.9	22.3	21.2	20.2	11.3	9.6
	1年古米(2年産)	7.5	5.5	4.2	3.0	2.0	1.7	1.1	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4
	出荷段階	6.6	4.8	6.2	12.9	18.2	23.8	22.6	21.9	20.9	19.9	10.9	8.3
	3年産米			2.9	11.6	17.4	23.1	22.3	21.7	20.7	19.7	10.7	8.1
	1年古米(2年産)	6.6	4.8	3.3	1.3	0.8	0.7	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	販売段階	1.1	1.0	1.5	2.6	2.1	1.9	1.6	1.3	1.0	1.0	0.9	1.7
	3年産米		0.2	0.4	0.7	0.7	0.8	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6	1.5
	1年古米(2年産)	0.8	0.7	0.9	1.7	1.2	1.0	0.9	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2
愛媛	出荷+販売段階	2.7	2.7	5.6	10.6	13.5	12.4	11.5	10.4	9.5	8.2	7.2	6.0
	3年産米		0.7	4.3	9.5	12.6	11.7	10.9	10.0	9.3	8.1	7.0	5.9
	1年古米(2年産)	2.6	1.8	1.3	1.1	0.9	0.7	0.6	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1
	出荷段階	2.3	2.3	5.3	10.1	13.0	11.9	11.0	10.0	8.8	7.7	6.6	5.5
	3年産米		0.7	4.2	9.3	12.3	11.4	10.6	9.7	8.7	7.6	6.6	5.5
	1年古米(2年産)	2.2	1.6	1.1	0.8	0.6	0.5	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
	販売段階	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.6	0.5	0.5	0.5
	3年産米		0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5	0.4
	1年古米(2年産)	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
高知	出荷+販売段階	2.5	8.0	8.7	10.4	10.2	9.4	8.7	7.9	6.9	6.0	5.0	4.1
	3年産米	0.2	6.1	7.2	9.0	8.8	8.2	7.6	6.9	6.0	5.2	4.3	3.5
	1年古米(2年産)	1.8	1.5	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5
	出荷段階	0.3	4.1	4.1	5.5	5.2	2.2	1.8	0.9	0.6	0.6	0.5	0.5
	3年産米	0.1	3.9	3.9	5.3	5.1	2.1	1.7	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5
	1年古米(2年産)	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	2.2	3.9	4.6	4.9	4.9	7.2	6.9	6.9	6.4	5.5	4.5	3.6
	3年産米	0.2	2.2	3.2	3.7	3.8	6.2	5.9	6.0	5.5	4.7	3.8	3.0
	1年古米(2年産)	1.6	1.3	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5
福岡	出荷+販売段階	13.8	9.7	19.1	38.5	53.2	68.7	64.4	60.5	54.7	48.7	42.5	35.4
	3年産米		0.6	13.5	34.2	50.0	66.6	62.9	59.3	53.8	48.0	42.0	34.9
	1年古米(2年産)	13.7	9.0	5.5	4.2	3.1	2.0	1.5	1.1	0.9	0.7	0.5	0.4
	出荷段階	11.7	7.7	13.3	29.1	43.8	59.4	56.2	53.0	47.2	42.6	37.3	31.4
	3年産米		0.4	9.1	27.2	42.5	58.6	55.6	52.6	47.0	42.4	37.2	31.3
	1年古米(2年産)	11.7	7.3	4.2	1.9	1.3	0.8	0.6	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1
	販売段階	2.1	2.0	5.8	9.5	9.4	9.3	8.2	7.5	7.4	6.1	5.2	4.0
	3年産米		0.2	4.4	7.0	7.5	8.0	7.2	6.7	6.8	5.6	4.8	3.7
	1年古米(2年産)	2.0	1.7	1.3	2.4	1.8	1.3	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3
佐賀	出荷+販売段階	9.1	6.9	8.0	23.9	26.3	27.7	29.5	29.7	27.6	26.0	23.6	20.5
	3年産米		0.3	3.7	21.4	24.5	26.7	29.2	29.5	27.5	25.9	23.5	20.5
	1年古米(2年産)	8.9	6.5	4.2	2.5	1.7	0.9	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	7.3	5.8	7.0	20.8	23.8	25.6	28.2	28.5	26.3	24.7	22.5	19.5
	3年産米		0.2	3.4	20.5	23.5	25.4	28.1	28.4	26.3	24.7	22.5	19.5
	1年古米(2年産)	7.3	5.6	3.6	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1				
	販売段階	1.8	1.2	1.0	3.1	2.5	2.1	1.3	1.2	1.2	1.3	1.0	1.1
	3年産米		0.1	0.3	0.9	1.0	1.3	1.1	1.1	1.2	1.2	0.9	1.0
	1年古米(2年産)	1.6	0.9	0.6	2.2	1.4	0.7	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0

		3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	2.3	1.9	2.3	6.6	8.4	9.8	9.9	9.3	9.0	8.0	7.2	6.2
	3年産米		0.3	1.3	5.9	8.0	9.5	9.7	9.2	9.0	7.9	7.2	6.2
	1年古米(2年産)	2.3	1.6	1.0	0.6	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	2.0	1.6	2.0	5.8	7.5	9.0	9.2	8.6	8.1	7.3	6.8	5.8
	3年産米		0.2	1.2	5.5	7.3	8.9	9.1	8.6	8.1	7.3	6.8	5.8
	1年古米(2年産)	2.0	1.4	0.8	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0		
	販売段階	0.3	0.3	0.3	0.7	0.9	0.8	0.7	0.6	1.0	0.7	0.5	0.3
	3年産米		0.0	0.2	0.4	0.6	0.6	0.6	0.5	0.9	0.6	0.4	0.3
	1年古米(2年産)	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
熊本	出荷+販売段階	16.3	14.5	14.3	35.1	43.5	49.4	46.8	43.5	39.8	34.2	29.8	25.4
	3年産米	0.0	2.4	5.9	29.5	38.6	45.3	43.1	40.5	37.4	32.1	27.9	23.7
	1年古米(2年産)	15.6	11.5	7.9	5.1	4.4	3.7	3.3	2.6	2.0	1.8	1.6	1.3
	出荷段階	11.7	9.6	8.6	24.4	33.1	40.2	38.5	35.7	32.3	27.5	24.0	20.4
	3年産米		1.2	3.4	21.0	30.0	37.5	36.2	34.0	31.1	26.4	23.1	19.8
	1年古米(2年産)	11.6	8.3	5.2	3.3	3.1	2.7	2.4	1.8	1.2	1.0	0.9	0.6
	販売段階	4.6	4.9	5.7	10.7	10.3	9.2	8.3	7.8	7.5	6.7	5.8	5.0
	3年産米	0.0	1.1	2.5	8.5	8.6	7.8	6.9	6.5	6.3	5.6	4.8	3.9
	1年古米(2年産)	3.9	3.2	2.6	1.8	1.3	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7
大分	出荷+販売段階	4.3	3.5	5.2	10.7	19.1	20.6	19.3	17.9	15.9	14.4	13.1	11.4
	3年産米		0.2	2.7	8.5	17.3	19.3	18.3	17.1	15.2	13.8	12.7	11.2
	1年古米(2年産)	4.3	3.3	2.4	2.2	1.8	1.3	1.0	0.9	0.7	0.6	0.4	0.1
	出荷段階	2.2	1.9	3.5	6.6	13.7	15.3	14.5	13.4	11.2	10.2	9.1	8.0
	3年産米		0.1	2.2	5.9	13.0	14.9	14.1	13.1	11.0	10.0	9.0	8.0
	1年古米(2年産)	2.2	1.7	1.2	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.0
	販売段階	2.0	1.7	1.7	4.1	5.5	5.2	4.9	4.5	4.6	4.2	4.0	3.4
	3年産米		0.1	0.5	2.6	4.3	4.4	4.2	4.0	4.2	3.8	3.7	3.3
	1年古米(2年産)	2.0	1.6	1.2	1.5	1.1	0.8	0.6	0.5	0.5	0.3	0.2	0.1
宮崎	出荷+販売段階	5.3	8.2	4.9	11.1	13.9	13.9	14.2	12.7	11.5	10.5	9.3	7.8
	3年産米	2.7	6.2	3.5	9.9	12.9	13.1	13.6	12.2	11.2	10.2	9.0	7.6
	1年古米(2年産)	2.5	2.0	1.3	1.1	0.9	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1
	出荷段階	3.1	3.9	0.7	6.5	9.2	9.6	10.3	9.0	8.0	7.1	6.1	4.9
	3年産米	1.7	2.9	0.4	6.4	9.1	9.5	10.2	9.0	8.0	7.1	6.1	4.9
	1年古米(2年産)	1.4	1.0	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0					
	販売段階	2.3	4.3	4.2	4.6	4.7	4.3	4.0	3.6	3.5	3.4	3.2	2.8
	3年産米	1.0	3.2	3.1	3.5	3.8	3.6	3.4	3.2	3.1	3.1	3.0	2.7
	1年古米(2年産)	1.2	1.0	1.0	1.1	0.9	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1
鹿児島	出荷+販売段階	8.4	8.8	9.2	17.4	23.7	22.5	22.0	21.3	19.5	16.3	14.9	13.5
	3年産米	0.6	2.6	4.3	13.0	19.2	18.3	18.1	17.7	16.1	13.1	12.0	10.8
	1年古米(2年産)	6.3	4.8	3.7	3.1	3.4	3.2	2.9	2.7	2.5	2.3	2.2	2.0
	出荷段階	5.8	5.0	4.3	11.4	17.2	15.5	15.4	15.1	14.1	11.7	11.0	9.9
	3年産米	0.1	0.8	1.7	9.1	15.0	13.5	13.7	13.5	12.5	10.2	9.6	8.6
	1年古米(2年産)	4.4	3.0	1.5	1.2	1.1	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6
	販売段階	2.6	3.8	4.9	5.9	6.5	7.0	6.6	6.2	5.4	4.7	3.9	3.6
	3年産米	0.4	1.8	2.6	3.9	4.1	4.8	4.4	4.2	3.6	2.9	2.3	2.2
	1年古米(2年産)	1.9	1.8	2.2	2.0	2.3	2.2	2.2	2.0	1.8	1.7	1.6	1.4
沖縄	出荷+販売段階	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4
	3年産米	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0
	1年古米(2年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2
	3年産米	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
	1年古米(2年産)												
	販売段階	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3
	3年産米	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
	1年古米(2年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(参考) 令和2/3年の主食用米等需要量 (産地品種銘柄別) (推計値)

<品種銘柄別需要実績の推計方法>

令和2年6月末民間在庫量に令和2年産生産量を加え、令和3年6月末民間在庫量を控除して算出。

なお、生産段階の在庫量は、品種銘柄別に把握できないことから考慮していない。  
また、品種銘柄別の生産量は、農林水産省「作物統計」の産地別収穫量に、米穀機構が公表している「水稻の品種別作付動向」の作付割合を乗じて推計。

(単位:千ト)

産地	品種銘柄	需要量	産地	品種銘柄	需要量	産地	品種銘柄	需要量	産地	品種銘柄	需要量
北海道		505	千葉		260	滋賀		148	香川		57
	ななつぼし	232		コシヒカリ	150		コシヒカリ	50		ヒノヒカリ	23
	ゆめぴりか	108		ふさこがね	58		キヌヒカリ	29		コシヒカリ	17
	きらら397	41		ふさおとめ	31		みずかがみ	16		おいでまい	7
青森		234	東京		0	京都		67	愛媛		63
	まっしぐら	171	神奈川		14		コシヒカリ	37		ヒノヒカリ	19
	つがるロマン	50	新潟		592		キヌヒカリ	14		コシヒカリ	19
岩手		263		コシヒカリ	374		ヒノヒカリ	11		あきたこまち	11
	ひとめぼれ	175		こしいぶき	98	大阪		23	高知		48
	あきたこまち	33	富山		172	兵庫		167		コシヒカリ	25
宮城		332		コシヒカリ	120		コシヒカリ	59		ヒノヒカリ	14
	ひとめぼれ	248		てんたかく	20		ヒノヒカリ	32	福岡		144
	つや姫	25	石川		112		キヌヒカリ	22		夢つくし	56
	ササニシキ	19		コシヒカリ	72	奈良		42		ヒノヒカリ	44
秋田		443		ゆめみづほ	23		ヒノヒカリ	31		元気つくし	27
	あきたこまち	322	福井		124	和歌山		29	佐賀		104
	ひとめぼれ	35		コシヒカリ	61	鳥取		63		夢しずく	29
	めんこいな	27		ハナエチゼン	30		コシヒカリ	25		さがびより	23
山形		346		あきさかり	12		きぬむすめ	16		ヒノヒカリ	21
	はえぬき	206	山梨		26		ひとめぼれ	13	長崎		47
	つや姫	54		コシヒカリ	17	島根		83		ヒノヒカリ	24
	ひとめぼれ	26	長野		186		コシヒカリ	45		にこまる	10
福島		343		コシヒカリ	141		きぬむすめ	26	熊本		150
	コシヒカリ	194		あきたこまち	20		つや姫	6		ヒノヒカリ	78
	ひとめぼれ	63	岐阜		104	岡山		148		森のくまさん	20
	天のつぶ	55		ハツシモ	41		アケボノ	27		コシヒカリ	16
茨城		341		コシヒカリ	34		あきたこまち	21	大分		81
	コシヒカリ	249		あさひの夢	8	広島		108		ヒノヒカリ	62
	あきたこまち	43	静岡		74		コシヒカリ	46		ひとめぼれ	8
	あさひの夢	11		コシヒカリ	33		あきさかり	15		つや姫	3
栃木		261		きぬむすめ	12	山口		76	宮崎		67
	コシヒカリ	174		あいちのかおり	9		コシヒカリ	20		ヒノヒカリ	39
	あさひの夢	48	愛知		129		ヒノヒカリ	17		コシヒカリ	24
	とちぎの星	20		あいちのかおり	50		ひとめぼれ	15	鹿児島		80
群馬		66		コシヒカリ	28	徳島		50		ヒノヒカリ	51
	あさひの夢	27	三重		128		コシヒカリ	27		コシヒカリ	11
埼玉		144		コシヒカリ	96		キヌヒカリ	5		あきほなみ	8
	コシヒカリ	47		キヌヒカリ	12				沖縄		2
	彩のかがやき	44							全国		7,036
	彩のきずな	28									

### 3 米の価格情報

#### 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格) (平成20年産～令和3年産)

(単位:円/玄米60kg税込)

産地品種銘柄	地域区分	平成20年産	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	令和元年産	2年産	3年産
北海道	ななつぼし	13,935	13,803	11,549	14,092	15,426	14,422	12,453	13,117	14,244	15,882	15,996	15,869	14,382	12,687
北海道	きらら397	13,772	13,669	11,196	14,106	15,393	14,211	11,400	12,508	14,146	15,681	15,527	15,420	13,379	11,955
北海道	ゆめぴりか	-	-	-	-	-	17,512	15,870	16,209	16,479	17,226	16,266	16,800	16,945	15,451
北海道	ほしのゆめ	14,008	13,990	11,935	14,195	15,542	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森	まっしぐら	13,810	13,454	10,912	13,433	15,246	12,780	9,792	11,582	13,216	14,923	14,758	14,789	12,677	10,770
青森	つがるロマン	14,125	13,780	11,300	13,690	15,468	13,045	9,777	11,787	13,434	15,112	15,075	15,059	13,374	11,315
青森	むつほまれ	13,915	13,464	11,144	13,759	14,696	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手	ひとめぼれ	15,176	14,374	12,065	14,323	15,919	14,059	11,324	12,930	13,840	15,172	15,337	15,312	14,381	12,460
岩手	あきたこまち	14,888	13,910	11,904	14,351	15,938	14,006	10,911	12,422	13,476	15,043	15,255	15,180	13,323	11,785
岩手	銀河のしずく	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16,241	15,319	13,480
岩手	いわてっこ	13,870	13,671	11,048	13,394	15,282	13,746	9,424	11,898	13,242	14,679	14,780	-	-	-
宮城	ひとめぼれ	15,056	14,526	12,044	14,689	16,278	14,278	11,564	12,827	13,950	15,496	15,535	15,511	14,094	12,660
宮城	ササニシキ	15,150	14,871	12,119	14,747	16,600	14,652	11,620	12,815	14,115	15,724	15,767	15,782	13,748	12,599
宮城	つや姫	-	-	-	-	-	-	-	13,393	14,376	15,811	15,822	15,850	14,466	12,785
宮城	まなむすめ	14,158	13,294	10,940	13,758	15,413	13,138	10,401	-	-	-	-	-	-	-
秋田	あきたこまち	15,097	14,603	12,457	15,315	16,874	14,034	11,620	12,845	14,175	15,995	15,843	15,799	14,453	12,756
秋田	めんこいな	14,181	13,192	11,055	14,094	15,840	12,950	9,587	11,928	13,433	14,990	14,784	14,621	13,096	11,633
秋田	ひとめぼれ	14,100	13,694	11,582	14,461	16,155	13,365	10,348	12,066	13,685	15,695	15,433	15,086	13,280	11,695
山形	はえぬき	14,670	13,914	11,700	14,427	16,061	13,587	10,859	12,445	13,841	15,360	15,407	15,397	13,968	12,074
山形	ひとめぼれ	15,488	14,402	12,357	15,009	16,293	14,479	12,294	13,227	14,511	15,857	15,970	16,165	15,288	-
山形	つや姫	-	-	-	-	-	16,997	16,758	17,953	17,848	18,175	18,347	18,588	18,537	18,376
山形	雪若丸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,927
山形	コシヒカリ	15,731	15,030	13,336	16,196	17,124	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	コシヒカリ	15,117	14,149	12,486	14,181	15,854	12,906	9,829	12,048	13,876	15,412	15,463	15,369	13,245	11,006
福島	コシヒカリ	16,171	15,005	13,646	15,966	16,526	14,792	12,612	13,424	14,212	15,321	15,528	15,392	14,929	14,033
福島	コシヒカリ	15,362	14,144	12,768	13,855	15,443	11,634	10,005	11,138	13,392	15,036	15,096	14,974	13,720	11,589
福島	ひとめぼれ	14,653	13,894	11,472	13,746	15,414	12,793	9,860	11,146	13,401	14,955	14,981	14,913	13,081	11,022
福島	天のつぶ	-	-	-	-	-	-	-	10,530	13,360	14,691	14,609	14,479	12,429	10,935
福島	あきたこまち	14,500	13,958	11,412	13,744	15,470	12,545	9,553	-	-	-	-	-	-	-
茨城	コシヒカリ	15,293	14,388	13,070	15,798	16,693	13,631	11,667	12,648	13,784	15,287	15,544	15,512	13,324	11,423
茨城	あきたこまち	14,840	14,038	12,405	14,591	16,795	12,986	11,013	11,769	13,247	15,470	15,108	15,471	13,564	11,136
茨城	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,538	12,737	11,594
茨城	ミルクiewicz	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16,320	-	-	-
茨城	ゆめひたち	14,299	13,574	12,223	13,918	15,843	12,566	9,405	10,795	13,025	15,252	-	-	-	-
栃木	コシヒカリ	15,056	14,235	12,680	15,558	16,659	13,792	11,583	12,904	13,832	15,460	15,596	15,576	13,665	11,817
栃木	あさひの夢	13,601	13,085	10,883	14,231	15,414	11,638	9,180	11,382	13,586	15,012	14,789	14,806	12,507	10,540
栃木	とちぎの星	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,927	12,164	10,371
栃木	なすひかり	14,111	13,474	11,805	14,648	15,769	12,609	10,490	12,021	13,882	14,954	14,991	-	-	-
群馬	あさひの夢	14,115	13,284	11,665	13,936	15,631	12,160	8,809	11,844	13,796	15,312	15,087	14,920	12,387	10,636
群馬	ゆめまつり	-	-	-	-	-	-	-	11,525	13,606	15,273	14,916	14,868	12,024	10,581
群馬	ゴロピカリ	14,095	13,691	-	14,420	15,876	13,392	9,930	-	-	-	-	-	-	-
埼玉	彩のかがやき	13,789	13,826	12,107	14,179	15,771	13,875	9,974	11,878	13,375	14,919	15,169	14,909	11,797	11,085
埼玉	コシヒカリ	15,192	14,730	13,111	15,395	16,863	15,470	11,346	12,878	13,843	15,024	15,480	15,169	12,490	11,312
埼玉	彩のきずな	-	-	-	-	-	-	-	-	13,301	14,904	15,170	14,916	11,986	11,019
埼玉	キヌヒカリ	14,267	14,013	12,535	14,448	15,775	14,244	9,775	11,914	-	-	-	-	-	-
千葉	コシヒカリ	15,026	14,360	12,907	15,810	16,901	13,480	11,523	12,530	13,719	15,034	15,517	15,717	13,523	11,387
千葉	ふさこがね	13,976	13,517	11,480	14,073	16,169	12,876	9,650	11,120	12,835	14,542	14,638	14,751	13,086	10,207
千葉	ふさおとめ	13,967	13,587	11,953	14,389	16,397	13,199	10,300	10,988	12,993	14,629	14,764	14,874	13,364	10,623
山梨	コシヒカリ	17,505	17,594	16,900	17,623	18,099	17,624	15,482	15,993	16,969	17,552	18,038	18,280	18,259	17,754

注：本表の注意点は次々頁の脚注を参照

(単位:円/玄米60kg税込)

産地品種銘柄		地域 区分	平成 20年産	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	令和 元年産	2年産	3年産
山梨	あさひの夢		-	-	-	-	-	14,787	12,247	13,328	13,697	14,205	-	-	-	-
長野	コシヒカリ		15,624	14,732	13,660	15,966	16,611	15,074	13,014	13,782	14,538	15,580	16,087	15,996	14,964	13,702
長野	あきたこまち		14,392	13,901	12,428	14,877	15,742	13,822	11,451	12,485	13,596	14,801	15,264	15,199	14,871	13,456
静岡	コシヒカリ		15,370	15,291	13,581	15,834	17,055	15,343	13,497	14,238	14,856	15,548	15,971	16,207	15,531	14,424
静岡	あいちのかおり		-	-	-	-	-	13,841	11,932	12,638	13,396	14,625	14,936	15,325	14,726	12,586
静岡	きぬむすめ		-	-	-	-	-	-	-	12,618	13,335	14,415	14,951	15,229	14,776	12,342
静岡	キヌヒカリ		13,166	13,655	12,083	13,441	14,704	13,721	11,678	-	-	-	-	-	-	-
新潟	コシヒカリ	一般	17,166	16,286	15,653	18,399	18,302	16,697	15,451	16,186	16,175	16,924	17,042	17,391	16,490	15,583
新潟	コシヒカリ	魚沼	24,991	22,866	21,685	23,432	23,559	21,125	19,480	20,442	20,434	20,782	21,147	21,009	20,336	20,426
新潟	コシヒカリ	岩船	17,563	16,700	15,884	18,940	18,719	17,122	15,922	16,628	16,834	17,351	17,460	17,984	16,969	16,055
新潟	コシヒカリ	佐渡	17,538	16,712	15,992	18,930	18,757	17,145	15,817	16,600	16,968	17,389	17,520	17,993	17,072	16,183
新潟	こしいぶき		14,705	13,952	12,628	14,508	16,130	14,226	11,292	12,412	13,671	14,968	15,100	15,143	14,297	12,541
富山	コシヒカリ		15,937	14,721	13,786	16,181	16,882	14,706	12,995	14,228	15,098	15,882	15,936	15,981	15,452	13,774
富山	てんたかく		14,436	14,223	12,426	14,342	15,592	14,265	11,470	12,563	13,860	14,542	14,750	14,869	14,462	12,361
石川	コシヒカリ		15,278	14,556	13,313	16,218	16,898	14,531	12,813	13,901	14,815	15,608	15,889	15,899	14,596	13,127
石川	ゆめみづほ		14,290	13,593	11,834	14,543	15,861	13,558	10,356	11,899	13,233	14,454	14,634	14,698	13,743	11,505
福井	コシヒカリ		15,572	14,934	13,400	16,050	17,121	14,720	12,951	14,206	14,930	15,964	16,145	16,345	15,602	13,478
福井	ハナエチゼン		14,535	13,974	12,262	14,663	16,015	13,766	11,405	12,519	13,521	14,726	14,924	15,079	14,365	11,254
福井	あきさかり		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,203	14,215	11,555
岐阜	ハツシモ		15,129	14,794	12,543	15,079	15,943	14,251	11,472	12,798	13,963	14,989	15,357	15,368	14,943	12,657
岐阜	コシヒカリ		15,438	15,159	13,629	15,599	16,541	14,953	12,293	14,307	15,160	15,615	15,933	16,176	15,250	14,065
岐阜	あさひの夢		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,608	13,573	10,840
岐阜	あきたこまち		14,642	14,236	12,532	14,739	16,253	14,165	11,066	12,535	13,221	14,286	14,882	-	-	-
愛知	あいちのかおり		13,676	13,450	12,673	13,755	15,222	13,823	11,299	12,382	13,530	14,522	14,806	14,798	13,685	12,101
愛知	コシヒカリ		14,759	14,156	13,116	15,010	16,248	13,831	12,025	13,210	13,826	14,990	15,410	15,539	14,785	12,719
愛知	大地の風		-	-	-	-	-	14,402	11,276	12,051	13,531	14,425	14,970	14,979	14,024	11,792
愛知	あさひの夢		13,468	13,181	11,748	13,408	15,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重	コシヒカリ	一般	15,409	14,639	13,138	15,710	16,978	14,296	12,313	13,625	14,369	14,945	15,390	15,538	14,861	12,472
三重	コシヒカリ	伊賀	15,861	15,048	13,570	16,348	17,420	14,715	12,517	14,131	14,781	15,412	15,882	15,964	15,361	13,041
三重	キヌヒカリ		14,401	14,029	12,040	14,900	15,952	13,429	11,087	12,558	13,356	14,265	14,813	14,916	13,960	10,911
滋賀	コシヒカリ		15,269	14,617	13,277	15,935	17,234	14,915	12,689	13,601	14,346	15,096	15,646	15,840	15,258	13,647
滋賀	キヌヒカリ		14,779	14,133	11,889	15,157	16,048	13,995	11,338	12,258	13,270	14,298	14,765	14,946	14,202	11,856
滋賀	みずかがみ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,789	15,117	13,280
滋賀	日本晴		14,390	13,868	11,933	14,849	15,810	13,590	10,963	11,859	12,902	14,183	14,638	-	-	-
京都	コシヒカリ		15,442	14,885	13,479	16,370	17,343	15,209	13,039	14,109	15,193	15,535	15,788	16,192	15,763	13,543
京都	キヌヒカリ		14,813	14,166	12,176	15,078	16,181	13,951	11,869	12,729	13,706	14,715	14,910	15,065	14,817	12,410
京都	ヒノヒカリ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,560	-	16,212	15,237
兵庫	コシヒカリ		15,970	14,905	13,615	15,852	17,147	15,437	13,580	14,439	15,102	15,734	16,013	16,158	15,434	13,869
兵庫	ヒノヒカリ		14,044	13,527	12,024	14,464	15,630	13,763	11,335	12,000	13,229	14,460	14,786	14,835	13,804	11,939
兵庫	キヌヒカリ		13,868	13,658	12,160	14,565	15,765	13,768	11,437	11,961	13,190	14,419	14,823	14,852	13,976	11,885
奈良	ヒノヒカリ		14,952	14,192	12,082	14,950	16,666	14,944	11,279	12,123	12,953	14,721	15,522	15,743	14,630	12,535
奈良	コシヒカリ		-	-	-	-	-	14,909	11,554	12,525	13,155	14,826	-	-	-	-
鳥取	コシヒカリ		15,237	14,518	13,161	15,644	16,790	14,581	12,436	13,306	14,014	15,051	15,461	15,489	14,947	12,896
鳥取	ひとめぼれ		14,540	13,981	12,111	14,457	15,849	13,516	11,128	12,112	13,065	14,129	14,494	14,698	13,978	12,118
鳥取	きぬむすめ		-	-	-	-	-	-	-	12,316	13,183	14,283	14,682	14,799	14,230	11,873
島根	コシヒカリ		15,118	14,510	13,206	15,657	17,156	15,128	12,342	13,606	14,792	15,432	15,743	15,569	15,397	13,557
島根	きぬむすめ		13,856	14,080	12,299	14,907	16,181	14,173	10,950	12,511	13,426	14,421	14,828	14,572	14,500	12,365
島根	つや姫		-	-	-	-	-	-	-	-	14,531	15,160	15,598	15,258	15,234	13,092
島根	ハナエチゼン		13,902	13,946	12,312	14,344	16,222	13,968	10,433	11,890	-	-	-	-	-	-

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照



(単位:円/玄米60kg税込)

産地品種銘柄	地域区分	平成 20年産	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	令和 元年産	2年産	3年産
岡山	アケボノ	13,922	12,410	11,089	14,051	16,062	12,814	10,209	11,536	13,362	15,030	14,952	14,879	13,238	10,883
岡山	ヒノヒカリ	14,753	13,299	11,982	14,728	16,457	13,236	11,094	12,051	13,804	15,380	15,276	15,372	-	-
岡山	あきたこまち	-	-	-	-	-	13,617	11,340	11,885	13,842	15,357	15,060	15,393	14,538	-
岡山	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,452	11,541
岡山	コシヒカリ	15,621	14,508	13,046	16,181	18,038	-	-	-	-	-	-	-	-	12,545
広島	コシヒカリ	14,720	14,532	12,085	15,099	16,035	14,248	11,722	12,933	14,153	14,923	15,407	15,470	14,965	13,493
広島	あきろまん	14,027	13,853	11,928	14,118	15,057	13,140	11,069	11,983	13,155	13,651	14,254	14,641	14,146	12,883
広島	あきさかり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,458	14,657	13,988	12,618
広島	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	13,136	10,841	11,764	12,840	13,323	-	-	-	-
広島	中生新千本	13,848	13,340	10,608	13,532	14,392	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口	コシヒカリ	15,260	13,909	12,748	15,179	16,992	14,768	12,474	13,708	14,446	14,983	15,265	15,518	15,215	13,338
山口	ひとめぼれ	14,706	13,585	11,902	14,313	15,942	13,836	11,271	12,648	13,291	14,136	14,406	14,628	14,484	12,250
山口	ヒノヒカリ	14,690	13,406	11,866	14,297	15,918	13,788	11,540	12,696	13,355	14,159	14,405	14,614	14,413	11,980
徳島	コシヒカリ	15,049	14,359	12,845	15,767	17,170	13,656	10,817	12,970	14,032	14,940	15,861	15,757	14,947	12,251
徳島	あきさかり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12,059	11,021
徳島	キヌヒカリ	14,247	13,682	12,133	14,498	16,013	13,195	10,027	11,561	13,275	14,221	15,102	15,336	-	-
香川	ヒノヒカリ	14,555	13,924	11,554	14,801	15,970	13,808	10,943	12,322	13,184	14,295	14,785	14,748	14,866	12,544
香川	コシヒカリ	15,238	14,643	13,113	15,921	17,194	14,313	11,895	13,343	13,879	14,806	15,251	15,280	15,406	13,386
香川	おいでまい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,368	15,368	15,406	13,269
愛媛	コシヒカリ	14,314	13,871	13,211	14,844	17,267	14,943	11,601	12,536	13,307	14,303	15,542	15,553	15,456	13,977
愛媛	ヒノヒカリ	13,187	13,194	12,349	14,142	16,484	14,050	10,655	11,740	12,440	13,692	15,182	15,012	14,837	12,790
愛媛	あきたこまち	13,446	13,223	12,531	14,136	16,503	14,211	10,835	11,732	12,493	13,693	14,925	14,851	14,775	12,993
高知	コシヒカリ	15,200	14,521	13,635	16,246	17,882	14,380	11,713	13,511	14,481	15,244	15,171	14,918	15,530	13,562
高知	ヒノヒカリ	14,358	14,375	13,398	15,512	16,582	15,576	11,466	12,630	13,602	14,358	14,358	14,457	14,436	13,062
福岡	夢つくし	16,007	15,902	14,611	15,800	16,855	16,556	14,472	15,215	15,761	16,200	16,265	16,285	16,322	14,724
福岡	ヒノヒカリ	14,777	14,079	12,224	14,635	16,135	14,776	12,546	13,493	14,196	15,123	15,434	15,402	15,430	13,017
福岡	元気つくし	-	-	-	-	-	-	14,998	15,612	15,984	16,082	16,142	16,169	14,521	-
佐賀	夢しずく	14,875	13,959	12,122	14,629	15,606	14,654	11,937	12,940	13,329	14,216	14,435	14,995	14,453	13,206
佐賀	ヒノヒカリ	14,806	13,702	12,104	14,549	15,439	14,037	11,327	12,630	13,042	13,921	14,243	-	14,266	11,696
佐賀	さがびより	-	-	-	-	-	14,634	12,609	14,089	14,147	14,958	15,039	15,954	15,106	13,975
佐賀	コシヒカリ	16,574	16,217	15,158	17,544	18,606	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	ヒノヒカリ	14,957	14,009	12,526	15,045	16,647	15,281	12,959	13,857	14,395	15,292	15,476	14,978	14,802	13,707
長崎	コシヒカリ	15,728	14,986	13,660	16,214	18,012	15,890	13,863	14,785	15,191	16,076	16,378	15,918	15,891	14,938
長崎	にこまる	-	-	-	-	-	15,406	13,094	14,180	14,713	15,600	15,797	15,305	15,090	14,027
熊本	ヒノヒカリ	14,603	14,105	12,090	15,059	16,715	14,612	12,365	13,608	14,278	14,876	15,165	15,380	15,410	13,235
熊本	森のくまさん	14,785	13,957	11,863	15,273	16,553	15,039	12,835	14,330	14,518	14,514	14,932	15,398	15,056	13,199
熊本	コシヒカリ	15,443	14,726	13,101	16,245	17,930	15,249	13,286	14,534	15,767	15,521	15,700	16,000	16,257	15,088
大分	ヒノヒカリ	14,747	14,066	12,016	15,358	16,554	14,560	12,304	13,197	14,169	15,445	15,636	15,652	15,335	13,107
大分	ひとめぼれ	14,917	14,239	12,012	15,271	16,579	14,678	12,390	13,402	14,446	15,262	15,751	15,892	15,258	13,804
大分	つや姫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,908	15,391	13,751
宮崎	コシヒカリ	15,999	15,227	13,878	16,340	19,427	15,640	13,439	14,266	14,721	15,157	15,458	15,946	15,292	14,135
宮崎	ヒノヒカリ	14,248	14,145	12,608	15,722	17,080	14,436	12,142	13,622	14,388	15,592	16,013	15,860	15,960	15,471
鹿児島	ヒノヒカリ	14,579	14,178	12,116	14,689	15,770	14,618	12,586	14,229	15,210	15,518	16,128	16,445	16,595	13,974
鹿児島	コシヒカリ	16,129	14,637	13,406	15,852	19,161	15,396	13,225	14,414	15,222	15,542	16,307	16,670	16,323	14,702
鹿児島	あきほなみ	-	-	-	-	-	15,154	13,380	14,822	15,525	16,624	16,940	16,934	17,073	14,822
全銘柄平均価格		15,146	14,470	12,711	15,215	16,501	14,341	11,967	13,175	14,307	15,595	15,688	15,716	14,529	12,804

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 産地品種銘柄ごとの価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したもの。
- 3 価格に含む消費税は、平成26年3月までは5%、同年4月から令和元年9月までは8%、令和元年10月は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
- 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
- 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。
- 6 産地品種銘柄ごとの通年平均価格は、出荷日から生産年の翌年10月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（価格はいずれも確定値。確定値は月毎の速報値公表後の修正を反映させたものである。）。
- 7 全銘柄平均価格は、当該年産において報告の対象としている産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
- 8 「-」は、当該年産において報告の対象としていない産地品種銘柄又は当該年産の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。

## 2 スポット価格の状況(株式会社クリスタルライス)

株式会社クリスタルライスの取引概要につきましては、以下のURLから御覧いただけます。  
【 <https://www.crystalrice.co.jp/> 】

○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。

### 【令和4年産】

産地銘柄	令和4年 9月	10月	11月	12月	令和5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
北海道ゆめびりか	13,700	13,723										
北海道ななつぼし	12,961											
青森まっしぐら	11,192	12,120	12,326	12,300								
岩手ひとめぼれ				12,699								
宮城ひとめぼれ			13,235									
秋田あきたこまち	12,211	12,906	13,462	14,126								
関東コシヒカリ	11,481	11,943	12,481									
関東あきたこまち	11,190			12,436								
関東銘柄米	11,000	11,415	11,596	11,832								
新潟コシヒカリ(一般)		14,894		14,922								

### 【令和3年産】

産地銘柄	令和3年 9月	10月	11月	12月	令和4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
宮城ひとめぼれ					10,492		11,128	11,660		12,092		
秋田あきたこまち	10,911	11,323	11,422	11,442	11,444	11,200	11,253	11,300	11,795	11,664	11,442	
福島中通コシヒカリ		10,349	10,433					10,372	10,847		11,499	
茨城コシヒカリ	9,724	9,809	10,155	9,956	9,927		10,176	10,271	10,946	11,553	11,325	
栃木コシヒカリ	9,725	10,200	10,320	10,093	10,371						11,305	
新潟コシヒカリ(一般)	13,504	14,677		14,542	14,168		14,057	14,230			14,383	

### 【令和2年産】

産地銘柄	令和2年 9月	10月	11月	12月	令和3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
青森つがるロマン										10,900		
宮城ひとめぼれ			12,600		12,733				12,050		11,974	
秋田あきたこまち	12,972	12,931	13,054	13,077	13,250			12,406	12,366	12,280	12,375	
福島中通コシヒカリ		12,272	12,464					11,297	11,570			
茨城コシヒカリ		12,200			12,403			10,980	10,905	11,065	11,841	
栃木コシヒカリ		12,353						11,660	11,415		11,998	
新潟コシヒカリ(一般)								12,933	12,985			

出典：株式会社クリスタルライスHP

注1：上記価格は、成約価格を関東到着基準、1等、包装代込、税抜き、円/60kgに整え加重平均した価格。

注2：「関東銘柄米」には、あさひの夢、とちぎの星、彩のきずな、ふさおとめ、ふさこがね等を採用。

### 3 米の現物市場の状況

	(株)日本農産情報 (昭和54年～)	クリスタルライス (平成7年～)	(株)加工用米取引センター (平成23年～)
取引形態	○ ホームページ上で売り注文、買い注文を随時掲載(1時間毎に更新)。注文が成立した場合の流れは以下の通り。 ① 買い手はまず日本農産情報あてに代金を振り込み ② 日本農産情報は買い手からの入金確認後、売り手に発送を依頼 ③ 買い手は商品受取後、日本農産情報に納品を伝達。その後日本農産情報は売り手に速やかに代金を振り込み。	① 東京・大阪・福岡の3会場において年8回程度同時開催される取引会における入札取引 ② ①のほか、日常取引として、電話・FAX等により成立する随時取引の2形態で行われている。  ※令和3年4月1日、クリスタルライスと日本コメ市場が合併。	○ 主に、電話・メールにおいて仲介・斡旋を行うことにより成立する随時取引で、会員間取引が原則。
取扱数量	○ 年間取扱高は約300万俵(18万トン)	○ 年間取扱高は約6万トン(令和2年)(クリスタルライス、日本コメ市場それぞれ約3万トン)	○ 年間取扱高は数十トン。
参加者数	○ 全国約3,000社(組合含む)	○ 売買基本契約書締結先 約160社	○ 参加会社数16社
参加条件	○ 利用には取引口座の開設が必要。	○ 売買基本契約書の締結が必要。	○ 原則として登録会員のみとし、非会員は登録会員を通じて売買が可能(入会費5万円、年会費2万円)。 ○ 会員になるには、米穀取扱い業者の資格を有し、年間60トン以上の取扱いを行っていることが必要。
公表	○ 成約状況(銘柄及び成約価格)を業界紙に掲載。	○ 成約状況(銘柄及び成約価格)をホームページや業界紙に掲載。	○ 非公表。

	複数年産米コメ市場 (国産米使用推進団体協議会) (平成26年10月1日から開始)	中長期米仲介市場 (全国米穀販売事業共済協同組合) (平成27年7月1日から開始)	※参考:個別申込取引 (全農) (平成26年産から開始)
趣旨	○ 複数年契約取引の推進のための市場として創設。平成30年産までは斡旋業務を実施。	○ 既存のスポット的な取引の場とは異なる、年間を通じた中長期的な米の取引の場を開設。	○ 全農の相対基準価格の参考とするため、相対取引の手法の一つとして、26年8月以降、毎月1回を基本として導入。
仕組み	○ 29年産までは試行期間として以下のとおり斡旋業務を行う。 ① 売り手構成員・買い手構成員は、希望する品名・数量・価格等を提示。 ② 市場は、売り手・買い手の条件を勘案し、引き合わせ、仲介。 ③ 両者が合意した場合には、その後の諸手続きは当事者間で実施。 ④ 斡旋業務は、(株)加工用米取引センターが、業務委託を受けて実施。	○ 年産・産地・銘柄・等級・受渡地・引取期限・包装・数量・価格等の取引条件を付した実物取引を仲介。 ○ 対象米穀は、翌月以降1ヶ月単位の引取期限が付された国産米。 ○ 取引参加者は、毎週金曜日までにFAXにて翌週の取引の買注文及び売注文を出す。 ○ 買受者は米穀取引の都度、100円/60kgを(株)クリスタルライスに支払う。	○ 対象産地銘柄は各県本部の手挙げ。 ○ 全農は、取引先から購入希望数量と価格をセットで申し込みを受ける。 ○ 全農は、申し込み内容を各県本部に連絡し、各県本部は、価格の高いものから順に、各県本部の判断する価格まで成約させる。 ○ 取引先に積極的な参加を促進するため、契約価格は個別の成約価格にメリットを減じた価格とする。
取引単位	契約単位:原則100ト以上 取引単位:1ロット12ト	申込単位:原則100ト以上 引取単位:原則12ト以上	各県本部は、年間販売数量に応じて1回ごとの提示数量を判断。
参加条件・取引対象	○ 入会金及び年会費1万円を納め構成員として認められた以下の者(クローズされたコメ市場) ① 生産者:原則30ha以上の耕作面積 ② 実需者、集荷業者、流通業者:原則として年間取扱数量が1,000ト以上。3年間債務超過でないこと。	○ 以下のいずれかの要件を満たし、登録料1万円を納め、(株)クリスタルライスの登録を受けた者 ① 原則として年間で500ト以上の生産実績又は集荷実績がある者 ② 原則として年間で1,000ト以上の仕入実績がある者 ※ 現在の参加登録者数 64 (2022年12月19日現在)	○ 全農と売買基本契約を締結している米穀卸売事業者等
公表	○ 成約内容は、非公表。	○ 成約内容は、非公表。	○ 成約内容は、非公表。

# 4 米の契約・販売情報

## 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成26・27年産)

単位:千玄米トン

産地	平成26年産					平成27年産				
	集荷数量 ①	うち事前契約 ②	事前契約比率 ②/①	うち複数年契約 ③	複数年契約比率 ③/①	集荷数量 ④	うち事前契約 ⑤	事前契約比率 ⑤/④	うち複数年契約 ⑥	複数年契約比率 ⑥/④
北海道	398.0	161.0	40%	131.6	33%	398.3	150.0	38%	75.1	19%
青森	169.6	26.1	15%	2.5	1%	148.1	45.8	31%	5.0	3%
岩手	150.2	47.7	32%	26.1	17%	156.0	70.9	45%	26.1	17%
宮城	216.3	111.3	51%	98.2	45%	181.4	108.6	60%	20.2	11%
秋田	303.9	68.5	23%	5.9	2%	277.8	80.1	29%	1.7	1%
山形	242.7	52.8	22%	-	-	215.6	55.3	26%	-	-
福島	153.3	20.0	13%	-	-	137.7	32.0	23%	-	-
茨城	109.8	46.0	42%	-	-	81.5	46.6	57%	-	-
栃木	184.0	36.8	20%	-	-	142.0	61.2	43%	-	-
群馬	26.3	-	-	-	-	18.9	-	-	-	-
埼玉	28.5	3.2	11%	-	-	21.8	5.8	27%	-	-
千葉	123.8	31.3	25%	-	-	95.5	41.3	43%	-	-
東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.4	-	-	-	-	2.7	-	-	-	-
山梨	5.9	-	-	-	-	6.0	-	-	-	-
長野	69.9	22.0	31%	10.2	15%	69.1	21.5	31%	9.4	14%
静岡	10.2	-	-	-	-	9.6	-	-	-	-
新潟	292.4	122.3	42%	14.3	5%	258.1	144.7	56%	14.5	6%
富山	111.6	36.2	32%	-	-	106.5	29.5	28%	-	-
石川	36.6	14.2	39%	1.5	4%	33.2	14.0	42%	2.1	6%
福井	65.2	7.8	12%	7.8	12%	65.3	7.3	11%	7.3	11%
岐阜	34.4	15.3	44%	-	-	28.8	9.5	33%	-	-
愛知	41.1	-	-	-	-	35.8	10.6	30%	-	-
三重	31.3	15.9	51%	-	-	31.3	16.5	53%	-	-
滋賀	67.2	25.7	38%	-	-	63.8	38.3	60%	-	-
京都	15.5	7.2	47%	-	-	13.8	6.1	44%	0.3	2%
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	41.1	-	-	-	-	42.9	-	-	-	-
奈良	9.7	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-
和歌山	1.4	1.4	99%	-	-	1.8	1.5	86%	-	-
鳥取	27.0	6.9	25%	-	-	22.1	5.7	26%	-	-
島根	43.5	11.3	26%	-	-	37.9	18.7	49%	-	-
岡山	30.1	10.0	33%	-	-	20.4	-	-	-	-
広島	36.9	1.9	5%	-	-	33.8	20.4	60%	-	-
山口	37.0	20.5	55%	-	-	34.6	22.9	66%	-	-
徳島	10.3	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-
香川	28.3	13.2	46%	-	-	25.2	12.2	48%	-	-
愛媛	14.6	-	-	-	-	13.8	-	-	-	-
高知	7.6	-	-	-	-	6.0	1.2	20%	-	-
福岡	56.9	25.0	44%	0.4	1%	55.0	27.3	50%	-	-
佐賀	42.7	23.8	56%	-	-	45.6	23.9	53%	-	-
長崎	10.9	-	-	-	-	12.3	-	-	-	-
熊本	45.1	22.9	51%	-	-	39.5	21.3	54%	-	-
大分	17.9	1.0	5%	-	-	15.5	1.1	7%	-	-
宮崎	20.8	14.7	71%	-	-	15.2	13.2	86%	-	-
鹿児島	19.0	-	-	-	-	14.5	-	-	-	-
沖縄	1.7	-	-	-	-	1.6	-	-	-	-
全国	3,436	1,024	30%	299	9%	3,096	1,165	38%	162	5%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 生産年の翌年10月末時点の数量である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 事前契約分とは、注4の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

7 「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

# 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成28・29年産)

単位:千玄米トン

産地	平成28年産					平成29年産				
	集荷数量 ①	うち事前契約 ②	事前契約比率 ②/①	うち複数年契約 ③	複数年契約比率 ③/①	集荷数量 ④	うち事前契約 ⑤	事前契約比率 ⑤/④	うち複数年契約 ⑥	複数年契約比率 ⑥/④
北海道	358.7	169.6	47%	43.4	12%	373.0	183.1	49%	142.6	38%
青森	140.6	45.1	32%	32.9	23%	145.6	54.1	37%	37.0	25%
岩手	140.0	91.1	65%	84.7	61%	124.9	91.3	73%	83.1	67%
宮城	181.0	112.0	62%	84.5	47%	155.8	118.7	76%	103.7	67%
秋田	271.2	83.2	31%	57.4	21%	243.5	90.5	37%	62.8	26%
山形	221.2	52.3	24%	1.5	1%	207.8	71.9	35%	19.8	10%
福島	169.9	52.8	31%	27.0	16%	165.1	50.2	30%	43.7	26%
茨城	77.7	27.6	36%	-	-	72.4	24.5	34%	2.5	3%
栃木	141.6	60.3	43%	49.5	35%	122.7	64.8	53%	64.8	53%
群馬	21.9	-	-	-	-	26.2	0.1	0%	-	-
埼玉	22.3	8.2	37%	-	-	21.2	8.2	39%	-	-
千葉	79.7	34.0	43%	2.2	3%	75.6	27.9	37%	10.3	14%
東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.9	-	-	-	-	2.5	-	-	-	-
山梨	6.3	-	-	-	-	6.3	-	-	-	-
長野	72.5	26.3	36%	23.7	33%	68.8	27.4	40%	25.7	37%
静岡	7.2	-	-	-	-	6.6	2.5	38%	-	-
新潟	285.2	141.3	50%	87.4	31%	258.4	166.1	64%	106.7	41%
富山	111.6	43.7	39%	-	-	92.1	46.1	50%	8.6	9%
石川	33.9	20.1	59%	1.6	5%	25.7	23.8	93%	1.5	6%
福井	65.2	6.8	10%	6.8	10%	67.1	6.8	10%	6.8	10%
岐阜	27.5	12.0	44%	-	-	26.8	13.9	52%	2.6	10%
愛知	37.3	15.1	40%	-	-	34.4	14.5	42%	-	-
三重	31.9	17.7	56%	-	-	28.0	19.8	71%	-	-
滋賀	65.6	46.8	71%	36.0	55%	58.3	43.0	74%	34.2	59%
京都	14.4	8.0	55%	0.3	2%	12.6	8.0	63%	-	-
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	41.0	-	-	-	-	40.9	10.0	24%	-	-
奈良	9.2	-	-	-	-	8.7	-	-	-	-
和歌山	2.1	1.7	83%	-	-	1.5	-	-	-	-
鳥取	22.2	6.0	27%	-	-	21.1	5.4	26%	-	-
島根	39.4	31.9	81%	0.8	2%	39.0	35.0	90%	3.3	8%
岡山	15.0	-	-	-	-	25.5	-	-	-	-
広島	33.7	26.6	79%	2.0	6%	34.7	25.1	72%	2.0	6%
山口	32.0	24.3	76%	0.6	2%	32.8	24.4	74%	0.7	2%
徳島	6.1	-	-	-	-	5.3	0.9	17%	-	-
香川	26.7	12.9	48%	-	-	23.7	14.1	59%	-	-
愛媛	12.6	-	-	-	-	11.8	0.9	8%	-	-
高知	6.5	1.1	18%	-	-	6.9	2.1	30%	-	-
福岡	55.7	30.3	54%	-	-	53.9	32.9	61%	0.6	1%
佐賀	43.8	25.2	58%	-	-	42.6	26.3	62%	-	-
長崎	11.7	-	-	-	-	11.7	4.0	34%	-	-
熊本	38.3	16.0	42%	-	-	37.5	15.8	42%	-	-
大分	14.6	1.4	10%	-	-	13.5	5.9	44%	-	-
宮崎	16.3	8.4	51%	-	-	16.2	8.6	53%	-	-
鹿児島	14.9	-	-	-	-	13.4	-	-	-	-
沖縄	1.6	-	-	-	-	1.5	-	-	-	-
全国	3,076	1,260	41%	542	18%	2,914	1,369	47%	763	26%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 生産年の翌年10月末時点の数量である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 事前契約分とは、注4の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

7 「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

# 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成30・令和元年産)

単位:千玄米トン

産地	平成30年産					令和元年産				
	集荷数量 ①	うち事前契約 ②	事前契約比率 ②/①	うち複数年契約 ③	複数年契約比率 ③/①	集荷数量 ④	うち事前契約 ⑤	事前契約比率 ⑤/④	うち複数年契約 ⑥	複数年契約比率 ⑥/④
北海道	311.1	174.6	56%	173.3	56%	347.4	208.5	60%	183.0	53%
青森	149.7	52.4	35%	37.2	25%	157.5	56.7	36%	19.5	12%
岩手	129.6	92.2	71%	82.4	64%	137.8	88.8	64%	88.8	64%
宮城	171.2	117.6	69%	103.3	60%	173.5	118.9	68%	105.5	61%
秋田	251.6	182.4	72%	85.4	34%	277.0	189.5	68%	100.8	36%
山形	188.6	70.8	38%	21.2	11%	229.9	81.7	36%	31.6	14%
福島	159.0	49.5	31%	41.8	26%	187.7	46.7	25%	45.6	24%
茨城	71.8	16.0	22%	2.5	3%	71.4	16.3	23%	1.0	1%
栃木	136.4	73.1	54%	71.1	52%	125.7	74.0	59%	69.2	55%
群馬	25.0	0.1	0%	-	-	22.1	0.2	1%	-	-
埼玉	18.4	9.2	50%	0.6	3%	17.6	7.7	44%	0.9	5%
千葉	79.6	10.3	13%	10.3	13%	77.1	12.0	16%	12.0	16%
東京	-	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-
神奈川	2.3	-	-	-	-	1.8	-	-	-	-
山梨	6.0	-	-	-	-	6.0	-	-	-	-
長野	67.2	32.5	48%	31.8	47%	69.9	35.1	50%	32.5	46%
静岡	6.0	1.9	32%	-	-	6.2	1.7	27%	-	-
新潟	260.5	156.2	60%	124.2	48%	284.7	167.2	59%	104.7	37%
富山	91.9	48.9	53%	8.2	9%	90.9	39.7	44%	8.2	9%
石川	27.2	23.3	86%	1.5	6%	25.7	20.6	80%	1.5	6%
福井	70.0	8.3	12%	8.3	12%	70.6	9.1	13%	9.1	13%
岐阜	20.3	9.2	45%	2.6	13%	22.7	14.1	62%	2.6	11%
愛知	31.9	15.1	47%	1.5	5%	31.1	13.0	42%	1.7	6%
三重	28.7	19.8	69%	-	-	25.9	19.7	76%	-	-
滋賀	56.8	40.0	70%	36.5	64%	54.2	34.2	63%	16.0	29%
京都	9.4	7.1	76%	-	-	8.5	6.8	79%	-	-
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	40.1	12.5	31%	-	-	41.4	13.0	31%	-	-
奈良	7.9	-	-	-	-	8.4	-	-	-	-
和歌山	0.9	-	-	-	-	0.9	-	-	-	-
鳥取	22.5	5.7	25%	-	-	22.7	4.1	18%	-	-
島根	38.1	34.2	90%	3.2	8%	34.7	34.0	98%	3.1	9%
岡山	22.7	0.5	2%	-	-	45.8	-	-	-	-
広島	32.5	18.8	58%	1.5	5%	29.6	14.0	47%	-	-
山口	40.2	27.1	67%	0.8	2%	32.9	22.4	68%	0.6	2%
徳島	4.9	-	-	-	-	5.6	2.2	40%	-	-
香川	21.8	16.4	75%	-	-	19.9	15.8	79%	5.7	29%
愛媛	10.1	4.2	42%	-	-	8.4	3.6	43%	-	-
高知	8.4	2.0	24%	-	-	9.4	2.1	22%	-	-
福岡	53.1	33.0	62%	0.6	1%	43.1	26.1	61%	0.8	2%
佐賀	42.0	26.2	62%	-	-	28.4	-	-	-	-
長崎	11.6	7.0	60%	-	-	9.2	-	-	-	-
熊本	38.1	17.1	45%	-	-	32.5	-	-	-	-
大分	12.0	5.3	44%	-	-	9.1	3.3	36%	-	-
宮崎	14.8	8.2	55%	-	-	11.9	-	-	-	-
鹿児島	13.0	-	-	-	-	13.2	-	-	-	-
沖縄	1.6	-	-	-	-	1.4	-	-	-	-
全国	2,863	1,429	50%	850	30%	2,985	1,403	47%	844	28%

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 生産年の翌年10月末時点の数量である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 事前契約分とは、注4の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

7 「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

# 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、令和2・3年産)

単位:千玄米トン

産地	令和2年産					令和3年産				
	集荷数量 ④	うち事前契約 ⑤	事前契約比率 ⑤/④	うち複数年契約 ⑥	複数年契約比率 ⑥/④	集荷数量 ④	うち事前契約 ⑤	事前契約比率 ⑤/④	うち複数年契約 ⑥	複数年契約比率 ⑥/④
北海道	371.2	206.2	56%	183.5	49%	369.1	196.6	53%	178.7	48%
青森	147.5	66.8	45%	28.8	20%	123.0	69.3	56%	30.4	25%
岩手	139.5	88.0	63%	85.3	61%	132.8	51.0	38%	43.4	33%
宮城	192.8	110.0	57%	98.5	51%	181.5	106.4	59%	102.7	57%
秋田	282.1	207.1	73%	137.8	49%	269.4	195.4	73%	142.2	53%
山形	226.2	99.5	44%	54.9	24%	217.9	76.9	35%	49.8	23%
福島	150.4	48.3	32%	42.8	28%	130.5	56.0	43%	41.8	32%
茨城	84.0	29.6	35%	-	-	82.4	17.6	21%	-	-
栃木	132.8	70.7	53%	68.0	51%	128.6	66.7	52%	66.7	52%
群馬	23.1	4.0	17%	1.1	-	18.6	3.7	20%	1.1	6%
埼玉	24.1	6.8	28%	0.9	4%	23.4	6.3	27%	0.9	4%
千葉	85.4	6.5	8%	6.5	8%	70.3	3.9	6%	3.9	6%
東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	1.9	-	-	-	-	2.2	-	-	-	-
山梨	5.4	-	-	-	-	5.2	-	-	-	-
長野	66.5	36.9	56%	34.9	52%	65.4	33.3	51%	31.4	48%
静岡	5.7	1.6	29%	-	-	6.7	1.7	25%	-	-
新潟	280.9	185.7	66%	121.8	43%	272.3	184.9	68%	95.0	35%
富山	96.4	43.8	45%	6.6	7%	86.9	17.5	20%	3.7	4%
石川	33.2	22.1	67%	1.6	5%	36.8	15.8	43%	1.7	5%
福井	60.0	8.1	13%	8.1	13%	55.9	8.2	15%	8.2	15%
岐阜	19.6	6.6	33%	2.4	12%	22.6	8.6	38%	2.4	11%
愛知	34.1	14.2	42%	1.7	5%	37.2	15.6	42%	2.3	6%
三重	26.9	21.2	79%	-	-	27.2	18.6	68%	-	-
滋賀	67.3	35.4	53%	14.5	21%	59.4	36.8	62%	15.5	26%
京都	9.6	7.6	80%	2.0	21%	9.1	7.8	86%	1.0	11%
大阪	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	37.9	13.0	34%	-	-	40.2	14.2	35%	-	-
奈良	7.1	-	-	-	-	9.0	-	-	-	-
和歌山	0.5	-	-	-	-	0.8	-	-	-	-
鳥取	23.4	5.5	24%	-	-	24.8	15.4	62%	-	-
島根	33.5	31.9	95%	0.2	1%	34.5	28.4	82%	0.2	1%
岡山	37.8	-	-	-	-	39.2	-	-	-	-
広島	29.5	18.6	63%	-	-	31.7	17.9	56%	-	-
山口	21.1	12.2	58%	0.1	0%	43.4	18.5	43%	-	-
徳島	6.2	1.5	25%	-	-	5.8	2.2	38%	-	-
香川	20.4	20.0	98%	8.0	39%	21.4	21.0	98%	7.0	33%
愛媛	8.8	4.3	49%	-	-	11.0	5.0	45%	-	-
高知	9.0	1.8	20%	-	-	9.9	1.6	16%	-	-
福岡	39.7	23.7	60%	-	-	49.9	33.0	66%	-	-
佐賀	29.3	29.7	-	-	-	37.4	28.8	77%	-	-
長崎	7.8	7.2	-	-	-	10.4	7.3	70%	-	-
熊本	29.6	-	-	-	-	34.9	-	-	-	-
大分	8.4	3.9	47%	-	-	14.9	4.0	27%	-	-
宮崎	11.7	-	-	-	-	12.3	-	-	-	-
鹿児島	12.9	-	-	-	-	15.8	-	-	-	-
沖縄	1.3	-	-	-	-	1.3	-	-	-	-
全国	2,998	1,500	50%	910	30%	2,961	1,400	47%	830	28%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 生産年の翌年10月末時点の数量である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 事前契約分とは、注4の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

7 「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

## 2 令和3年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米）（速報）

（単位：千玄米トン）

	集荷数量 (4年8月)	契約数量											
		3年 9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
<b>北海道</b>	<b>368.4</b>	<b>201.4</b>	<b>238.5</b>	<b>225.9</b>	<b>233.5</b>	<b>239.6</b>	<b>248.0</b>	<b>264.1</b>	<b>291.3</b>	<b>317.9</b>	<b>330.7</b>	<b>349.3</b>	<b>354.0</b>
なまつぼし	176.1	106.3	111.1	115.7	119.5	123.2	128.0	135.1	151.2	166.5	169.4	172.6	173.9
ゆめびりか	92.9	56.6	71.7	59.7	61.4	62.6	63.6	64.8	68.0	69.5	73.1	82.7	84.4
きらら397	33.9	17.4	17.6	17.9	18.6	18.8	19.7	21.9	27.2	29.9	31.7	32.6	33.0
<b>青森</b>	<b>122.7</b>	<b>33.0</b>	<b>37.4</b>	<b>71.8</b>	<b>76.7</b>	<b>82.9</b>	<b>95.3</b>	<b>103.0</b>	<b>106.3</b>	<b>109.2</b>	<b>111.8</b>	<b>114.8</b>	<b>117.5</b>
まっしぐら	96	25.9	28.4	53.7	57.8	61.9	73.3	79.5	82.4	84.8	87.1	89.5	91.6
つがるロマン	15.4	2.6	4.0	9.7	10.0	11.1	11.6	12.8	13.1	13.4	13.7	14.1	14.7
<b>岩手</b>	<b>132.7</b>	<b>52.3</b>	<b>53.9</b>	<b>56.7</b>	<b>74.0</b>	<b>83.3</b>	<b>114.0</b>	<b>118.0</b>	<b>119.2</b>	<b>121.9</b>	<b>128.1</b>	<b>128.7</b>	<b>129.5</b>
ひとめぼれ	102.8	41.1	42.4	45.0	61.3	65.2	92.8	94.3	95.1	96.1	98.8	99.3	99.8
あきたこまち	14.4	3.5	3.5	3.5	3.6	7.3	9.9	10.3	10.4	11.4	14.4	14.4	14.4
銀河のしずく	7.2	4.3	4.5	4.6	4.9	5.8	5.8	6.3	6.6	6.6	6.8	6.8	7.1
<b>宮城</b>	<b>181.5</b>	<b>108.3</b>	<b>115.0</b>	<b>116.8</b>	<b>112.5</b>	<b>133.4</b>	<b>149.8</b>	<b>169.7</b>	<b>173.5</b>	<b>177.8</b>	<b>176.6</b>	<b>172.9</b>	<b>179.0</b>
ひとめぼれ	139.6	85.8	91.6	92.8	87.5	109.3	115.9	134.4	137.5	138.9	137.2	134.4	139.0
つや姫	14.7	10.7	10.8	10.9	10.8	10.6	13.8	14.2	14.3	14.5	14.7	14.6	14.7
ササニシキ	9.9	7.0	7.2	7.3	6.5	6.2	9.3	9.3	9.4	9.5	9.4	9.0	9.8
<b>秋田</b>	<b>269.8</b>	<b>196.6</b>	<b>200.4</b>	<b>204.6</b>	<b>209.8</b>	<b>222.0</b>	<b>235.8</b>	<b>240.9</b>	<b>249.6</b>	<b>253.5</b>	<b>259.0</b>	<b>262.4</b>	<b>267.7</b>
あきたこまち	223.1	169.0	171.8	175.1	177.6	182.2	193.5	198.2	204.9	208.6	213.5	216.6	221.2
めんこいな	11.1	6.5	6.7	6.9	7.5	8.7	9.2	9.1	10.9	10.8	10.8	10.9	10.9
ひとめぼれ	21.1	14.9	15.0	15.0	15.1	20.0	20.4	20.4	20.4	20.5	20.7	20.8	21.1
<b>山形</b>	<b>211.6</b>	<b>78.9</b>	<b>83.9</b>	<b>93.9</b>	<b>99.7</b>	<b>108.0</b>	<b>136.5</b>	<b>161.8</b>	<b>170.0</b>	<b>181.9</b>	<b>188.7</b>	<b>196.4</b>	<b>201.9</b>
はえぬき	121	35.7	37.4	42.6	45.0	50.1	70.2	87.3	92.5	100.9	105.3	110.8	114.5
つや姫	44	21.2	23.3	25.4	27.6	29.1	32.4	35.9	37.9	39.4	41.0	42.3	43.2
雪若丸	20.3	11.2	11.6	12.1	12.3	12.8	14.8	15.3	15.7	17.2	17.3	17.6	18.1
<b>福島</b>	<b>128.4</b>	<b>52.2</b>	<b>56.4</b>	<b>65.1</b>	<b>73.4</b>	<b>82.2</b>	<b>89.6</b>	<b>112.4</b>	<b>115.5</b>	<b>118.6</b>	<b>122.3</b>	<b>124.9</b>	<b>128.6</b>
コシヒカリ中通り	39.8	6.4	8.2	12.3	18.1	21.5	22.9	35.0	35.8	36.8	38.3	39.1	39.9
コシヒカリ会津	31.1	25.5	26.3	27.0	27.3	28.3	30.6	31.5	31.9	32.2	32.5	32.7	32.9
コシヒカリ浜通り	5.1	3.5	3.6	3.8	3.9	4.2	4.6	4.6	4.7	4.9	4.9	4.9	5.3
ひとめぼれ	24.1	8.0	8.7	10.3	11.6	13.1	15.3	20.4	21.2	21.9	22.8	23.6	24.3
天のつぶ	18.2	6.1	6.3	7.9	8.3	10.6	11.1	14.4	15.2	15.9	16.3	16.4	17.4
<b>茨城</b>	<b>81.9</b>	<b>28.6</b>	<b>26.1</b>	<b>33.7</b>	<b>46.7</b>	<b>65.1</b>	<b>70.2</b>	<b>72.8</b>	<b>76.9</b>	<b>78.8</b>	<b>80.9</b>	<b>81.3</b>	<b>82.1</b>
コシヒカリ	59.7	17.8	15.0	20.5	30.0	45.4	49.7	51.5	54.8	56.6	58.6	59.0	59.6
あきたこまち	10.7	6.6	7.3	8.7	8.7	10.2	9.4	10.1	10.8	10.8	10.8	10.8	11.0
あさひの夢	0.2	-	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
<b>栃木</b>	<b>128.6</b>	<b>63.9</b>	<b>65.7</b>	<b>67.9</b>	<b>70.2</b>	<b>86.7</b>	<b>98.0</b>	<b>101.2</b>	<b>105.4</b>	<b>109.0</b>	<b>113.8</b>	<b>117.2</b>	<b>120.9</b>
コシヒカリ	94.5	52.4	53.0	54.9	56.4	68.6	73.3	75.6	78.6	81.2	84.5	87.0	89.2
あさひの夢	7.0	2.6	2.8	2.9	3.0	3.0	4.4	4.5	5.0	5.3	5.8	6.0	6.4
とちぎの星	19.1	6.4	6.5	6.6	6.6	11.0	14.8	15.3	15.7	16.2	16.9	17.3	18.0
<b>群馬</b>	<b>18.6</b>	<b>-</b>	<b>3.7</b>	<b>3.8</b>	<b>4.2</b>	<b>13.8</b>	<b>16.7</b>	<b>17.9</b>	<b>18.5</b>	<b>18.5</b>	<b>18.5</b>	<b>18.5</b>	<b>18.5</b>
あさひの夢	12.3	-	3.7	3.7	3.8	11.3	11.4	11.8	12.3	12.3	12.3	12.3	12.3
ゆめまつり	3.5	-	0.0	0.0	0.1	1.3	3.3	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
<b>埼玉</b>	<b>23.4</b>	<b>6.6</b>	<b>6.7</b>	<b>6.8</b>	<b>7.1</b>	<b>15.0</b>	<b>20.8</b>	<b>20.9</b>	<b>21.4</b>	<b>21.8</b>	<b>22.2</b>	<b>22.3</b>	<b>22.9</b>
彩のかがやき	8.7	3.2	3.3	3.3	3.3	6.7	7.4	7.4	7.7	7.8	8.1	8.1	8.4
彩のきずな	7.3	1.9	2.0	2.0	2.1	5.0	6.7	6.8	6.8	6.9	7.1	7.1	7.2
コシヒカリ	5.1	1.4	1.4	1.4	1.4	3.1	4.4	4.4	4.5	4.7	4.8	4.8	5.0
<b>千葉</b>	<b>69.7</b>	<b>21.8</b>	<b>24.8</b>	<b>29.3</b>	<b>36.9</b>	<b>46.2</b>	<b>53.2</b>	<b>54.3</b>	<b>58.2</b>	<b>61.6</b>	<b>66.4</b>	<b>69.0</b>	<b>70.1</b>
コシヒカリ	34.9	12.3	13.7	15.6	17.5	22.7	24.4	26.1	28.4	30.2	33.2	34.5	35.0
ふさこがね	14.8	4.5	4.9	5.9	8.4	10.9	11.7	12.4	13.0	13.6	14.4	14.7	15.0
ふさおとめ	13.1	3.9	4.8	5.6	6.0	8.3	9.0	9.6	10.5	11.2	12.1	13.0	13.3

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 数値は、各月ごとに取りまとめた公表ベースであるため、公表後の契約変更等を遡って修正していないことから契約及び販売数量が減少する場合がある。



(単位:千玄米トン)

	販売数量											
	3年 9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
<b>北海道</b>	<b>7.0</b>	<b>35.9</b>	<b>59.7</b>	<b>83.3</b>	<b>99.8</b>	<b>121.4</b>	<b>146.4</b>	<b>175.9</b>	<b>202.6</b>	<b>231.5</b>	<b>259.7</b>	<b>285.3</b>
ななつぼし	1.7	16.3	29.0	42.2	51.5	63.3	77.0	93.1	109.2	125.2	140.1	152.5
ゆめぴりか	1.9	7.7	12.5	18.8	23.1	28.5	34.6	42.1	47.7	54.8	61.7	68.2
きらら397	0.0	1.0	2.1	3.2	3.9	5.2	6.9	8.6	10.0	11.8	13.9	16.5
<b>青森</b>	<b>1.0</b>	<b>5.9</b>	<b>10.5</b>	<b>19.1</b>	<b>26.6</b>	<b>42.4</b>	<b>49.6</b>	<b>58.5</b>	<b>66.7</b>	<b>76.9</b>	<b>86.4</b>	<b>96.9</b>
まっしぐら	0.2	2.2	4.8	11.0	16.5	30.4	35.8	42.8	49.4	57.7	65.1	73.3
つがるロマン	0.2	1.7	2.7	3.9	5.3	6.5	7.6	8.6	9.6	10.8	12.0	13.6
<b>岩手</b>	<b>0.6</b>	<b>4.7</b>	<b>9.2</b>	<b>13.6</b>	<b>18.1</b>	<b>22.9</b>	<b>31.0</b>	<b>40.6</b>	<b>48.5</b>	<b>58.3</b>	<b>68.8</b>	<b>79.6</b>
ひとめぼれ	0.4	3.1	6.6	10.0	13.5	17.4	23.9	32.1	38.6	46.6	54.9	63.7
あきたこまち	0.0	0.3	0.5	0.7	0.9	1.1	1.6	2.1	3.0	3.7	4.8	5.6
銀河のしずく	0.2	0.7	1.1	1.6	2.0	2.4	2.9	3.5	3.8	4.3	4.8	5.7
<b>宮城</b>	<b>1.2</b>	<b>6.7</b>	<b>12.5</b>	<b>18.2</b>	<b>24.4</b>	<b>33.1</b>	<b>44.1</b>	<b>59.6</b>	<b>73.2</b>	<b>87.7</b>	<b>100.1</b>	<b>114.0</b>
ひとめぼれ	1.0	4.7	8.3	12.1	16.2	21.9	29.5	41.8	52.2	63.2	72.7	83.7
つや姫	0.0	0.7	1.6	2.4	3.2	4.4	6.0	6.9	7.9	9.4	10.8	12.3
ササニシキ	0.1	0.5	1.0	1.4	2.0	2.7	3.5	4.3	4.9	5.6	6.2	6.9
<b>秋田</b>	<b>1.8</b>	<b>14.4</b>	<b>27.5</b>	<b>44.1</b>	<b>58.4</b>	<b>76.2</b>	<b>102.4</b>	<b>125.2</b>	<b>144.9</b>	<b>168.1</b>	<b>192.1</b>	<b>216.4</b>
あきたこまち	1.7	13.3	24.8	38.7	51.5	67.5	90.9	111.2	128.8	148.8	168.5	188.6
めんこいな	0.0	0.1	0.3	0.8	1.1	1.5	2.1	2.8	3.4	4.2	5.1	6.2
ひとめぼれ	0.0	0.3	0.7	1.2	1.7	2.5	3.4	4.5	5.3	6.3	8.0	10.6
<b>山形</b>	<b>1.0</b>	<b>9.1</b>	<b>17.3</b>	<b>29.1</b>	<b>38.0</b>	<b>52.4</b>	<b>70.5</b>	<b>88.2</b>	<b>105.9</b>	<b>122.2</b>	<b>138.5</b>	<b>156.1</b>
はえぬぎ	0.4	2.5	5.4	9.9	13.8	20.7	29.7	39.7	50.3	59.8	70.3	81.0
つや姫	0.2	3.6	6.3	10.6	13.2	17.4	21.6	25.9	29.1	32.8	35.8	39.2
雪若丸	0.2	1.0	2.0	3.1	3.9	5.0	6.6	7.8	9.5	10.6	11.6	13.6
<b>福島</b>	<b>0.3</b>	<b>3.3</b>	<b>11.2</b>	<b>17.4</b>	<b>22.2</b>	<b>27.7</b>	<b>35.7</b>	<b>44.4</b>	<b>52.1</b>	<b>62.9</b>	<b>72.5</b>	<b>84.7</b>
コシヒカリ中通り	0.0	1.0	3.7	6.5	8.5	10.5	13.4	16.3	19.6	24.2	28.0	31.3
コシヒカリ会津	0.0	0.6	1.5	2.4	3.2	4.0	5.2	6.6	7.8	9.4	11.3	13.6
コシヒカリ浜通り	-	0.1	0.2	0.4	0.6	0.9	1.2	1.5	1.8	2.1	2.5	3.4
ひとめぼれ	0.1	0.8	2.4	3.7	4.8	6.1	7.8	9.8	11.5	13.5	14.9	16.7
天のつぶ	-	0.3	2.2	2.7	2.9	3.4	4.6	6.2	7.3	8.6	10.0	12.6
<b>茨城</b>	<b>4.6</b>	<b>8.4</b>	<b>12.6</b>	<b>17.7</b>	<b>21.9</b>	<b>26.8</b>	<b>35.7</b>	<b>43.3</b>	<b>49.3</b>	<b>55.8</b>	<b>60.4</b>	<b>65.6</b>
コシヒカリ	2.3	4.1	7.1	10.3	13.5	17.0	23.0	29.0	33.5	37.0	40.4	44.4
あきたこまち	1.9	3.6	4.4	5.6	6.1	7.0	7.9	8.8	9.5	10.1	10.4	10.6
あさひの夢	-	-	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
<b>栃木</b>	<b>1.0</b>	<b>2.7</b>	<b>4.6</b>	<b>7.3</b>	<b>10.1</b>	<b>15.3</b>	<b>30.3</b>	<b>40.2</b>	<b>48.1</b>	<b>59.5</b>	<b>69.1</b>	<b>80.8</b>
コシヒカリ	0.8	2.1	3.4	5.5	7.6	11.7	22.7	29.6	34.9	42.3	49.5	58.0
あさひの夢	-	0.1	0.2	0.4	0.4	0.5	1.0	1.5	1.8	2.5	2.9	3.7
とちぎの星	0.0	0.1	0.3	0.5	0.9	1.3	4.2	6.2	7.9	10.4	11.8	13.7
<b>群馬</b>	<b>-</b>	<b>0.0</b>	<b>0.1</b>	<b>0.4</b>	<b>7.3</b>	<b>8.4</b>	<b>9.2</b>	<b>9.4</b>	<b>9.8</b>	<b>11.4</b>	<b>11.8</b>	<b>12.2</b>
あさひの夢	-	-	0.0	0.1	5.4	5.7	6.3	6.4	6.6	7.7	8.1	8.3
ゆめまつり	-	-	0.0	0.1	1.0	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.0	2.0
<b>埼玉</b>	<b>0.1</b>	<b>0.9</b>	<b>1.7</b>	<b>2.5</b>	<b>3.6</b>	<b>5.1</b>	<b>7.1</b>	<b>8.9</b>	<b>10.9</b>	<b>13.1</b>	<b>13.8</b>	<b>15.1</b>
彩のかがやき	-	0.2	0.6	0.9	1.4	2.4	3.3	4.3	5.3	6.0	6.2	6.9
彩のきずな	0.0	0.4	0.6	0.9	1.2	1.5	1.6	1.8	2.1	3.0	3.3	3.7
コシヒカリ	0.0	0.3	0.4	0.6	0.7	0.8	1.0	1.3	1.5	2.1	2.2	2.5
<b>千葉</b>	<b>11.5</b>	<b>16.2</b>	<b>21.5</b>	<b>27.5</b>	<b>31.8</b>	<b>36.1</b>	<b>41.4</b>	<b>47.6</b>	<b>52.7</b>	<b>62.4</b>	<b>66.4</b>	<b>68.7</b>
コシヒカリ	4.6	7.4	10.1	12.5	14.6	16.9	19.9	23.5	26.3	31.1	33.5	34.6
ふさこがね	2.9	3.4	4.5	6.8	7.9	8.6	9.4	10.8	11.7	13.7	14.3	14.8
ふさおとめ	3.6	4.5	5.4	5.9	6.4	7.2	7.9	8.9	9.8	11.5	12.4	13.0

(単位:千玄米トン)

	集荷数量 (4年8月)	契約数量											
		3年 9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東京	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
神奈川	2.2	-	0.2	0.5	0.7	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.7	1.7	1.9
山梨	5.2	0.0	0.4	0.6	1.0	1.2	1.5	2.5	2.9	3.1	3.5	3.8	4.2
コシヒカリ	4.5	0.0	0.3	0.6	0.8	1.0	1.3	2.2	2.5	2.7	3.0	3.2	3.6
長野	65.3	30.7	32.2	32.9	34.5	40.4	40.4	62.5	63.4	64.3	65.0	65.0	65.0
コシヒカリ	52.3	23.4	24.6	25.1	26.5	31.5	31.5	50.1	50.7	51.3	52.0	52.0	52.0
あきたこまち	6.6	4.3	4.3	4.3	4.3	4.7	4.7	6.4	6.5	6.5	6.6	6.6	6.6
静岡	6.7	1.7	1.7	1.7	1.8	2.1	2.4	3.0	3.5	4.0	6.7	6.7	6.7
コシヒカリ	3.8	1.4	1.4	1.4	1.4	1.6	1.8	2.2	2.5	2.8	3.8	3.8	3.8
きぬむすめ	1.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	1.3	1.3	1.3
あいちのかおり	0.9	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.9	0.9	0.9
新潟	272.3	170.8	182.7	187.3	196.8	202.7	223.1	234.0	255.6	262.0	266.6	268.8	270.8
コシヒカリ一般	136.8	82.9	88.7	90.1	95.6	98.4	109.6	114.0	127.3	132.1	134.1	135.5	136.4
コシヒカリ魚沼	29.8	15.9	19.3	20.7	21.9	22.9	23.7	24.4	25.5	26.5	27.6	28.5	29.2
コシヒカリ佐渡	13.9	12.2	12.3	12.3	12.5	12.6	13.0	13.6	13.7	13.8	13.8	13.9	13.9
コシヒカリ岩船	11	9.9	9.9	9.9	9.9	10.0	10.0	11.0	11.2	11.2	11.2	11.0	11.0
こしいぶき	42.6	26.5	27.5	27.5	29.2	30.4	33.0	35.5	40.8	41.1	41.5	42.0	42.3
富山	86.9	38.0	41.3	45.6	49.0	55.0	62.2	73.9	76.8	78.8	85.7	86.2	86.6
コシヒカリ	61.3	30.1	32.5	36.1	37.2	42.1	44.0	50.2	52.4	54.3	60.4	60.8	61.1
てんたかく	8.3	3.4	3.7	4.0	4.5	5.2	6.4	7.9	8.1	8.1	8.3	8.3	8.3
石川	36.8	13.8	13.8	14.2	14.4	14.5	14.5	34.5	35.3	34.7	36.8	36.8	36.8
コシヒカリ	18.3	5.4	5.4	5.7	5.7	5.8	5.8	17.2	17.4	16.8	18.3	18.3	18.3
ゆめみづほ	7.9	2.4	2.6	2.6	2.7	2.7	2.7	7.6	7.8	7.8	7.9	7.9	7.9
福井	55.9	15.2	17.8	20.6	24.0	38.0	39.1	49.2	51.9	53.3	53.7	54.7	55.4
コシヒカリ	20.6	5.4	5.9	6.8	7.6	12.3	12.7	18.5	20.3	20.5	20.5	20.6	20.7
ハナエチゼン	17.3	5.3	5.8	6.7	8.2	13.0	13.2	15.3	15.6	16.6	16.7	17.1	17.2
あきさかり	5.1	0.5	1.2	1.6	1.9	2.9	3.0	4.0	4.4	4.5	4.7	4.9	5.1
岐阜	22.3	10.1	10.9	11.7	12.3	13.6	14.6	15.1	17.6	19.0	22.0	22.1	22.5
ハツシモ	10.7	6.3	6.4	6.9	7.0	7.3	7.6	7.4	7.8	8.8	10.9	11.0	11.1
コシヒカリ	5.1	2.1	2.7	2.8	3.1	3.4	3.7	4.2	4.4	4.6	4.8	4.9	5.0
あさひの夢	0.1	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
愛知	37	27.5	28.6	34.3	36.1	36.4	36.5	36.5	36.8	36.8	36.8	36.9	37.0
あいちのかおり	20.5	16.1	16.3	19.3	19.8	20.1	20.1	20.1	20.4	20.4	20.4	20.4	20.5
コシヒカリ	10.7	8.9	9.0	10.4	10.6	10.6	10.6	10.6	10.6	10.6	10.6	10.7	10.7
大地の風	1.3	1.1	1.1	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
三重	27.2	21.7	21.7	21.8	22.1	24.2	27.5	29.9	26.5	27.0	27.0	27.2	27.2
コシヒカリ一般	13.2	12.1	12.2	12.2	12.2	12.5	13.6	14.9	12.9	13.0	13.1	13.2	13.2
コシヒカリ伊賀	6.2	5.0	5.0	5.0	5.0	5.1	6.0	6.4	6.0	6.2	6.2	6.2	6.2
キヌヒカリ	2.1	1.2	1.2	1.2	1.3	1.4	1.7	2.1	1.9	2.1	2.1	2.1	2.1
滋賀	59.1	45.2	40.2	40.8	44.5	44.9	45.3	53.7	54.4	54.8	56.8	57.8	58.6
コシヒカリ	20	16.5	15.3	15.1	15.6	15.8	15.9	19.0	19.1	19.2	19.4	19.6	19.9
キヌヒカリ	10.9	7.4	6.5	6.6	8.8	8.8	8.9	9.7	9.9	10.0	10.4	10.7	10.8
みずかがみ	11.4	8.7	8.1	8.4	8.5	8.6	8.7	10.6	10.7	10.7	11.1	11.3	11.4
京都	9	7.8	8.3	8.3	8.4	8.5	8.5	8.5	8.7	8.7	8.7	8.7	9.0
コシヒカリ	5.6	5.1	5.3	5.3	5.4	5.4	5.4	5.4	5.3	5.3	5.3	5.3	5.6
キヌヒカリ	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
ヒノヒカリ	1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	40.2	14.2	26.3	27.4	29.2	31.0	32.7	32.7	37.1	38.0	38.7	39.4	39.3
コシヒカリ	12.3	7.3	7.8	8.1	8.6	9.2	9.4	9.4	11.9	11.9	12.1	12.1	12.1
ヒノヒカリ	5.1	2.4	2.4	2.6	2.8	3.1	3.4	3.4	3.9	4.3	4.4	4.6	4.7
キヌヒカリ	4	1.7	1.8	1.9	2.1	2.4	2.7	2.7	3.5	3.7	3.7	3.8	3.9
奈良	9	0.0	0.3	0.8	1.1	1.5	2.0	3.7	4.2	4.6	5.0	5.5	6.2
ヒノヒカリ	7.7	-	0.2	0.5	0.8	1.1	1.5	3.1	3.4	3.8	4.3	4.7	5.3
和歌山	0.8	0.3	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
鳥取	24.8	7.6	8.2	8.8	18.8	19.6	19.6	22.3	23.9	24.6	24.4	24.4	24.6
きぬむすめ	8.9	1.9	2.0	2.0	5.9	6.5	6.5	6.5	7.8	8.6	8.6	8.6	8.7
コシヒカリ	6.2	1.5	1.7	1.9	5.0	5.1	5.1	6.1	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2
ひとめぼれ	4.4	1.9	2.0	2.3	3.7	3.7	3.7	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4

(単位:千玄米トン)

	販売数量											
	3年 9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東京	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
神奈川	-	0.2	0.5	0.7	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.7	1.7	1.9
山梨	0.0	0.4	0.6	1.0	1.2	1.5	2.5	2.9	3.1	3.5	3.8	4.2
コシヒカリ	0.0	0.3	0.6	0.8	1.0	1.3	2.2	2.5	2.7	3.0	3.2	3.6
長野	0.8	3.4	6.5	9.5	12.0	12.0	19.2	23.4	27.3	32.1	37.2	42.9
コシヒカリ	0.6	2.5	4.9	7.2	9.1	9.1	14.7	18.2	21.3	25.1	29.2	33.5
あきたこまち	0.1	0.4	0.7	1.0	1.3	1.3	1.9	2.3	2.8	3.4	4.1	4.9
静岡	0.5	0.9	1.4	1.8	2.1	2.4	3.0	3.5	4.0	6.7	6.7	6.7
コシヒカリ	0.5	0.8	1.1	1.4	1.6	1.8	2.2	2.5	2.8	3.8	3.8	3.8
きぬむすめ	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	1.3	1.3	1.3
あいちのかおり	-	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.9	0.9	0.9
新潟	11.2	29.1	43.4	62.1	78.6	94.5	117.5	152.6	173.6	198.4	218.2	239.0
コシヒカリ一般	4.3	11.7	17.5	25.7	33.6	41.2	52.7	74.0	86.1	100.0	110.8	121.7
コシヒカリ魚沼	1.9	5.0	7.4	10.7	12.7	14.9	17.2	19.6	21.5	23.6	25.5	27.3
コシヒカリ佐渡	0.2	1.7	2.7	3.7	5.0	5.7	6.9	8.0	9.0	10.1	11.1	12.1
コシヒカリ岩船	0.3	1.2	2.0	3.0	3.6	4.4	5.2	6.1	6.7	7.7	8.3	9.6
こしいぶき	2.6	4.2	5.9	8.5	11.0	13.0	16.6	22.7	25.8	29.5	32.9	36.1
富山	3.8	8.2	13.0	18.5	23.1	27.3	34.4	40.8	46.3	57.8	62.7	67.1
コシヒカリ	2.3	5.8	9.5	13.7	16.8	19.9	25.5	30.3	34.4	43.3	46.7	49.6
てんたかく	1.0	1.4	1.8	2.3	2.9	3.2	3.8	4.4	4.9	6.2	6.6	6.9
石川	1.8	3.0	4.2	5.0	6.2	7.6	9.4	11.2	13.0	17.3	19.2	21.1
コシヒカリ	0.2	0.8	1.4	1.7	2.4	3.1	3.8	4.6	5.4	7.6	8.7	10.0
ゆめみづほ	1.3	1.5	1.6	1.7	1.8	2.1	2.3	2.6	2.9	3.5	3.7	4.0
福井	4.3	7.1	10.3	13.6	16.0	20.0	23.7	27.5	32.0	37.1	40.7	44.4
コシヒカリ	1.7	2.6	3.8	5.2	5.9	7.7	9.0	10.6	12.9	14.4	15.5	16.7
ハナエチゼン	2.2	3.0	3.4	4.1	4.9	6.2	7.6	8.6	10.0	12.1	12.9	14.0
あきさかり	0.0	0.2	0.6	0.8	0.9	1.1	1.4	2.0	2.5	3.3	4.0	4.3
岐阜	0.8	1.8	2.8	3.7	4.5	5.2	6.6	7.8	9.5	12.1	13.6	15.7
ハツシモ	-	0.2	0.5	0.9	1.3	1.6	2.2	2.8	3.6	4.5	5.1	5.9
コシヒカリ	0.1	0.5	1.0	1.3	1.6	1.8	2.2	2.7	3.0	3.7	3.9	4.3
あさひの夢	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
愛知	1.8	3.7	6.3	8.9	11.2	13.4	15.8	18.8	21.5	25.1	26.8	29.5
あいちのかおり	-	0.6	2.1	3.5	4.8	6.2	7.6	9.1	10.7	12.6	13.6	15.5
コシヒカリ	0.9	1.7	2.5	3.2	4.0	4.6	5.4	6.3	7.0	8.4	9.0	9.6
大地の風	-	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9
三重	2.4	3.8	5.4	7.2	8.9	10.0	12.1	14.6	16.3	19.3	21.3	23.5
コシヒカリ一般	1.3	2.1	3.0	3.8	4.6	5.3	6.3	7.3	8.1	9.6	10.6	11.5
コシヒカリ伊賀	0.5	0.9	1.2	1.7	2.1	2.4	2.8	3.3	3.6	4.1	4.5	5.2
キヌヒカリ	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5	0.5	0.7	1.1	1.4	1.7	1.9	2.0
滋賀	3.5	6.7	9.8	13.7	16.7	20.5	26.3	31.2	34.5	39.2	41.0	47.7
コシヒカリ	1.3	2.8	3.9	5.4	6.2	7.4	9.8	11.5	12.3	13.8	14.1	16.6
キヌヒカリ	0.3	0.7	1.1	1.7	2.3	3.0	4.3	5.5	6.2	7.1	7.4	8.9
みずかがみ	1.5	2.3	2.9	3.6	4.1	4.8	5.6	6.6	7.2	8.2	8.7	9.9
京都	0.2	0.9	1.4	2.1	2.8	3.4	4.1	5.4	5.9	6.8	7.4	8.1
コシヒカリ	0.2	0.7	1.1	1.5	1.9	2.4	2.9	3.5	3.9	4.5	5.0	5.3
キヌヒカリ	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4
ヒノヒカリ	-	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.7	0.8
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	1.2	3.6	7.5	11.3	13.7	16.4	19.4	21.3	23.4	25.9	27.7	30.5
コシヒカリ	0.8	1.6	2.6	3.6	4.5	5.5	7.0	7.4	8.4	9.6	10.4	11.4
ヒノヒカリ	-	0.1	0.4	0.6	1.0	1.3	1.6	2.0	2.4	2.7	3.0	3.5
キヌヒカリ	0.0	0.4	0.8	1.1	1.4	1.5	1.8	2.1	2.4	2.6	2.8	3.1
奈良	0.0	0.3	0.8	1.1	1.5	2.0	3.7	4.2	4.6	5.0	5.5	6.2
ヒノヒカリ	-	0.2	0.5	0.8	1.1	1.5	3.1	3.4	3.8	4.3	4.7	5.3
和歌山	0.0	0.1	0.3	0.4	0.5	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
鳥取	0.6	1.8	2.6	3.9	6.9	6.1	8.1	9.9	11.2	13.5	15.9	17.9
きぬむすめ	-	0.2	0.2	0.4	1.7	0.7	1.5	1.7	2.1	2.9	4.0	4.7
コシヒカリ	0.2	0.6	0.9	1.3	1.8	1.9	2.4	3.0	3.5	3.9	4.4	4.9
ひとめぼれ	0.3	0.6	0.7	0.9	1.5	1.5	2.0	2.4	2.6	3.0	3.4	3.9

(単位:千玄米トン)

	集荷数量 (4年8月)	契約数量											
		3年 9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
<b>島根</b>	<b>34.5</b>	<b>19.4</b>	<b>23.1</b>	<b>27.8</b>	<b>28.1</b>	<b>28.7</b>	<b>28.8</b>	<b>28.8</b>	<b>29.1</b>	<b>31.6</b>	<b>32.9</b>	<b>33.5</b>	<b>33.6</b>
コシヒカリ	13.1	6.9	8.4	10.9	11.2	11.3	11.3	11.3	11.5	12.5	12.6	12.6	12.6
きぬむすめ	14.3	8.1	9.6	11.5	11.5	11.7	11.7	11.7	11.8	12.7	13.5	14.1	14.1
つや姫	4.9	3.8	3.9	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.1	4.6	4.6	4.6	4.7
<b>岡山</b>	<b>40.3</b>	<b>7.4</b>	<b>12.4</b>	<b>14.7</b>	<b>16.6</b>	<b>18.6</b>	<b>27.6</b>	<b>29.3</b>	<b>32.5</b>	<b>34.0</b>	<b>34.8</b>	<b>35.6</b>	<b>36.7</b>
アケボノ	8.4	0.1	1.9	2.4	2.8	4.1	5.6	5.8	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5
コシヒカリ	6.7	2.6	2.9	3.3	3.6	3.9	4.5	5.0	5.5	5.8	6.0	6.3	6.5
きぬむすめ	6.9	1.5	1.7	2.2	2.5	3.0	4.7	4.7	4.9	5.1	5.1	5.4	5.6
<b>広島</b>	<b>31.7</b>	<b>27.4</b>	<b>28.6</b>	<b>31.6</b>	<b>29.9</b>	<b>30.3</b>	<b>31.2</b>	<b>32.1</b>	<b>33.2</b>	<b>34.2</b>	<b>35.0</b>	<b>35.5</b>	<b>36.8</b>
コシヒカリ	12.8	13.9	14.4	14.5	14.7	14.8	15.3	15.6	15.7	16.5	16.6	16.8	16.9
あきさかり	7.4	7.0	7.1	7.1	7.5	7.7	7.8	8.0	8.4	8.5	8.7	8.8	9.5
あきろまん	3	2.0	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.4	2.5	2.6	2.7	2.7	2.8
<b>山口</b>	<b>43.4</b>	<b>18.3</b>	<b>19.4</b>	<b>21.6</b>	<b>21.8</b>	<b>23.0</b>	<b>24.3</b>	<b>25.1</b>	<b>26.0</b>	<b>33.9</b>	<b>39.3</b>	<b>40.1</b>	<b>40.8</b>
コシヒカリ	10.2	5.9	6.1	6.2	6.4	6.5	6.7	6.9	7.1	8.6	9.6	9.7	9.9
ひとめぼれ	9.6	4.2	4.3	4.4	4.5	4.8	5.0	5.3	5.5	7.5	9.0	9.2	9.3
ヒノヒカリ	7.5	2.7	2.7	2.8	2.9	2.9	3.0	3.1	3.3	5.3	6.7	6.8	6.9
<b>徳島</b>	<b>5.8</b>	<b>3.4</b>	<b>3.4</b>	<b>4.3</b>	<b>3.7</b>	<b>3.8</b>	<b>5.8</b>	<b>5.8</b>	<b>5.8</b>	<b>5.8</b>	<b>5.8</b>	<b>5.8</b>	<b>5.8</b>
コシヒカリ	2.2	1.0	1.0	1.6	1.6	1.6	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
あきさかり	3	2.2	2.2	2.2	1.6	1.6	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
<b>香川</b>	<b>21.2</b>	<b>6.0</b>	<b>15.6</b>	<b>15.6</b>	<b>15.5</b>	<b>15.5</b>	<b>15.5</b>	<b>15.5</b>	<b>15.5</b>	<b>15.5</b>	<b>15.5</b>	<b>21.0</b>	<b>21.0</b>
コシヒカリ	6.3	0.9	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	6.3	6.3
ヒノヒカリ	6.2	3.9	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	6.1	6.1
おいでまい	4	0.3	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	4.0	4.0
<b>愛媛</b>	<b>10.9</b>	<b>0.5</b>	<b>1.4</b>	<b>2.2</b>	<b>8.1</b>	<b>8.4</b>	<b>8.4</b>	<b>9.0</b>	<b>9.2</b>	<b>9.7</b>	<b>10.3</b>	<b>11.0</b>	<b>11.1</b>
コシヒカリ	3.7	0.5	1.0	1.2	3.4	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.7
ヒノヒカリ	2.2	-	0.1	0.2	1.3	1.3	1.3	1.4	1.5	1.6	2.0	2.2	2.2
あきたこまち	1.2	0.1	0.2	0.2	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	1.1	1.2	1.2	1.2
<b>高知</b>	<b>9.9</b>	<b>4.2</b>	<b>4.6</b>	<b>5.2</b>	<b>8.3</b>	<b>8.7</b>	<b>9.2</b>	<b>11.1</b>	<b>10.9</b>	<b>11.0</b>	<b>11.0</b>	<b>11.1</b>	<b>11.2</b>
コシヒカリ	6.7	3.7	3.7	3.8	6.7	6.7	6.7	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
ヒノヒカリ	1.4	0.0	0.3	0.5	0.5	0.8	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3
<b>福岡</b>	<b>49.8</b>	<b>38.2</b>	<b>39.8</b>	<b>41.6</b>	<b>42.1</b>	<b>43.1</b>	<b>43.9</b>	<b>42.7</b>	<b>46.5</b>	<b>47.2</b>	<b>48.1</b>	<b>48.6</b>	<b>48.9</b>
夢つくし	15.5	12.5	13.2	13.4	13.6	14.1	14.4	13.7	14.4	14.7	15.0	15.3	15.3
ヒノヒカリ	13.4	10.3	10.8	11.4	11.6	11.8	11.9	11.2	12.8	12.9	13.2	13.3	13.3
元気つくし	15.5	12.3	12.3	12.4	12.6	12.8	13.2	12.9	14.1	14.3	14.5	14.6	14.9
<b>佐賀</b>	<b>37.4</b>	<b>15.5</b>	<b>16.7</b>	<b>17.0</b>	<b>17.1</b>	<b>23.9</b>	<b>24.2</b>	<b>24.4</b>	<b>24.7</b>	<b>24.9</b>	<b>32.1</b>	<b>32.6</b>	<b>32.6</b>
夢しずく	12	6.3	6.4	6.6	6.6	8.9	8.9	8.9	8.9	9.0	10.7	10.7	10.7
さがびより	13.6	4.5	4.5	4.6	4.6	7.2	7.3	7.3	7.3	7.4	11.7	11.8	11.8
ヒノヒカリ	8.2	3.8	3.9	3.9	3.9	5.0	5.1	5.2	5.3	5.4	6.5	6.6	6.6
<b>長崎</b>	<b>10.3</b>	<b>7.3</b>	<b>7.3</b>	<b>7.4</b>	<b>7.4</b>	<b>7.4</b>	<b>7.4</b>	<b>8.2</b>	<b>8.4</b>	<b>8.4</b>	<b>8.6</b>	<b>10.5</b>	<b>10.5</b>
にこまる	4.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.7	3.7	3.8	3.8	4.3	4.3
ヒノヒカリ	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	2.0	2.0
コシヒカリ	1.2	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2
<b>熊本</b>	<b>34.9</b>	<b>1.7</b>	<b>2.9</b>	<b>4.5</b>	<b>5.7</b>	<b>7.2</b>	<b>9.6</b>	<b>12.4</b>	<b>15.5</b>	<b>17.5</b>	<b>19.9</b>	<b>22.2</b>	<b>24.9</b>
ヒノヒカリ	13.9	0.0	0.4	1.2	1.7	2.2	3.0	3.9	5.2	6.0	7.2	8.2	9.6
森のくまさん	5.5	-	0.1	0.4	0.6	0.8	1.1	1.6	2.2	2.7	3.2	3.8	4.3
コシヒカリ	6.3	1.4	1.8	2.1	2.3	2.6	3.0	3.3	3.7	3.9	4.1	4.4	4.5
<b>大分</b>	<b>14.9</b>	<b>4.8</b>	<b>5.6</b>	<b>7.6</b>	<b>8.7</b>	<b>10.2</b>	<b>12.9</b>	<b>13.4</b>	<b>13.8</b>	<b>13.9</b>	<b>14.9</b>	<b>14.9</b>	<b>14.9</b>
ヒノヒカリ	8.5	2.8	3.2	3.9	4.6	5.5	7.5	7.6	7.7	7.8	8.5	8.5	8.5
ひとめぼれ	2.1	0.7	0.8	1.6	1.7	1.8	1.9	1.9	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
つや姫	2.1	1.2	1.2	1.5	1.6	1.7	1.8	1.8	1.9	1.9	2.1	2.1	2.1
<b>宮崎</b>	<b>12.3</b>	<b>6.1</b>	<b>6.6</b>	<b>7.1</b>	<b>7.4</b>	<b>7.9</b>	<b>8.1</b>	<b>8.6</b>	<b>12.3</b>	<b>12.3</b>	<b>12.3</b>	<b>12.3</b>	<b>12.3</b>
コシヒカリ	5.8	5.7	5.7	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8
ヒノヒカリ	5.6	0.0	0.4	0.7	0.9	1.2	1.5	2.0	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
<b>鹿児島</b>	<b>14.2</b>	<b>5.4</b>	<b>7.0</b>	<b>6.2</b>	<b>8.6</b>	<b>9.9</b>	<b>11.9</b>	<b>12.3</b>	<b>12.5</b>	<b>12.7</b>	<b>13.0</b>	<b>13.5</b>	<b>14.2</b>
ヒノヒカリ	5	-	1.5	1.2	2.1	2.7	3.5	3.6	3.8	3.9	4.2	4.4	5.0
あきほなみ	3.1	-	0.1	0.1	0.6	1.3	2.3	2.5	2.5	2.7	2.8	2.9	3.1
コシヒカリ	3.3	3.1	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
<b>沖縄</b>	<b>1.3</b>	<b>1.1</b>	<b>1.1</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>
<b>全国</b>	<b>2,944</b>	<b>1,426</b>	<b>1,582</b>	<b>1,690</b>	<b>1,816</b>	<b>2,010</b>	<b>2,222</b>	<b>2,438</b>	<b>2,568</b>	<b>2,669</b>	<b>2,765</b>	<b>2,826</b>	<b>2,874</b>

(単位:千玄米トン)

	販売数量											
	3年 9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
<b>島根</b>	<b>1.1</b>	<b>2.5</b>	<b>4.8</b>	<b>6.8</b>	<b>8.6</b>	<b>10.6</b>	<b>13.3</b>	<b>15.8</b>	<b>18.1</b>	<b>22.9</b>	<b>25.2</b>	<b>27.6</b>
コシヒカリ	0.8	1.3	2.4	3.2	3.8	4.6	5.8	6.8	7.7	9.7	10.8	11.8
きぬむすめ	0.1	0.6	1.4	2.1	2.6	3.4	4.5	5.5	6.7	8.5	9.4	10.2
つや姫	0.1	0.4	0.6	0.9	1.3	1.6	2.0	2.4	2.6	3.5	3.8	4.1
<b>岡山</b>	<b>1.1</b>	<b>2.5</b>	<b>4.3</b>	<b>6.3</b>	<b>8.4</b>	<b>11.1</b>	<b>14.5</b>	<b>17.6</b>	<b>20.1</b>	<b>23.6</b>	<b>25.5</b>	<b>29.5</b>
アケボノ	-	0.0	0.2	0.3	0.7	1.0	1.6	2.0	2.4	3.2	3.5	4.4
コシヒカリ	0.8	1.4	1.9	2.4	3.0	3.4	4.1	4.7	5.1	5.6	6.0	6.5
きぬむすめ	-	0.2	0.4	0.6	1.0	1.4	1.8	2.4	2.8	3.4	3.8	4.5
<b>広島</b>	<b>0.9</b>	<b>3.0</b>	<b>4.5</b>	<b>6.7</b>	<b>8.6</b>	<b>10.4</b>	<b>13.9</b>	<b>15.6</b>	<b>17.6</b>	<b>19.8</b>	<b>21.4</b>	<b>23.6</b>
コシヒカリ	0.7	1.5	2.2	2.8	3.6	4.5	6.5	7.2	8.3	9.4	10.0	10.7
あきさかり	0.2	0.5	0.8	1.4	1.6	1.8	2.3	2.6	2.9	3.4	3.8	4.6
あきろまん	-	0.2	0.3	0.4	0.6	0.7	1.2	1.3	1.6	1.8	1.9	2.1
<b>山口</b>	<b>0.7</b>	<b>1.8</b>	<b>4.9</b>	<b>6.5</b>	<b>7.9</b>	<b>9.6</b>	<b>11.9</b>	<b>14.7</b>	<b>18.8</b>	<b>26.0</b>	<b>28.2</b>	<b>30.3</b>
コシヒカリ	0.5	1.1	1.5	2.2	2.6	3.2	3.8	4.6	5.6	7.1	7.7	8.3
ひとめぼれ	0.1	0.4	0.7	1.0	1.4	1.8	2.3	2.8	3.6	5.5	6.1	6.5
ヒノヒカリ	-	0.0	0.3	0.5	0.7	0.9	1.2	1.6	2.2	3.9	4.2	4.6
<b>徳島</b>	<b>1.0</b>	<b>1.9</b>	<b>2.3</b>	<b>2.0</b>	<b>2.3</b>	<b>2.8</b>	<b>3.3</b>	<b>3.6</b>	<b>4.0</b>	<b>4.6</b>	<b>5.0</b>	<b>5.2</b>
コシヒカリ	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.9	2.0	2.1
あきさかり	0.1	0.8	1.0	0.6	0.8	1.2	1.4	1.6	1.8	2.2	2.4	2.6
<b>香川</b>	<b>0.6</b>	<b>1.1</b>	<b>2.0</b>	<b>2.9</b>	<b>3.9</b>	<b>4.7</b>	<b>5.7</b>	<b>7.5</b>	<b>9.6</b>	<b>11.9</b>	<b>13.5</b>	<b>15.5</b>
コシヒカリ	0.6	0.8	1.0	1.4	1.6	1.9	2.3	2.7	3.4	4.1	4.8	5.3
ヒノヒカリ	-	0.2	0.5	0.8	1.0	1.2	1.5	2.0	2.4	3.1	3.4	4.0
おいでまい	-	0.1	0.4	0.6	0.9	1.1	1.4	1.7	2.1	2.5	2.7	3.0
<b>愛媛</b>	<b>0.5</b>	<b>1.4</b>	<b>2.2</b>	<b>3.0</b>	<b>3.6</b>	<b>4.3</b>	<b>4.6</b>	<b>5.7</b>	<b>6.5</b>	<b>7.0</b>	<b>7.7</b>	<b>8.0</b>
コシヒカリ	0.5	1.0	1.2	1.4	1.6	1.9	2.2	2.4	2.7	2.9	3.2	3.2
ヒノヒカリ	-	0.1	0.2	0.4	0.5	0.5	0.6	0.8	1.0	1.1	1.1	1.2
あきたこまち	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6	0.7	0.8	0.8
<b>高知</b>	<b>4.2</b>	<b>4.6</b>	<b>5.2</b>	<b>8.3</b>	<b>8.7</b>	<b>9.2</b>	<b>9.3</b>	<b>9.3</b>	<b>9.4</b>	<b>9.5</b>	<b>9.5</b>	<b>9.6</b>
コシヒカリ	3.7	3.7	3.8	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7
ヒノヒカリ	0.0	0.3	0.5	0.5	0.8	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3
<b>福岡</b>	<b>1.2</b>	<b>3.4</b>	<b>6.0</b>	<b>9.1</b>	<b>11.5</b>	<b>14.1</b>	<b>17.5</b>	<b>20.7</b>	<b>23.8</b>	<b>27.7</b>	<b>31.0</b>	<b>36.0</b>
夢つくし	1.1	2.1	2.9	3.8	4.5	5.4	6.6	7.6	8.7	9.8	10.6	12.6
ヒノヒカリ	-	0.3	0.8	1.5	2.2	2.8	3.5	4.2	5.0	6.2	7.7	9.0
元氣つくし	-	0.7	1.5	2.6	3.4	4.4	5.6	6.8	7.8	8.8	9.8	11.0
<b>佐賀</b>	<b>1.2</b>	<b>2.4</b>	<b>4.2</b>	<b>6.4</b>	<b>7.8</b>	<b>9.4</b>	<b>11.7</b>	<b>14.0</b>	<b>16.1</b>	<b>19.0</b>	<b>21.1</b>	<b>23.9</b>
夢しずく	0.2	0.9	1.6	2.3	2.8	3.3	4.2	4.9	5.6	6.6	7.4	8.4
さがびより	-	0.2	0.9	1.5	1.9	2.5	3.1	3.7	4.4	5.3	5.8	6.8
ヒノヒカリ	-	0.1	0.4	0.8	1.1	1.6	2.1	3.0	3.6	4.5	5.1	5.8
<b>長崎</b>	<b>0.3</b>	<b>0.6</b>	<b>1.1</b>	<b>1.6</b>	<b>2.0</b>	<b>2.5</b>	<b>2.9</b>	<b>3.6</b>	<b>4.1</b>	<b>4.9</b>	<b>5.6</b>	<b>6.4</b>
にこまる	-	0.0	0.2	0.4	0.5	0.7	0.9	1.1	1.4	1.8	2.1	2.5
ヒノヒカリ	-	0.1	0.1	0.3	0.4	0.5	0.5	0.7	0.8	1.0	1.0	1.2
コシヒカリ	0.3	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.0
<b>熊本</b>	<b>1.7</b>	<b>2.9</b>	<b>4.5</b>	<b>5.7</b>	<b>7.2</b>	<b>9.6</b>	<b>12.4</b>	<b>15.5</b>	<b>17.5</b>	<b>19.9</b>	<b>22.2</b>	<b>24.9</b>
ヒノヒカリ	0.0	0.4	1.2	1.7	2.2	3.0	3.9	5.2	6.0	7.2	8.2	9.6
森のくまさん	-	0.1	0.4	0.6	0.8	1.1	1.6	2.2	2.7	3.2	3.8	4.3
コシヒカリ	1.4	1.8	2.1	2.3	2.6	3.0	3.3	3.7	3.9	4.1	4.4	4.5
<b>大分</b>	<b>0.3</b>	<b>0.8</b>	<b>1.4</b>	<b>2.2</b>	<b>2.8</b>	<b>3.5</b>	<b>5.3</b>	<b>6.2</b>	<b>6.9</b>	<b>7.7</b>	<b>8.5</b>	<b>9.3</b>
ヒノヒカリ	-	0.2	0.5	0.7	1.1	1.5	2.9	3.4	3.8	4.2	4.5	5.0
ひとめぼれ	0.0	0.0	0.2	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.1	1.3	1.3	1.4
つや姫	0.1	0.3	0.4	0.6	0.7	0.9	1.0	1.1	1.2	1.4	1.5	1.7
<b>宮崎</b>	<b>6.1</b>	<b>6.6</b>	<b>7.1</b>	<b>7.4</b>	<b>7.7</b>	<b>8.0</b>	<b>8.5</b>	<b>9.1</b>	<b>9.6</b>	<b>10.1</b>	<b>10.3</b>	<b>10.6</b>
コシヒカリ	5.7	5.7	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8
ヒノヒカリ	-	0.4	0.7	0.9	1.2	1.5	2.0	2.6	3.0	3.5	3.7	4.0
<b>鹿児島</b>	<b>4.8</b>	<b>5.9</b>	<b>6.2</b>	<b>7.6</b>	<b>8.1</b>	<b>8.4</b>	<b>8.9</b>	<b>9.4</b>	<b>9.7</b>	<b>10.4</b>	<b>11.1</b>	<b>11.9</b>
ヒノヒカリ	-	0.9	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2	2.3	2.7	3.2	3.8
あきほなみ	-	0.1	0.1	0.3	0.5	0.6	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.1
コシヒカリ	3.0	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
<b>沖縄</b>	<b>1.0</b>	<b>1.0</b>	<b>1.1</b>	<b>1.2</b>	<b>1.2</b>	<b>1.2</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>
<b>全国</b>	<b>101</b>	<b>265</b>	<b>407</b>	<b>574</b>	<b>719</b>	<b>884</b>	<b>1,113</b>	<b>1,352</b>	<b>1,554</b>	<b>1,808</b>	<b>2,008</b>	<b>2,228</b>

### 3 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果（令和4年産）

令和4年産

（単位：トン）

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果				落札合計数量
		第1回 令和4年1月25日実施	第2回 令和4年2月17日実施	第3回 令和4年3月8日実施	第4回 令和4年3月29日実施	
北海道	2,162	2,162				2,162
青森	27,259	27,259				27,259
岩手	3,488	3,488				3,488
宮城	11,600	11,600				11,600
秋田	21,572	21,572				21,572
山形	21,291	21,291				21,291
福島	27,050	27,050				27,050
茨城	1,103	1,103				1,103
栃木	7,602	7,602				7,602
群馬	555	555				555
埼玉	463	463				463
千葉	3,985	3,985				3,985
東京						
神奈川						
新潟	25,149	25,149				25,149
富山	12,197	12,197				12,197
石川	7,849	7,849				7,849
福井	4,076	4,076				4,076
山梨						
長野	1,446	1,346	100			1,446
岐阜	435	100	335			435
静岡	20	0	20			20
愛知	846	846				846
三重	270	270				270
滋賀	1,342	1,161	181			1,342
京都						
大阪						
兵庫						
奈良						
和歌山						
鳥取	400	100	300			400
島根	130	130				130
岡山	977	977				977
広島	20	0	20			20
山口						
徳島	1,182	1,182				1,182
香川						
愛媛						
高知	10	10				10
福岡	264	0	0	71		71
佐賀	220	0	100	120		220
長崎	10	0	0			0
熊本	247	247				247
大分	94	94				94
宮崎						
鹿児島						
沖縄						
都道府県別枠計	185,314	183,864	1,056	191		185,111
指定なし	21,686	21,686			203	21,889
合計	207,000	205,550	1,056	191	203	207,000
うちCPTPP分						7,000

	買入予定数量 ①	合計落札数量 ②	落札比率 ②/①	落札残 ①-②
備蓄米入札 落札結果	207,000	207,000	100.0%	0

令和4年産国内産米穀の政府買入れは、農林水産省ホームページの次のURLからご覧いただけます。  
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>

#### 4 政府備蓄米の買入入札の結果（落札実績）（平成23年産～令和4年産）

（単位：トン）

買入対象米穀 の産地	平成23年産	平成24年産	平成25年産	平成26年産	平成27年産	平成28年産	平成29年産	平成30年産	令和元年産	令和2年産	令和3年産	令和4年産
北海道	7,000	5,768	14,058	14,080	14,080	11,757			2,162	2,162	2,162	2,162
青森		2,388	20,028	20,450	20,450	17,177	12,271	11,006	26,544	27,259	27,259	27,259
岩手	5,683	5,149	7,600	8,000	8,000	7,200	5,229	225	3,478	3,488	3,488	3,488
宮城		3,952	7,428	11,000	11,000	9,900	6,368	5,011	11,600	11,600	11,600	11,600
秋田	11,274	9,595	25,411	25,500	25,500	21,343	17,039	11,345	21,572	17,235	21,572	21,572
山形	3,900	7,690	12,500	13,530	13,530	12,707	11,753	11,140	21,291	20,764	21,291	21,291
福島		52	11,074	20,000	20,000	20,000	16,443	12,350	26,601	27,050	27,050	27,050
茨城		90	1,478	1,480	1,480	990	600	411	700	1,103	1,103	1,103
栃木		1,848	11,163	11,170	11,170	6,771	5,167	4,888	7,487	6,965	7,602	7,602
群馬						10	12	12	30	555	555	555
埼玉			600	640	640	432	296	191	220	463	463	463
千葉		99	2,650	2,830	1,641	1,100	748	587	1,580	3,985	3,985	3,985
東京都												
神奈川												
新潟		9,614	30,948	32,400	32,400	22,133	17,365	12,933	25,089	25,149	25,149	25,149
富山	6,200	7,920	12,831	12,840	12,840	9,822	7,947	7,001	12,197	12,197	12,197	12,197
石川		810	4,000	4,020	4,020	3,970	3,348	3,255	7,325	6,633	7,849	7,849
福井		1,300	632	640	640	1,985	2,187	2,106	4,050	3,855	4,076	4,076
山梨												
長野		93	758	770	770	655	585	228	1,426	1,089	1,446	1,446
岐阜			735	740	740	495	348	224	435	230	435	435
静岡			62	100	50	33	20		20	20	20	20
愛知			1,803	1,380	1,083	723	493	385	822	846	846	846
三重		699	807	810	810	542	422		248		270	270
滋賀			1,572	1,600	1,600	1,099	876	735	1,318	1,342	1,342	1,342
京都												
大阪												
兵庫			554	435	324	30						
奈良			30									
和歌山												
鳥取			1,320	1,320	1,320	883	535	345	400	400	400	400
島根			95	100	100	71	67	70	130	130	130	130
岡山		150	2,974	3,170	3,170	2,133	1,408	738	977	546	977	977
広島	1,017	603	1,002	1,010	300					20	20	20
山口	3,003	785	336	340	340							
徳島			1,443	1,520	830	555	337		1,116	360	1,182	1,182
香川	585		500	530								
愛媛	422	345	336	340	340	79	51					
高知			76	68	23	15	10	10	10	10	10	10
福岡	120	120	454	386	328	219	139	118	264	114	76	71
佐賀	188	190	830	830	806	539	327	211	220	220	220	220
長崎			80	20	45	30	18		10	10		
熊本			583	590	590	408	247		247	120	247	247
大分			240	240	240	220	169	90	94	94	94	94
宮崎												
鹿児島												
沖縄												
都道府県別枠計	39,392	59,260	178,991	194,879	191,200	156,026	112,825	85,615	179,663	176,014	185,116	185,111
指定なし	28,246	24,130	4,101	55,121	58,800	68,974	84,903	37,334	5,651	30,986	21,884	21,889
合計	67,638	83,390	183,092	250,000	250,000	225,000	197,728	122,949	185,314	207,000	207,000	207,000

# 5 支援事業等

## (1) 水田活用の直接支払交付金等

【令和5年度予算概算決定額 305,000 (305,000) 百万円】

### <対策のポイント>

食料自給率・自給力の向上に資する**麦、大豆、米粉用米等の戦略作物の本作化**とともに、地域の特色をいかした**魅力的な産地づくり、産地と実需者との連携に基づいた低コスト生産の取組、畑地化による高収益作物等の定着等**を支援します。

### <政策目標>

- 麦・大豆等の作付面積を拡大（麦30.7万ha、大豆17万ha、飼料用米9.7万ha [令和12年度まで]）
- 実需者との結びつきのもとで、需要に応じた生産を行う産地の育成・強化
- 飼料用米、米粉用米の生産を拡大（飼料用米：70万t、米粉用米：13万t [令和12年度まで]）

### <事業の内容>

#### 1. 戦略作物助成

水田を活用して、**麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米**を生産する農業者を支援します。

#### 2. 産地交付金

「水田収益力強化ビジョン」に基づく、地域の特色を活かした**魅力的な産地づくりに向けた取組**を支援します。

#### 3. 都道府県連携型助成

都道府県が**転換作物を生産する農業者を独自に支援**する場合に、農業者ごとの前年度からの転換拡大面積に応じて、都道府県の支援単価と同額（上限：0.5万円/10a）で**国が追加的に支援**します。

#### 4. コメ新市場開拓等促進事業 11,000百万円

産地と実需者との連携の下、**新市場開拓用米等の低コスト生産等の取組**を行う農業者を支援します。※8

#### 5. 畑地化促進助成 2,215百万円

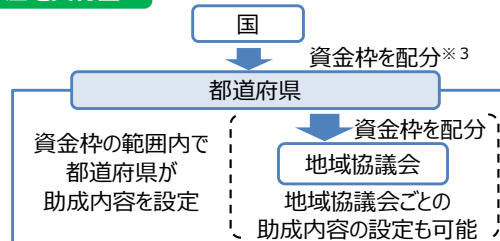
水田を畑地化し、**高収益作物やその他の畑作物の定着等**を図る取組等を支援します。

### <事業イメージ>

#### 戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円/10a※1
WCS用稲	8万円/10a
加工用米	2万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、5.5万円~10.5万円/10a※2

#### 産地交付金



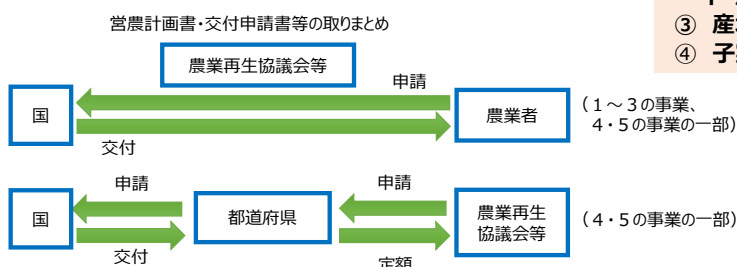
- 当年産の以下の取組に応じて資金枠を追加配分

取組内容	配分単価
そば・なたね、新市場開拓用米、地力増進作物の作付け（基幹作のみ）	2万円/10a
新市場開拓用米の複数年契約	1万円/10a

#### 畑地化促進助成（令和4年度補正予算と併せて実施）

- 畑地化支援（高収益作物 : 17.5万円/10a※4  
畑作物（高収益作物以外）※5 : 14.0万円/10a※6）
- 定着促進支援  
ア 高収益作物（2万円（3万円※7）/10a×5年間）（①とセット）  
イ 畑作物（高収益作物以外）※5（2万円/10a※6×5年間）
- 産地づくり体制構築等支援
- 子実用とうもろこし支援（1万円/10a）

### <事業の流れ>



#### <交付対象水田>

- ・ たん水設備（畦畔等）や用水路等を有しない農地は交付対象外
- ・ 現場の課題を検証しつつ、5年間で一度も水張り（水稲作付）が行われない農地は令和9年度以降は交付対象水田としない

- ※1：多年生牧草について、収穫のみを行う年は1万円/10a
- ※2：飼料用米の一般品種について、令和5年度については従来と同様。令和6年度から標準単価を段階的に引き下げ、令和8年度において標準単価6.5万円/10a（5.5~7.5万円/10a）とする。
- ※3：作付転換の実績や計画等に基づき配分
- ※4：令和5年度までの時限単価
- ※5：対象作物は、麦、大豆、飼料作物（牧草等）、子実用とうもろこし、そば等
- ※6：令和4年度補正予算における単価
- ※7：加工・業務用野菜等の場合
- ※8 予算の範囲内で、助成対象となる地域農業再生協議会を決定



# 令和3年度水田活用の直接支払交付金の支払実績

- ・ 支払額は3,280億円で、令和2年度と比べて320億円増加。
- ・ 支払対象者数は29万6千件で、令和2年度と比べて約7千件減少。
- ・ 支払面積は、戦略作物（基幹作）全体で41万haと、令和2年度と比べて5千ha減少。

## (1) 水田活用の直接支払交付金の支払額と支払対象者数

	支払額 (億円)	支払対象者数(件)			
		合計	個人	法人	集落営農
令和3年度	3,280	295,978	277,487	13,839	4,652
令和2年度	2,960	303,354	285,589	13,031	4,734
対前年度比較	320	▲7,376	▲8,102	808	▲82

ラウンドの関係で合計が合わない場合がある。

## (2) 水田活用の直接支払交付金における戦略作物の支払面積

基幹作物

(単位:ha)

	麦	大豆	飼料作物	新規需要米	WCS用米			加工用米	戦略作物 合計	(参考)		
					WCS用稲	米粉用米	飼料用米			そば	なたね	新市場 開拓用米
令和3年度	78,478	71,119	71,836	166,764	43,898	7,579	115,286	22,092	410,289	27,152	712	5,307
令和2年度	98,448	83,731	71,776	119,449	42,462	6,321	70,665	41,830	415,233	27,648	835	5,901
対前年度比較	▲19,970	▲12,612	60	47,315	1,436	1,258	44,621	▲19,737	▲4,944	▲496	▲123	▲594

ラウンドの関係で合計が合わない場合がある。

- ・ 米粉用米及び飼料用米の数量払い分の対象面積、数量、平均単収については、  
 (ア) 米粉用米では、7千6百ha（対前年度：1千3百ha増）、  
 4万1千トン（対前年度：8千トン増）、547kg/10a  
 (イ) 飼料用米では、11万3千ha（対前年度：4万4千ha増）、  
 65万1千トン（対前年度：28万トン増）、575kg/10a

## (3) 米粉用米、飼料用米(数量払い分)の支払面積、支払数量、平均単収※

(単位:ha、トン、kg/10a)

	米粉用米			飼料用米		
	面積	数量	単収	面積	数量	単収
令和3年度	7,567	41,426	547	113,105	650,779	575
令和2年度	6,312	33,299	528	68,789	370,779	539
対前年度比較	1,256	8,127	20	44,316	280,001	36

ラウンドの関係で合計が合わない場合がある。

注) 面積は、数量払いで交付した面積であるため、前記戦略作物の支払面積と異なっている。  
 数量は、農産物検査機関による数量確認を受けた数量、単収は上記「数量」/「面積」により算出。  
 数量払いの実績には、農産物検査を受けていない取組及び飼料用米を生もみで出荷又は利用する取組の面積及び数量は含まない。

## (2) コメ新市場開拓等促進事業

【令和5年度予算概算決定額 11,000（-）百万円】

### <対策のポイント>

需要拡大が期待される作物を生産する農業へと転換するため、**実需者との結び付きの下で、新市場開拓用米、加工用米、米粉用米（パン・めん用の専用品種）の低コスト生産等**に取り組む生産者を支援します。

### <事業目標>

- 実需者との結びつきの下で、需要に応じた生産を行う産地の育成・強化
- 米粉用米の生産を拡大（米粉用米13万ha〔令和12年度まで〕）

### <事業の内容>

**実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の取組支援 11,000百万円**

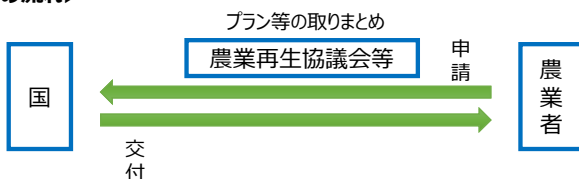
産地・実需協働プランに参画する生産者が、実需者ニーズに対応するための**低コスト生産等の技術導入**を行う場合に、**取組面積に応じて支援**します。

- ① **対象作物**：令和5年産の新市場開拓用米、加工用米、米粉用米（パン・めん用の専用品種）
- ② **交付単価**：新市場開拓用米 4万円/10a  
加工用米 3万円/10a  
米粉用米（パン・めん用の専用品種）9万円/10a
- ③ **採択基準**：地域協議会単位で、取組面積等の評価基準（ポイント）に基づき、**予算の範囲内で採択**

#### <留意事項>

- ※1 令和5年産の基幹作が対象です。
- ※2 農業者等が実需者と販売契約を締結する又はその計画を有している必要があります。
- ※3 本支援の対象となった面積は、令和5年度水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成（加工用米、米粉用米）及び都道府県に対する産地交付金の取組に応じた追加配分（新市場開拓用米）の対象面積から除きます。
- ※4 予算額のうち、33百万円を農業再生協議会等の事務費として計上しています。

#### <事業の流れ>



### <事業イメージ>

#### 【産地・実需協働プラン】

- ✓ 産地と実需者が連携し、新市場開拓用米、加工用米、米粉用米について、需要拡大のために必要な生産対策や需要の創出・拡大に係る取組内容、目標等を盛り込んだ計画

#### 実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の技術導入



【例】スマート農業機器の活用



直播栽培



土壌診断に基づく施肥

#### 米粉用米（パン・めん用の専用品種）の例

##### （パン用の専用品種）

- ・ミスホチカラ
- ・笑みたわわ 等

##### （めん用の専用品種）

- ・亜細亜（あじあ）のかおり
- ・ふくのこ 等



### (3) 畑作物産地形成促進事業

【令和4年度補正予算額 30,000百万円】

#### <対策のポイント>

水田における畑作物の導入・定着により、水田農業を需要拡大が期待される畑作物を生産する農業へと転換するため、**実需者との結び付きの下で、麦・大豆、高収益作物、子実用とうもろこし等の低コスト生産等に取り組む生産者を支援**します。

#### <事業目標>

- 実需者との結びつきの下で、需要に応じた生産を行う産地の育成・強化
- 麦・大豆等の作付面積を拡大（麦30.7万ha、大豆17万ha [令和12年度まで]）

#### <事業の内容>

#### 実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の取組支援 30,000百万円

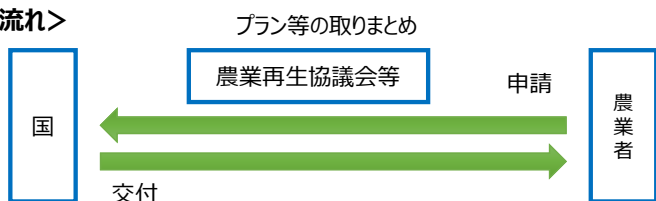
産地・実需協働プランに参画する生産者が、実需者ニーズに対応するための**低コスト生産等の技術導入**や畑作物の**導入・定着に向けた取組**を行う場合に、**取組面積に応じて支援**します。

- ① **対象作物**：令和5年産の麦、大豆、高収益作物（加工・業務用野菜等）、子実用とうもろこし
- ② **交付単価**：4万円/10a
- ③ **加算措置**：令和6年度に畑地化に取り組む場合、**0.5万円/10aを加算**（畑地化加算）
- ④ **採択基準**：地域協議会単位で、取組面積等の評価基準（ポイント）に基づき、**予算の範囲内で採択**

#### <留意事項>

- ※1 令和5年産の基幹作が対象です。
- ※2 農業者等が実需者と販売契約を締結する又はその計画を有していることが必要です。
- ※3 麦、大豆、高収益作物については、加工用等の用途指定があります。
- ※4 本支援の対象となった面積は、令和5年度水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成（麦、大豆、飼料作物（子実用とうもろこし））の対象面積から除きます。
- ※5 予算額のうち、90百万円を農業再生協議会等の事務費として計上しています。

#### <事業の流れ>



#### <事業イメージ>

#### 【産地・実需協働プラン】

- ✓産地と実需者が連携し、麦・大豆、高収益作物、子実用とうもろこしについて、需要拡大のために必要な生産対策や需要の創出・拡大に係る取組内容、目標等を盛り込んだ計画



#### 実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の技術導入



[例] スマート農業機器の活用



大豆300A技術



土壌診断に基づく施肥

#### 畑作物の導入・定着に向けた取組



[例] 排水対策（明渠、暗渠）



土層改良（客土）



傾斜均平

## (4) 畑地化促進事業

【令和4年度補正予算額 24,990百万円】

### <対策のポイント>

水田を畑地化して畑作物の本作化に取り組む農業者に対して、畑地利用への円滑な移行を促し、畑作物の需要に応じた生産を促進することを目的として、生産が安定するまでの一定期間、継続的に支援（伴走支援）を行うとともに、畑作物の産地づくりに取り組む地域を対象に、関係者間での調整や畑地化に伴う費用負担（土地改良区の地区除外決済金等）等に要する経費を支援します。

### <政策目標>

- 麦・大豆等の作付面積を拡大（麦30.7万ha、大豆17万ha〔令和12年度まで〕）

### <事業の内容>

#### 1 畑地化支援

水田を畑地化して、**ア. 高収益作物** 及び **イ. 畑作物（高収益作物以外）** の本作化に取り組む農業者を支援します。

#### 2 定着促進支援

##### ア 高収益作物【拡充】

水田を畑地化して、高収益作物の定着等に取り組む農業者を5年間、継続的に支援します。

##### イ 畑作物（高収益作物以外）【新規】

水田を畑地化して、高収益作物を除く畑作物（麦、大豆、飼料作物（牧草等）、子実用とうもろこし、そば等）の定着等に取り組む農業者を5年間、継続的に支援します。

#### 3 産地づくり体制構築等支援【新規】

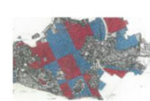
畑作物の産地づくりに取り組む地域を対象に、関係者間の調整や土地改良区の地区除外決済金等を支援します。

### <事業イメージ>

#### 畑地化支援・定着促進支援

対象作物	1 畑地化支援（※1, 2）	2 定着促進支援（※3）
<b>ア. 高収益作物</b> （野菜、果樹、花き等）	17.5万円/10a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2.0(3.0※4)万円/10a×5年間</li> <li>または</li> <li>・ 10.0(15.0※4)万円/10a（一括）</li> </ul>
<b>イ. 畑作物</b> （麦、大豆、飼料作物（牧草等）、子実用とうもろこし、そば等）	14.0万円/10a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2.0万円/10a×5年間</li> <li>または</li> <li>・ 10.0万円/10a（一括）</li> </ul>

- ※1 畑地化の取組は、交付対象水田から除外する取組を指す（地目の変更を求めるものではない）
- ※2 令和5年度における取組が対象
- ※3 令和4年度または5年度において、畑地化した面積全体が対象
- ※4 加工・業務用野菜等の場合



#### 産地づくり体制構築等支援

##### ① 産地づくりに向けた体制構築支援【新規】

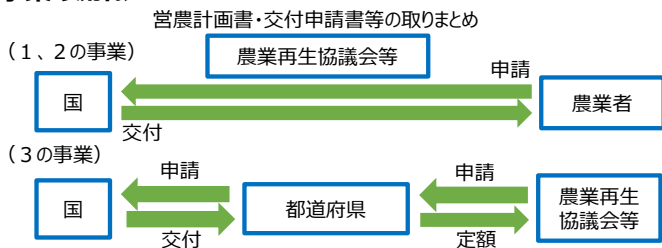
畑作物の産地づくりに取り組む地域を対象に、団地化やブロックローテーションの体制構築等のための調整（現地確認や打合せなど※5）に要する経費を支援（定額（1協議会当たり上限300万円））

- ※5 畑地化（交付対象水田からの除外）に際しては、**借地の場合には、賃借人（耕作者）が土地所有者の理解を得ることが必要**。地域再生協議会において、土地所有者を含めた地域の関係者に対する理解の醸成等の取組を進めていくことが重要。

##### ② 土地改良区決済金等支援【新規】

令和5年度に畑地化に取り組むことを約束した農業者に対して、畑地化に伴い土地改良区に支払う必要が生じた場合に、土地改良区の地区除外決済金等を支援（定額（ただし上限25万円/10a））

### <事業の流れ>



留意事項：農業者単位等で、取組面積等の評価基準（ポイント）に基づき、予算の範囲内で採択。

# (5) 小麦・大豆の国産化の推進

【令和5年度予算概算決定額 90(100)百万円】  
 (令和4年度補正予算額 14,361百万円)

## <対策のポイント>

産地と実需が連携して行う**小麦・大豆の国産化を推進**するため、ブロックローテーションや営農技術・機械の導入等による**生産性向上**や**増産**を支援するとともに、国産小麦・大豆の安定供給に向けた**ストックセンターの整備**や**新たな流通モデルづくり**、更なる利用拡大に向けた**新商品開発**等を支援します。

## <事業目標> [平成30年度→令和12年度まで]

- 小麦生産量の増加 (76万t→108万t)
- 大麦・はだか麦生産量の増加 (17万t→23万t)
- 大豆生産量の増加 (21万t→34万t)

### <事業の内容>

#### 1. 国産小麦・大豆供給力強化総合対策

##### ① 生産対策 (小麦・大豆生産技術向上事業)

小麦・大豆の増産を目指す産地に対し、水田・畑地を問わず、**作付けの団地化、ブロックローテーション、営農技術の導入**等を支援します。

##### ② 流通対策

###### ア 麦類供給円滑化事業

国産小麦を**一定期間保管**することで安定供給体制を構築する取組を支援します。

###### イ 新たな小麦・大豆流通モデルづくり事業

小麦・大豆の流通構造の転換に向けた**新たな流通モデルづくり**を支援します。

##### ③ 消費対策 (小麦・大豆利用拡大事業)

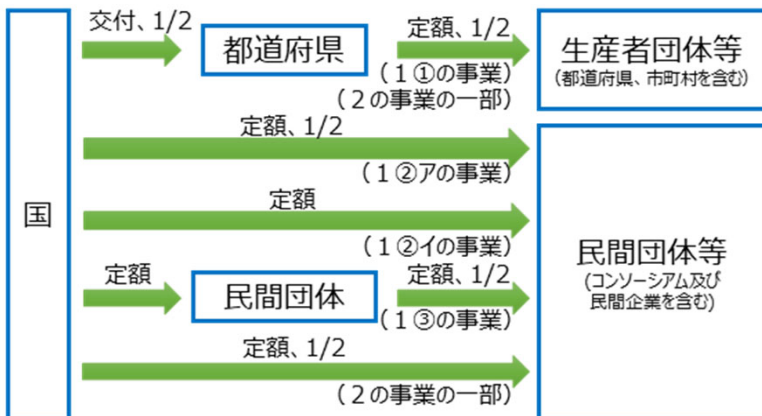
国産小麦・大豆の利用拡大に取り組む食品製造事業者等に対し、**新商品開発**や**PR、マッチング**等を支援します。

#### 2. 産地生産基盤パワーアップ事業のうち

##### 国産シェア拡大対策 (小麦・大豆)

産地と実需が連携して国産小麦・大豆の取扱数量を増加させる取組を推進するため、増産に資する**農業機械**や**乾燥調製施設の導入**、不作時にも安定供給するための**ストックセンターの整備**、国産小麦・大豆の利用拡大に向けた**食品加工施設の整備**等を支援します。

### <事業の流れ>



### <事業イメージ>

#### 生産対策



営農技術の導入  
(定額)

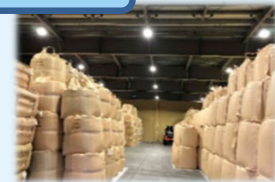


農業機械の導入  
(1/2以内)



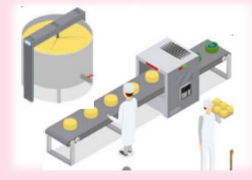
乾燥調製施設の整備  
(1/2以内)

#### 流通対策



- ・ スtockセンターの整備 (1/2以内)
- ・ 一定期間の保管 (定額、1/2以内)

#### 消費対策



- ・ 新商品の開発 (定額、1/2以内)
- ・ 加工設備・施設の導入 (1/2以内)

小麦・大豆の国産化を一層推進

※本事業は申請内容を踏まえて審査し、予算の範囲内で補助対象者が決定される補助事業です。

## (6) 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

【令和5年度予算概算決定額 198,433（205,806）百万円  
（所要額）】

諸外国との生産条件の格差により不利がある国産農産物（麦、大豆等）について、引き続き生産コストと販売額の差に相当する額を直接交付。

### (1) 支援内容（数量払）（注：令和2～4年産の交付単価）

#### ① 麦類

品質区分 (等級/ランク)	1等又は1等相当				2等又は2等相当			
	A	B	C	D	A	B	C	D
小麦 (パン・中華麺用品種：60kg当たり)	8,810円	8,310円	8,160円	8,100円	7,650円	7,150円	7,000円	6,940円
小麦 (上記品種以外：60kg当たり)	6,510円	6,010円	5,860円	5,800円	5,350円	4,850円	4,700円	4,640円
二条大麦 (50kg当たり)	6,840円	6,420円	6,300円	6,250円	5,980円	5,560円	5,430円	5,380円
六条大麦 (50kg当たり)	5,970円	5,550円	5,420円	5,370円	4,940円	4,520円	4,400円	4,350円
はだか麦 (60kg当たり)	9,980円	9,480円	9,330円	9,240円	8,410円	7,910円	7,760円	7,680円

等級：被害粒の割合や粒揃いの違いで区分。A～Dランク：たんばく質の含有率等の違いで区分

#### ② 大豆

品質区分（等級）	1等又は 1等相当	2等又は 2等相当	3等又は 3等相当	品質区分（等級）	合格又は 合格相当
普通大豆 (60kg当たり)	10,830円	10,140円	9,460円	特定加工用大豆 (60kg当たり)	8,780円

等級：被害粒の割合や粒揃いの違いで区分

特定加工用：豆腐・油揚げ、しょうゆ、きなこ等製品の段階において、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆

#### ③ そば

品質区分（等級）	1等又は 1等相当	2等又は 2等相当
45kg当たり	13,800円	11,690円

等級：容積重の違いや被害粒の割合で区分

#### ④ なたね

品質区分（品種）	キザキノタネ きらきら銀河 キラボシ ナナシキブ	その他の 品種
60kg当たり	8,020円	7,280円

#### ⑤ てん菜

品質区分 (糖度)	← (+0.1度ごと)	16.6度	→ (▲0.1度ごと)
1t当たり	+62円	6,840円	▲62円

糖度：てん菜の重量に対するしよ糖の含有量

#### ⑥ でん粉原料用ばれいしよ

品質区分 (でん粉含有率)	← (+0.1%ごと)	19.7%	→ (▲0.1%ごと)
1t当たり	+64円	13,560円	▲64円

でん粉含有率：ばれいしよの重量に対するでん粉の含有量

※ 令和3年産から農産物検査によらない品質区分の確認を実施した場合も、交付対象とすることができます。

# 令和5年から7年産の 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）の 交付単価が変わります。

畑作物の直接支払交付金における令和5～7年産に適用する数量払の交付単価をお知らせします。  
今回の改定では、近年の生産動向等を踏まえた統計データ等に基づいた算定に加え、消費税の課税事業者に対する交付単価として交付金に含まれていた消費税相当分を除いた生産費・販売価格を用いた算定により課税事業者向け単価を新たに設定しました。なお、改定後の交付単価は下表のとおりです。

## ① 麦類

品質区分（等級）		1等又は1等相当				2等又は2等相当			
ランク		A	B	C	D	A	B	C	D
小麦 パン・中華麺用品種 (円/60kg)	課税事業者向け単価	7,860	7,360	7,210	7,150	6,700	6,200	6,050	5,990
	免税事業者向け単価	8,270	7,770	7,620	7,560	7,110	6,610	6,460	6,400
小麦 上記以外 (円/60kg)	課税事業者向け単価	5,560	5,060	4,910	4,850	4,400	3,900	3,750	3,690
	免税事業者向け単価	5,970	5,470	5,320	5,260	4,810	4,310	4,160	4,100
二条大麦 (円/50kg)	課税事業者向け単価	5,870	5,450	5,330	5,280	5,010	4,590	4,460	4,410
	免税事業者向け単価	6,220	5,800	5,680	5,630	5,360	4,940	4,810	4,760
六条大麦 (円/50kg)	課税事業者向け単価	5,210	4,790	4,660	4,610	4,180	3,760	3,640	3,590
	免税事業者向け単価	5,510	5,090	4,960	4,910	4,480	4,060	3,940	3,890
はだか麦 (円/60kg)	課税事業者向け単価	9,220	8,720	8,570	8,480	7,650	7,150	7,000	6,920
	免税事業者向け単価	9,750	9,250	9,100	9,010	8,180	7,680	7,530	7,450

等級：被害粒の割合や粒揃いの違いで区分

A～Dランク：たんばく質や白度（大麦・はだか麦）の含有率等の違いで区分

## ② 大豆

品質区分（等級）		1等又は1等相当	2等又は2等相当	3等又は3等相当	品質区分（等級）		合格又は合格相当
普通大豆 (円/60kg)	課税事業者向け単価	10,360	9,670	8,990	特定加工用大豆 (円/60kg)	課税事業者向け単価	8,310
	免税事業者向け単価	10,770	10,080	9,400		免税事業者向け単価	8,720

等級：被害粒の割合や粒揃いの違いで区分

特定加工用：豆腐・油揚げ、しょうゆ、きなこ等製品の段階において、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆

## ③ そば

品質区分（等級）		1等又は1等相当	2等又は2等相当
そば (円/45kg)	課税事業者向け単価	17,180	15,070
	免税事業者向け単価	18,010	15,900

等級：容積重の違いや被害粒の割合で区分

## ④ なたね

品質区分（品種）		キザキノナタネ キラリボン ナナシキブ きらきら銀河 ペノカのしずく	その他の品種
なたね (円/60kg)	課税事業者向け単価	7,720	6,980
	免税事業者向け単価	8,140	7,400

## ⑤ てん菜

品質区分（糖度）		←(+0.1度ごと)	16.6度	→(▲0.1度ごと)
てん菜 (円/t)	課税事業者向け単価	+62円	5,070	▲62円
	免税事業者向け単価	+62円	5,290	▲62円

糖度：てん菜の重量に対するしょ糖の含有量

## ⑥ でん粉原料用ばれいしょ

品質区分（でん粉含有率）		←(+0.1%ごと)	19.6%	→(▲0.1%ごと)
でん粉原料用ばれいしょ (円/t)	課税事業者向け単価	+64円	14,280	▲64円
	免税事業者向け単価	+64円	15,180	▲64円

でん粉含有率：ばれいしょの重量に対するでん粉の含有量

## (2) 支援内容（面積払（営農継続支払））

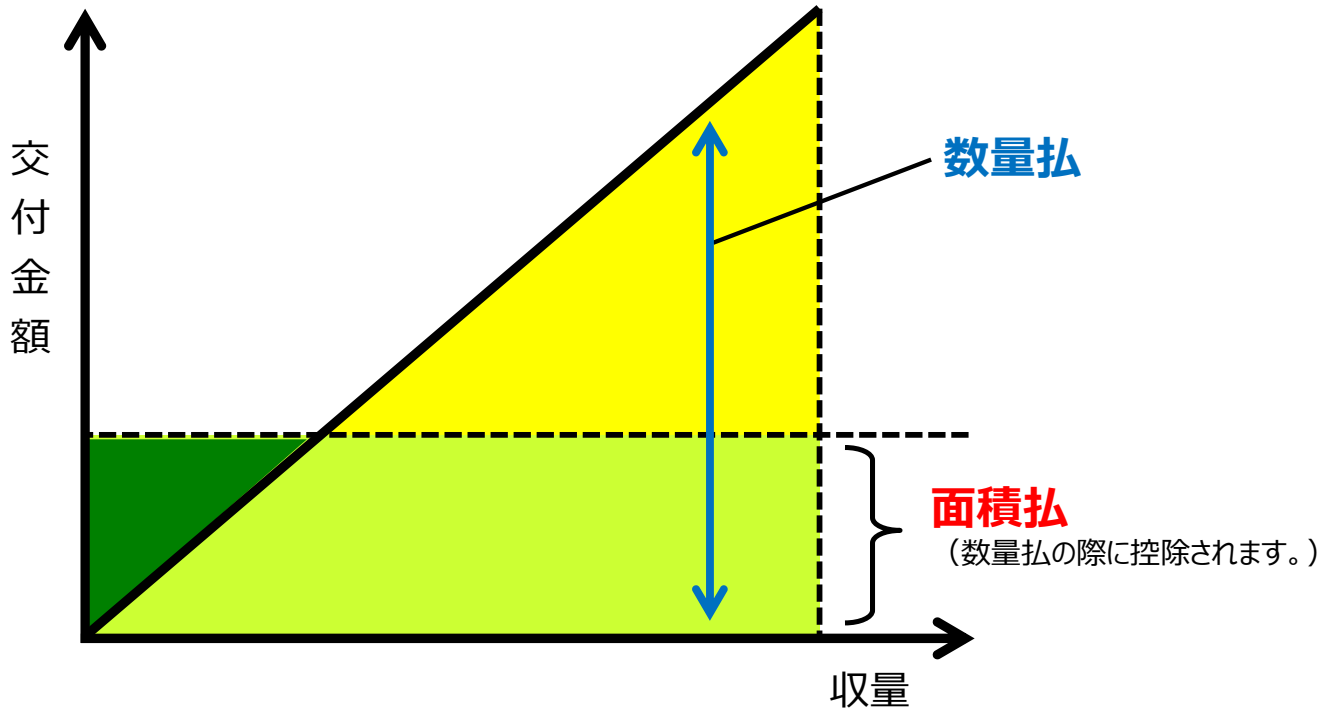
### ① 交付対象面積

当年産の作付面積に応じて交付

### ② 交付単価

10 a 当たり2万円  
※「そば」は、10 a 当たり1万3千円

### ③ 数量払と面積払との関係



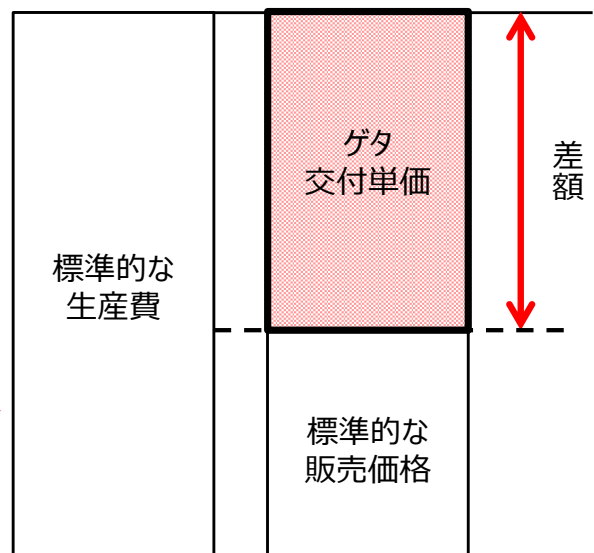
### 交付対象者

認定農業者、集落営農、  
認定新規就農者  
(いずれも規模要件はありません。)

### 対象作物

麦、大豆、そば、なたね  
※麦芽の原料として使用される麦（ビール用等）、  
黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象外  
てん菜、でん粉原料用ばれいしょ  
※北海道産のみ

### 交付単価のイメージ





# (7) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）

【令和5年度予算概算決定額 52,765（68,345）百万円（所要額）】

米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）は、農家抛出を伴う経営に着目したセーフティネットであり、米及び畑作物の農業収入全体の減少による影響を緩和するための保険的制度です。農業者の米、麦、大豆等の当年産の販売収入の合計（当年産収入額）が、標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補てんします。

## (1) 交付対象者

認定農業者、集落営農、認定新規就農者  
(いずれも規模要件はありません)

※ 集落営農の要件は、2要件（組織の規約の作成、対象作物の共同販売経理の実施）に緩和し、「農業経営の法人化」及び「地域における農地利用の集積」については、市町村が確実に行われると判断するものとします。

## (2) 対象農産物

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ

### 【10a当たり標準的収入額とは】

通常年に想定される収入額として、前年産以前5か年の収入額のうち、最高年と最低年を除いた3か年の平均収入額で、品目ごと、地域ごとに計算しています。各年産の収入額は、米であれば、地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、地域の実単収を乗じて算出します。

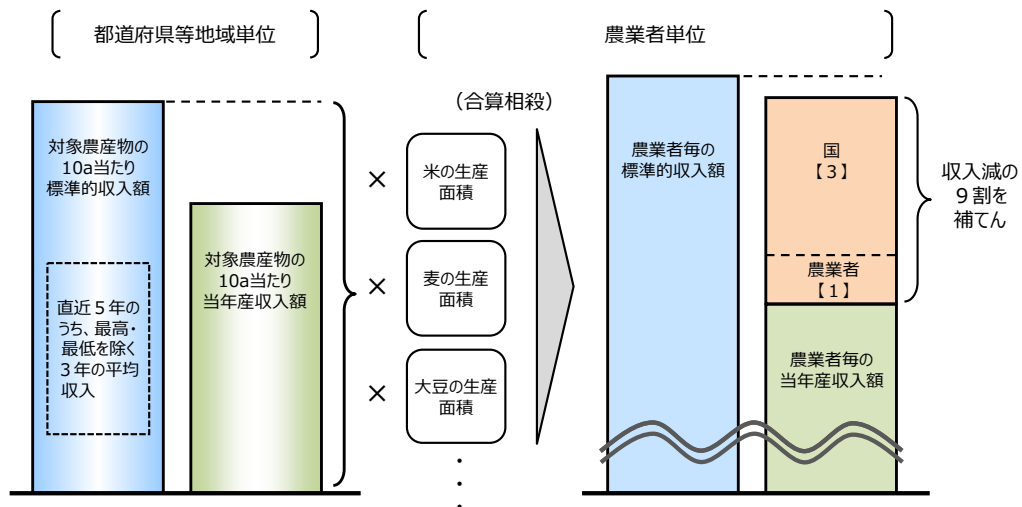
### 【10a当たり当年産収入額とは】

当年産の収入額として、品目ごと、地域ごとに計算しています。当年産の収入額は、米であれば、当年産の地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、当年産の地域の実単収を乗じて算出します。

## (3) ナラシ対策の仕組み

$$\text{補てん額} = (\text{標準的収入額} - \text{当年産収入額}) \times 0.9$$

- 補てんの財源は、農業者と国が1対3の割合で負担します。
- このため、補てんを受けるには、農業者からの積立金の抛出が必要となります。
- 補てん後の積立金の残額は、翌年産へ繰り越されるため、掛け捨てとはなりません。



## (4) 収入保険との関係

- 農業者は、収入保険かナラシ対策のどちらかを選択して加入することができます。

# (参考) ナラシ対策の各年産の加入状況等

	加入申請件数	うち、米の	加入申請面積 (米)	主食用米の カバー率(試算)
		加入申請件数		
	(万件)	(万件)	(万ha)	(%)
H24年産	7.1	6.0	43.1	43.5
H25年産	6.8	5.7	42.8	42.2
H26年産	7.1	6.0	45.0	43.4
H27年産	11.2	10.1	55.0	56.2
H28年産	11.0	9.8	55.3	56.9
H29年産	10.6	9.5	55.7	58.5
H30年産	10.1	9.1	57.1	61.2
R元年産	8.8	7.8 (+収入保険(1.5): 9.3)	49.9 (+収入保険(10.7): 60.6)	51.4 (+収入保険(10.2): 61.6)
R2年産	7.8	6.8 (+収入保険(2.3): 9.1)	46.4 (+収入保険(17.9): 64.3)	47.7 (+収入保険(17.2): 64.8)
R3年産	6.8	5.9 (+収入保険(3.7): 9.6)	37.9 (+収入保険: -)	—

※ 加入申請件数・面積は、積立申し出た者の数値。  
 ※ R元年産以降の下段カッコ内は、ナラシと収入保険の合計値(R3年産の米の収入保険加入者件数は11月末時点の数値)。  
 ※ ナラシのカバー率は、ナラシ加入数量(ナラシの米の加入申請面積に単収を乗じて算出)を米の農産物検査数量(水陸稲)で除して試算。  
 収入保険のカバー率は、収入保険加入数量(加入面積に単収を乗じて算出)を米の農産物検査数量(水陸稲及び飼料用米)で除して試算。  
 (R3年産のカバー率は、農産物検査数量等が未確定のため現時点では試算していない。)

## (参考) ナラシ対策：令和3年産米の当年産収入額及び補てん額（試算）

### 【R2年産：全国】

米価<sup>※1</sup>：14,529円/60kg  
 作況：99

**R2当年産収入額<sup>※3</sup> + ナラシ補てん額（試算）**  
**123,811円/10a**

R2標準的収入額 124,174円/10a

3,265円/10a

当年産収入額  
 120,546円/10a

### 【R3年産：全国】

米価<sup>※2</sup>：12,903円/60kg（※出回り～R4年3月まで）  
 作況：101

**R3当年産収入額<sup>※4</sup> + ナラシ補てん額<sup>※5</sup>**  
**122,804円/10a**

R3標準的収入額 124,680円/10a

ナラシ補てん額  
 16,882円/10a

当年産収入額<sup>※4</sup>  
 105,922円/10a

差額の9割を  
 上限に補てん<sup>※5</sup>

※1 R2年産米価は、出回りから翌年10月までの全国の全銘柄平均価格(包装代、消費税含む)。  
 ※2 R3年産米価は、出回りから翌年3月までの全国の全銘柄平均価格(包装代、消費税含む)。  
 ※3 R2年産収入額は、R2年産水稲の10a当たり収量に、R2年産米価(R3年3月までの全銘柄平均価格、包装代、消費税含まず)を乗じて算出。  
 ※4 R3年産収入額は、R2年産水稲の10a当たり収量に、R3年産米価(R4年3月までの全銘柄平均価格、包装代、消費税含まず)を乗じて算出。  
 ※5 実際の補てん額は、地域ごとに定められた標準的収入額等に基づき、麦や大豆等の他のナラシ対象作物ごとの収入差額を合算相殺して算出。

## (参考) 令和3年産ナラシ対策の支払実績 (令和4年8月31日現在)

全 国 都 道 府 県		加入件数 (件)	支払件数 (件)	補てん総額 (億円)	
全 国		66,883	52,699	397.34	
北 海 道		13,930	4,231	31.54	
東	青 森 県	2,926	2,812	25.01	
	岩 手 県	1,593	1,513	17.70	
北	宮 城 県	2,385	2,160	20.78	
	秋 田 県	5,584	5,347	53.51	
	山 形 県	5,148	5,041	32.85	
関	福 島 県	2,705	2,631	21.40	
	茨 城 県	2,051	1,945	11.21	
	栃 木 県	3,348	3,154	21.92	
	群 馬 県	615	535	4.08	
	埼 玉 県	744	673	3.08	
	千 葉 県	868	839	7.63	
	東 京 都	1	1	0.00	
	神 奈 川 県	80	80	0.15	
	東	山 梨 県	66	51	0.03
	長 野 県	944	922	9.68	
北	静 岡 県	214	201	1.75	
	新 潟 県	8,623	8,413	49.87	
	富 山 県	1,105	1,074	20.55	
	石 川 県	1,213	1,186	14.83	
東	福 井 県	436	418	7.10	
	岐 阜 県	379	341	2.68	
	愛 知 県	411	353	4.68	
近	海 三 重 県	458	359	3.01	
	滋 賀 県	1,243	1,068	6.06	
	京 都 府	147	134	0.81	
	大 阪 府	16	14	0.02	
	兵 庫 県	708	621	2.60	
	畿 奈 良 県	67	58	0.16	
	和 歌 山 県	22	21	0.03	
中	鳥 取 県	150	137	1.67	
	島 根 県	295	290	2.79	
	岡 山 県	394	376	2.29	
	国 広 島 県	201	192	1.66	
	山 口 県	251	215	0.80	
	四 徳 島 県	79	76	0.41	
	香 川 県	223	156	0.23	
	国 愛 媛 県	313	233	0.05	
	高 知 県	81	64	0.14	
	九	福 岡 県	1,381	770	2.33
佐 賀 県		1,296	356	0.34	
長 崎 県		348	296	0.41	
熊 本 県		1,965	1,743	6.76	
大 分 県		603	446	0.93	
州 宮 崎 県		809	731	0.38	
沖	鹿 児 島 県	427	387	1.33	
	縄 島 県	37	35	0.10	

(注1) 加入件数は、令和3年7月31日時点の積立金納付者の件数である。

(注2) 支払件数及び補てん総額は、令和4年8月31日時点の数値である。

(注3) ラウンドの関係で合計数値は一致しない場合がある。

## (8) 収入保険

収入保険は、自然災害や価格低下だけでなく  
農業者の経営努力では避けられない収入減少が  
補償の対象です！



### 加入できる方

**青色申告を行っている農業者(個人・法人)です。**

- ※ 保険期間開始前に加入申請を行います。
- ※ 加入申請時に、青色申告実績(簡易な方式を含む)が1年分あれば加入できます。
- ※ 収入保険と、農業共済、ナラシ対策などの類似制度は、どちらかを選択して加入します。

- ◎ **現在、当分の間の特例として、野菜価格安定制度の利用者が初めて収入保険に加入する場合、収入保険と野菜価格安定制度を同時利用(2年間)することができるようにしています。**  
**(令和3年から同時利用されている方は最初の3年間、同時利用が可能)**

収入保険に加入している農業者は、  
令和4年11月末で、78,798経営体です。  
そのうち米を生産している者は、49,851経営体です。



### 保険期間

税の収入算定期間と同じです。

個人：1月～12月 法人：事業年度の1年間

### 補償内容

**保険期間の収入(農産物の販売収入)が、基準収入の9割を下回ったときに、下回った額の9割を上限に補てんします。**

- ※ 基準収入は、過去5年間の平均収入(5中5)を基本に、保険期間の営農計画も考慮して設定(規模拡大など上方補正)
- ※ 毎年の農産物(自ら生産したもの)の販売収入は、青色申告決算書等を用いて整理します。
- ※ 農産物の販売収入には、精米、仕上茶などの簡易な加工品の販売収入も含まれます。
- ※ 肉用牛、肉用子牛、肉豚、鶏卵は対象外です。

### 収入保険 加入者の声

**新潟県南魚沼市 加藤 捷一郎さん**  
**(経営規模：水稲約2.6ヘクタールなど)**

水稲共済の一筆方式が廃止になることもあり、収量の減収だけでなく、農業収入を補償できないかと考え、令和2年から収入保険に加入しました。

青色申告は難しいイメージでしたが、**簡易方式を選択したので白色申告とそれほど変わらない手間で移行でき、さほど面倒には感じませんでした。**経理ソフトで自分で仕訳をしているため、資金の流れをより詳細に把握できるようになりました。

**近年の米価下落に加え、令和3年産は収量減少により収入が減少しましたが、収入保険に加入していて助かりました。**

(NOSAI新潟広報誌(NOSAIにいがた)2022年12月号より要約)



## 収入保険の補てん方式

**保険方式（掛捨て）と積立方式（掛捨てではない）の組み合わせができます。**

**基本のタイプ**では、

例えば、**基準収入1,000万円**の場合、

保険方式の**保険料8.5万円**、積立方式の**積立金22.5万円**、

**付加保険料2.2万円**で、**最大810万円の補てん**が受けられます。

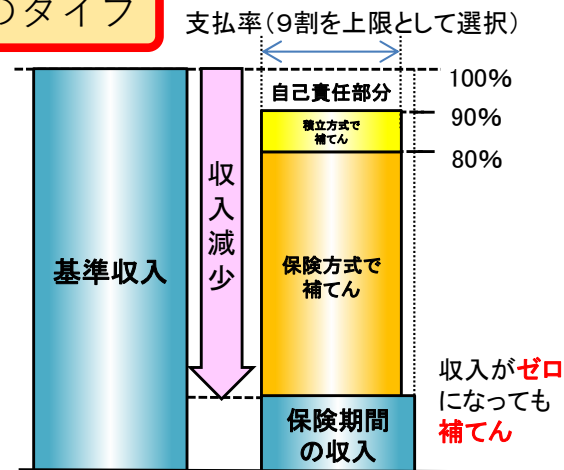
保険期間の**収入がゼロ**になったときは、

**810万円（積立金90万円、保険金720万円）の補てん**

が受けられます。

- ※ 保険料には50%、積立金には75%、付加保険料には50%の国庫補助があります。積立金は補てんに使われなければ、翌年に持ち越します。
- ※ 保険料、積立金は分割払（最大9回）や制度資金の活用ができます。
- ※ 保険料は、令和5年1月からの保険料率を適用した額。

### 基本のタイプ



(注) 5年以上の青色申告実績がある方の場合

## 保険料の安いタイプもあります！

**保険方式の補償の下限を選択することで、保険料を安くすることができます。**

※ **補償の下限は、基準収入の70%、60%、50%から選択**できます。

**基準収入の70%を補償の下限**とすると、

例えば、**基準収入が1,000万円**の場合、

**保険料4.7万円（基本のタイプより約4割安い）**、

**積立金22.5万円、付加保険料1.9万円**で、

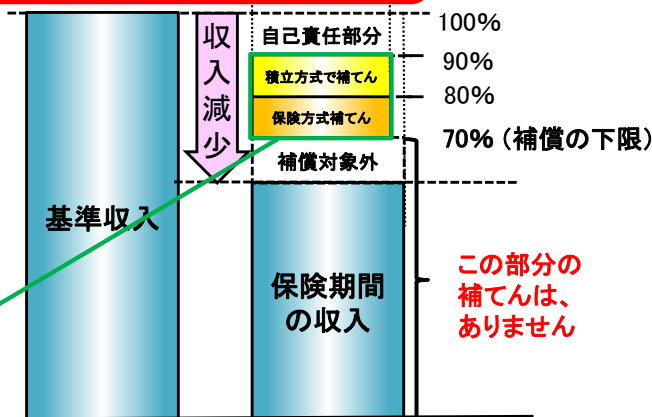
保険期間の**収入が700万円**になったときは、**180万円**

**（積立金90万円、保険金90万円）の補てん**が受けられます。

ただし、**700万円を下回った分の補てんはありません。**

※ 保険料は、令和5年1月からの保険料率を適用した額。

### 基準収入の70%を補償の下限とした場合の補てん方式



(注) 5年以上の青色申告実績がある方の場合

基準収入の70%までの収入減少を補てん

## 付加保険料（事務費）を安くする事ができます！

インターネット申請や自動継続特約をする方は、付加保険料(事務費)が割引となります。

- ・インターネット申請と自動継続特約を両方利用する場合：新規加入者4,500円引き、継続加入者3,200円引き（インターネット申請のみ利用する場合：新規加入者4,500円引き、継続加入者2,200円引き/自動継続特約のみ利用する場合：新規・継続加入者ともに1,000円引き）

## 無利子のつなぎ融資が受けられます！

収入保険の補てん金の支払は、保険期間の終了後になりますが、**保険期間中**であっても、自然災害や価格低下等により、**補てん金の受け取りが見込まれる場合**、NOSAI全国連から、**無利子のつなぎ融資**を受けることができます。

収入保険に関心のある方は、

**全国農業共済組合連合会**又は、**相談窓口（農業共済組合）**までお問い合わせください。

### 【収入保険に関する地域の相談窓口一覧】

<http://nosai-zenkokuren.or.jp/consultation.html>（全国農業共済組合連合会ホームページ）

※ 収入保険に関する詳しい情報は、全国農業共済組合連合会（NOSAI全国連）のホームページでご覧になれます。

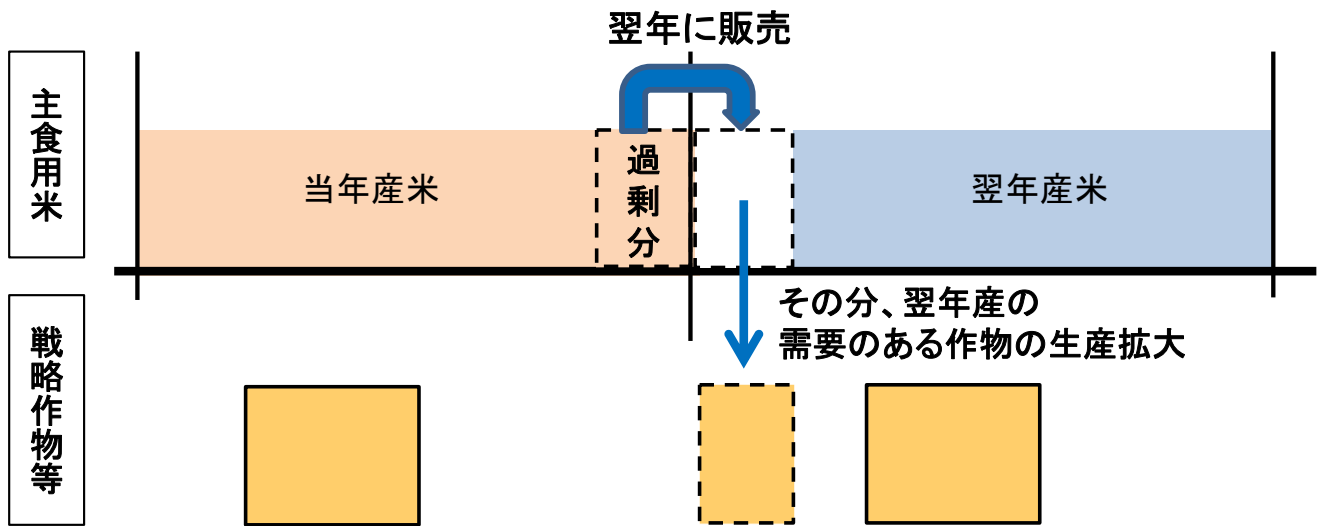
収入保険 NOSAI

検索

# (9) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業

## ① 主食用米の需給安定の考え方

- 「需要に応じた生産を行ってもなお、気象の影響等により、必要な場合」に主食用米を長期計画的に販売する取組や、海外用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施するための支援措置として、「米穀周年供給・需要拡大支援事業」を実施。（米穀周年供給・需要拡大支援事業：令和5年度予算概算決定額50億円（令和4年度予算額：50億円））
- 必要がある場合に、この支援措置を活用して、過剰分を翌年に回し、その分、水田活用の直接支払交付金等を活用して、翌年産の需要のある作物の生産を拡大して、主食用米の供給を絞るといった取組を定着させ、主食用米の需給の安定を図っていくことが重要。（水田活用の直接支払交付金等：令和5年度予算概算決定額 3,050億円（令和4年度予算額：3,050億円））



## ② 米穀周年供給・需要拡大支援事業のスキーム（令和5年度予算概算決定ベース）

### <対策のポイント>

生産者、集荷業者・団体の自主的な取組により需要に応じた生産・販売が行われる環境を整備し、産地の判断により、主食用米を長期計画的に販売する取組や海外用など他用途への販売を行う取組等を実施する体制を構築するため、民間主導のコメの周年供給・需要拡大等に対する取組を支援。

### <事業目標>

生産者、集荷業者・団体による自主的な経営判断や販売戦略に基づく、需要に応じた米の生産・販売の実現。

#### <事業の内容>

#### <事業イメージ>

#### 全国事業

##### 1. 業務用米、新市場開拓用米等の安定取引拡大支援

産地と中食・外食事業者等との安定取引を拡大するため、民間団体等が行う業務用米の生産・流通の拡大に向けた展示商談会、新たな需要開拓に向けた販売促進、海外業務用需要などの新たな市場開拓に必要な取組等を支援します。

##### 1. 業務用米、新市場開拓用米等の安定取引拡大支援

（セミナー）



（展示商談会）



（個別商談会）



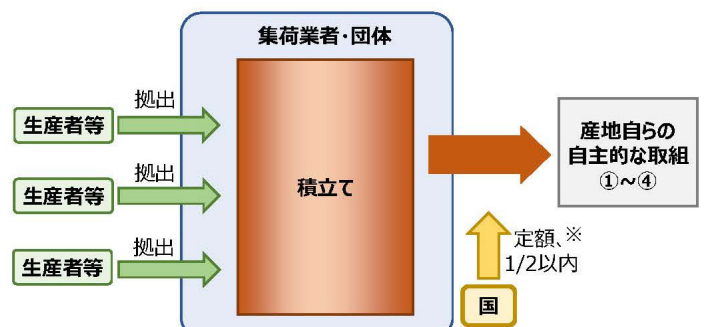
#### 産地

##### 2. 周年供給・需要拡大支援

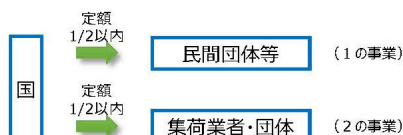
産地において、あらかじめ生産者等が積立てを行い、以下の取組を実施する場合に支援します。

- 主食用米を翌年から翌々年に以降に長期計画的に販売する取組（収穫前契約、複数年契約の場合は追加的に支援）
- 主食用米を海外向けに販売する際の商品開発、販売促進等の取組
- 主食用米を業務用向け等に販売する際の商品開発、販売促進等の取組
- 主食用米を非主食用へ販売する取組

##### 2. 周年供給・需要拡大支援



### <事業の流れ>

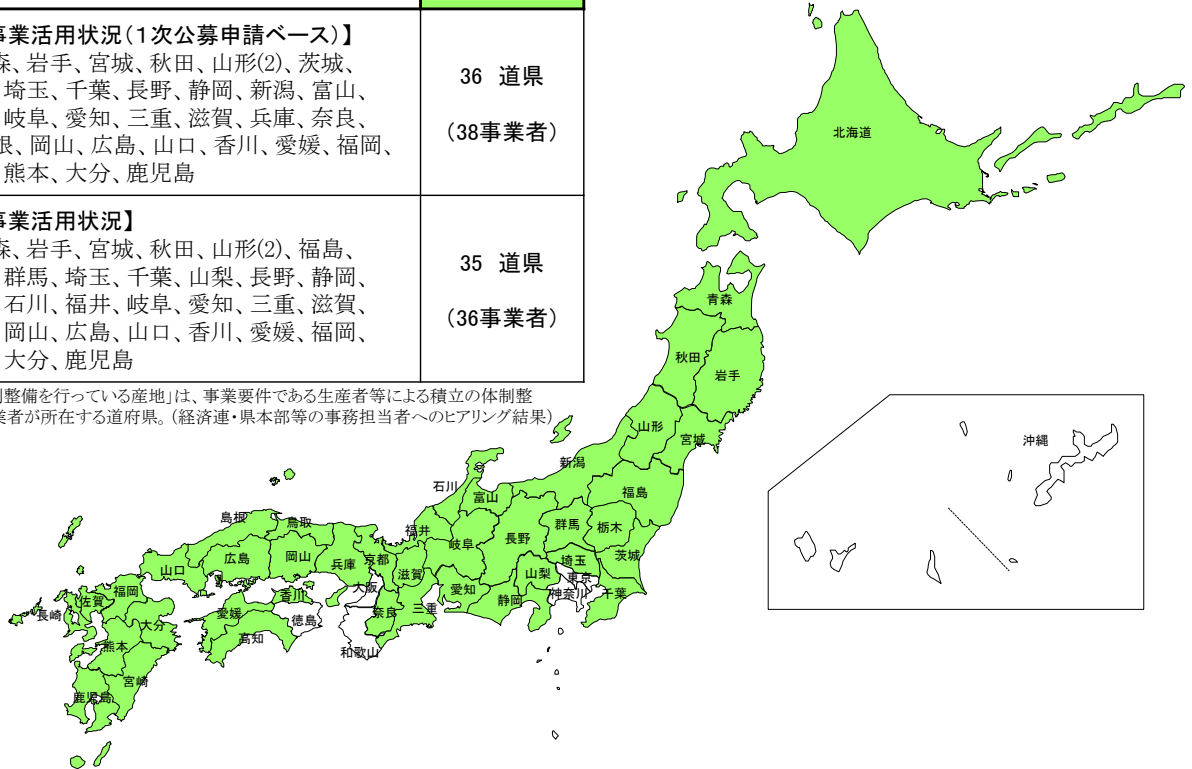


### ③ 米穀周年供給・需要拡大支援事業の体制整備状況

- 米穀周年供給・需要拡大支援事業の体制整備は、41道府県の47事業者において行われている状況。
- 令和4年度（1次公募申請ベース）は、36道県（38事業者）が事業を活用（令和3年度は35道県（36事業者）が事業を活用）。
- 出来秋の需給対策として、今後とも本事業を継続・推進。

事業に必要な体制整備を行っている産地	41 道府県
【令和4年度事業活用状況（1次公募申請ベース）】 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形(2)、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、長野、静岡、新潟、富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重、滋賀、兵庫、奈良、鳥取(2)、島根、岡山、広島、山口、香川、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島	36 道県 (38事業者)
【令和3年度事業活用状況】 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形(2)、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、山梨、長野、静岡、新潟、富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重、滋賀、兵庫、鳥取、岡山、広島、山口、香川、愛媛、福岡、佐賀、熊本、大分、鹿児島	35 道県 (36事業者)

注) 「事業に必要な体制整備を行っている産地」は、事業要件である生産者等による積立の体制整備等を行っている事業者が所在する道府県。(経済連・県本部等の事務担当者へのヒアリング結果)



主な産地	これまでの主な取組概要
北海道	<p>【長期計画的販売の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売</li> </ul> <p>【輸出向けへの販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外向け北海道米PRパンフレットの作成配布</li> </ul> <p>【業務用向け等への販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種メディア及びイベントを活用した北海道産米のPR</li> <li>認知度向上に向けた情報収集、データ分析による販路拡大手法の検討</li> </ul>
秋田	<p>【長期計画的な販売の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売</li> </ul> <p>【業務用向け等への販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種メディア及びイベントを活用した秋田県産米のPR</li> <li>食味分析データを用いた販売促進パンフレットの作成配布</li> <li>外食事業者等が参加する各種商談会での試食等の実施</li> </ul>
山形	<p>【長期計画的な販売の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売</li> </ul> <p>【輸出向けへの販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外百貨店等での「つや姫」、「はえぬぎ」PRキャンペーンの開催</li> </ul> <p>【業務用向け等への販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種メディア及びイベントを活用した山形県産米のPR</li> <li>販路拡大に向けたコンサルティング活動</li> </ul>
新潟	<p>【長期計画的な販売の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売</li> </ul> <p>【業務用向け等への販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種メディア及びイベントを活用した新潟県産米のPR</li> <li>JRエキナカ店舗との連携による販売促進活動の実施</li> <li>インターネット調査による新潟県産米の認知度・消費者ニーズ等の把握</li> </ul>
石川	<p>【長期計画的販売の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売</li> </ul> <p>【輸出向けへの販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現地市場等調査による実需者ニーズの把握や石川県産米パンフレットの作成配布</li> </ul> <p>【業務用向け等への販売促進等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種メディア及びイベントを活用した石川県産米のPR</li> <li>毎月2日を「おにぎりの日」に制定し、これを起点にした試食イベント等の開催</li> </ul>

# (10) コロナ影響緩和特別対策

【令和3年度補正予算額 16,500百万円】

## <対策のポイント>

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要減に相当する15万トンの米穀について、集荷団体と実需者等が連携して行う長期計画的な保管、中食・外食事業者等への販売促進や子ども食堂等の生活弱者への提供を支援することにより、需給の安定に向けた市場環境を整備します。

## <事業目標>

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている米穀の市場環境の整備

## <事業の内容>

### 1. 長期保管の支援

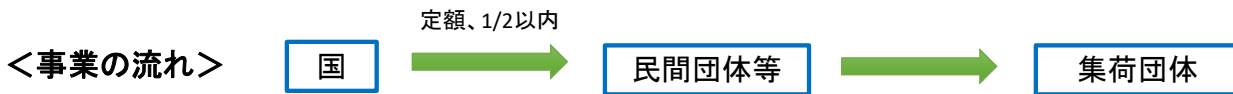
産地の自主的な取組により需要に応じた生産・販売が行われる環境を整備するため、集荷団体と実需者等が市場に影響を与えないように連携して行う長期計画的な販売に伴う保管に係る経費等を支援します。(補助率:定額)

### 2. 中食・外食事業者等への販売促進支援

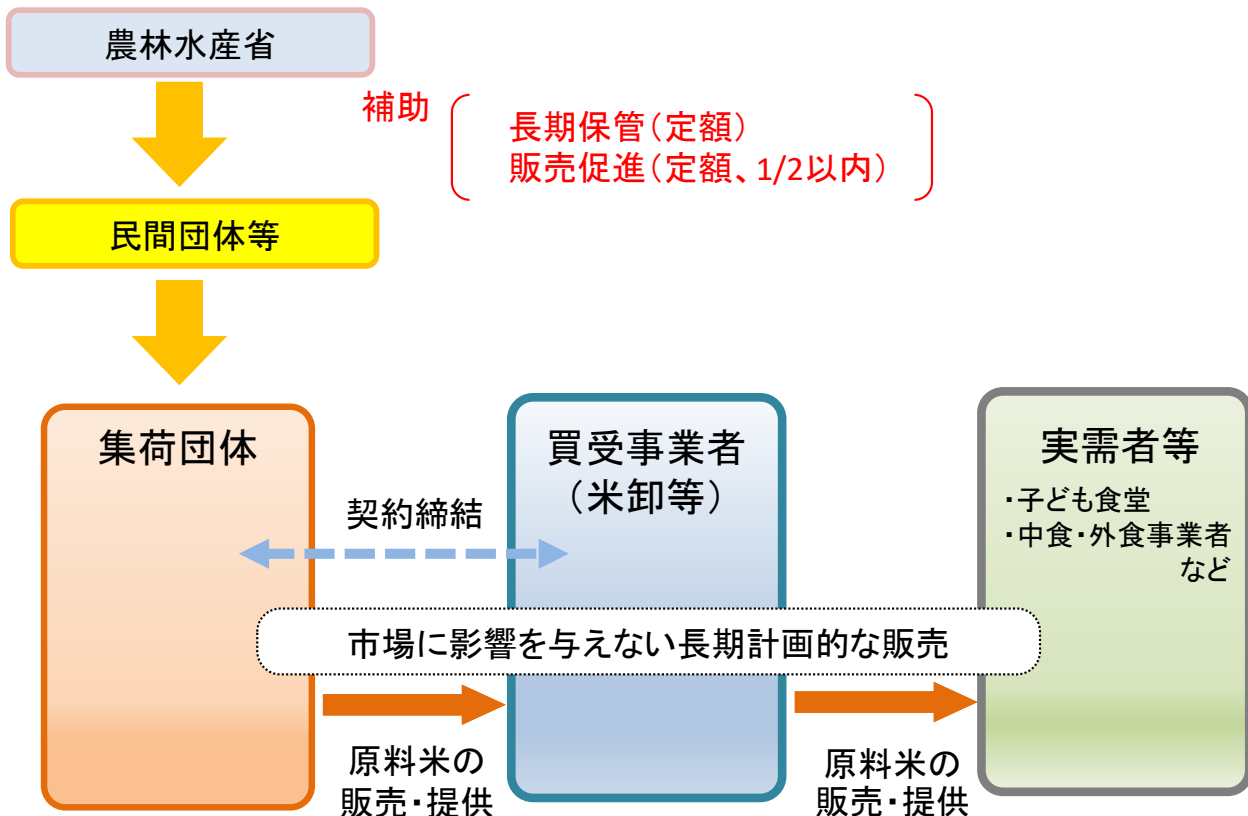
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた中食・外食事業者等に対し、市場に影響を与えないように行う販売促進の取組を支援します。(補助率:1/2以内)

### 3. 生活弱者への提供支援

子ども食堂・子ども宅食等の生活弱者に対し、米を提供する取組を支援します。(補助率:定額)



## <事業イメージ>





# (11) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」は、コメ・コメ加工品の輸出拡大に取り組む事業者・産地が参加可能なプラットフォームとして、目標及び取組方針を掲げて輸出拡大に取り組む参加者をサポート。

輸出拡大実行戦略の輸出目標達成に向けて、輸出産地と連携した新たな海外需要の開拓が見込まれる取組のほか、コメ加工品（米菓・日本酒）についても新たな海外需要開拓が期待される取組を支援。

輸出目標の達成に向けたコメ・コメ加工品輸出の飛躍的増加

産地と輸出事業者が一体となったマーケットイン型の海外需要開拓

## 輸出事業計画作成事業者

今後は、

- ・輸出事業計画を策定し、課題と取組内容を明確化して輸出拡大を図る
- ・品目団体と連携して海外需要開拓に取り組む事業者に対して支援を重点化。

〔事業計画策定者は、輸出促進法に基づく融資等の支援を活用可能。〕

## 輸出産地

特に、千トン超の輸出用米生産に取り組む産地は「輸出産地」としてリスト化し、重点的に支援。

## 戦略的輸出基地 (産地)

海外マーケットに対応可能な、質、数量、価格の面で競争力を有するコメの生産を推進。



## 戦略的輸出事業者 (卸、輸出商社、メーカー等)

輸出拡大の目標、当該目標達成のためのターゲット国・地域・市場及び取組方針を掲げ戦略的に海外市場を開拓。



## 《国による支援》

- ・(新たに)輸出に取り組む事業者・産地に対するマッチング・相談等サポート
- ・輸入規制についての情報発信

## 支援

## 《品目団体等による支援》

- ・海外マーケット動向についての情報発信
- ・専門家による相談対応等

## 国・品目団体等による支援

## コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

# 「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」の参加状況について

## ○ 本プロジェクトの参加状況

○ 令和5年1月6日時点までに90の戦略的輸出事業者、165の戦略的輸出基地が2025年の輸出目標と目標達成に向けた取組方針を設定。

(ア)戦略的輸出事業者 90事業者（目標数量合計 15.0万トン（原料米換算））

(イ)戦略的輸出基地

- (1)団体・法人 156産地
- (2)都道府県単位の集荷団体等 8団体（J A全農県本部、経済連）  
（(1)以外の産地も含めた取組を推進する都道府県単位の団体等）
- (3)全国単位の集荷団体等 1団体（J A全農）  
（(1)、(2)以外の産地も含めた取組を推進する全国単位の団体等）

## ○ 今後の取組方針

K K P 参加事業者に対して、戦略的輸出事業者が産地と連携して取り組むプロモーション等に対する支援、戦略的輸出事業者と産地のマッチングの推進や海外規制動向のタイムリーな情報発信等の施策を通じて輸出を強力に後押し。

○ 主な戦略的輸出事業者（輸出目標上位5事業者を抜粋）

戦略的輸出事業者	輸出目標	重点国・地域
J A全農	コメ：50,000トン パックご飯：200万食	中国、北米、EU、アジア等
(株)神明	コメ：10,500トン パックご飯：100万食 米粉・米粉製品：100トン	中国、アジア、EU等
(株)クボタ	コメ：10,000トン	米国等
全農イターナショナル(株)	コメ：10,000トン パックご飯：100万食	中国、北米、EU、アジア等
木徳神糧(株)	コメ：6,000トン	中国、香港、北米、EU、東南アジア（シンガポール・タイ等）、アラブ、アジア等

○ 主な戦略的輸出基地（令和3年産輸出用米生産実績上位5産地を抜粋）

【団体】		【農業法人】	
都道府県	戦略的輸出基地	都道府県	戦略的輸出基地
新潟県	J Aグループ新潟米輸出推進協議会	新潟県	(株)新潟クボタ
宮城県	JAみやぎ登米	青森県	(株)みちのくクボタ
岩手県	JA岩手ふるさと	北海道	(株)芦別RICE
茨城県	茨城県産米輸出推進協議会	山形県	(株)庄内こめ工房
福井県	JA福井県	北海道	(株)松原米穀契約生産者組合

農林水産省ホームページで「米の輸出について」のページを開設しています。「米の輸出について」のページには、本プロジェクトの情報やコメ輸出に関する様々な情報を掲載しています。また同ページには、コメの輸出について分かりやすく説明した動画を公開しています。「農林水産省ホームページ」トップページの「キーワード」にある「米の輸出」からご覧頂けます。

（農新水産省ホームページ「米の輸出について」URL）

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome\\_yusyutu/kome\\_yusyutu.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html)

## 6 その他

### (1) 水稲うるち玄米の農産物検査結果

- 令和4年産水稲うるち玄米の令和4年11月30日現在の検査数量は、370万トン。
- 1等米比率は、78.7%。

#### ① 検査数量の推移（累計）

単位：千トン

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
27	11	220	1,537	3,506	3,964	4,149	4,252	4,385	4,518	4,869
28	18	231	1,656	3,564	4,036	4,212	4,319	4,451	4,585	4,929
29	13	244	1,463	3,268	3,851	4,062	4,163	4,279	4,409	4,764
30	21	297	1,446	3,328	3,782	3,962	4,075	4,199	4,325	4,656
元		193	1,651	3,448	3,929	4,118			4,491	4,853
2		225	1,780	3,633	4,044	4,218			4,557	4,902
3		201	1,857	3,497	3,926	4,110			4,455	
参考：前年比		89%	104%	96%	97%	97%			98%	
4		218	1,579	3,299	3,704					
参考：前年比		108%	85%	94%	94%					

注：1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

3 「農林水産大臣の定める様式及び農林水産大臣の定める期日」の告示に基づく報告を集計（公表）したものである。

#### ② 検査数量及び等級比率（年産別）

単位：トン、%

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,195	3,840,128	759,340	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,672	4,291,303	806,064	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27	4,868,582	4,016,682	687,771	82,654	81,475	82.5	14.1	1.7	1.7
28	4,928,745	4,110,565	668,746	67,438	81,995	83.4	13.6	1.4	1.7
29	4,763,550	3,919,530	676,990	74,247	92,784	82.3	14.2	1.6	1.9
30	4,655,753	3,737,664	732,043	84,232	101,814	80.3	15.7	1.8	2.2
元	4,852,917	3,552,157	1,056,432	144,217	100,111	73.2	21.8	3.0	2.1
2	4,902,347	3,913,322	811,025	96,538	81,462	79.8	16.5	2.0	1.7
3(注3)	4,454,656	3,701,137	632,729	62,672	58,117	83.1	14.2	1.4	1.3
4(注4)	3,704,441	2,913,823	668,331	79,098	43,021	78.7	18.0	2.1	1.2

資料：農林水産省とりまとめ

注：1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 2年産までは、生産年の翌年10月31日現在（確定値）

3 3年産については、令和4年3月31日現在（速報値）

4 4年産については、令和4年11月30日現在（速報値）、検査数量には機械鑑定を含む。

## (2) 国産飼料用米の使用可能数量

- 各飼料業界団体における国産飼料用米の年間使用可能数量は、約130万トン。  
注：令和4年1月現在の各飼料メーカーにおける、現状の施設・能力での米の総使用可能数量から試算〔農林水産省畜産局飼料課調べ〕
- ① 全農グループ飼料会社：約58万トン
- ② (協)日本飼料工業会組合員工場：約66万トン
- ③ 全国酪農業協同組合連合会：約1万トン
- ④ 日本養鶏連：約4万トン
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は以下のとおり。

① 全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量

地区	年間使用可能数量 (千トン)	備考
北海道	52	ホクレンくみあい飼料
東北	174	J A全農北日本くみあい飼料
関東	98	J A東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	13	J A東日本くみあい飼料
東海	26	//
近畿・中国	40	J A西日本くみあい飼料
四国	13	//
北九州	33	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	129	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
合計	579	

(※)使用可能数量は、輸入とうもろこし以下の価格であることを前提に、現状の施設・能力(今後設備投資をした場合に増強される施設・能力も一部含む)でのMA米・備蓄米を含んだ米の総使用可能数量(約777千トン)から最大値として試算。  
(※)実際の使用量は、飼料原料の需給、価格、搬入方法等により変動する。  
(※)四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先:JA全農 畜産生産部麦類・副原料課 TEL:03-6271-8243

② 日本飼料工業会組合員の飼料用米の使用可能数量

地区	年間使用可能数量 (千トン)	備考
北海道	40	
東北	205	
関東	216	
中部	71	
関西	55	
九州	76	
合計	661	

(※)使用可能数量は、輸入とうもろこし以下の価格であることを前提に、現状の施設・能力でのMA米・備蓄米を含んだ米の総使用可能数量から最大値として試算。  
(※)実際の使用量は、飼料原料の需給、価格、搬入方法等により変動する。  
(※)四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先:日本飼料工業会 TEL:03-3583-8031

③ 全国酪農業協同組合連合会の飼料用米の使用可能数量

地区	年間使用可能数量 (千トン)	備考
北海道	10.8	政府所有米穀(MA米)使用
東北	1.6	政府所有米穀(備蓄米)と新規需要米併用
関東	1.4	政府所有米穀(備蓄米)と新規需要米併用
中部	0.4	新規需要米使用
関西	0.6	政府所有米穀(MA米)使用
九州	0.0	
合計	14.8	

(※)使用可能数量は、輸入とうもろこし以下の価格であることを前提に、MA米、備蓄米を含み、現在の施設・能力から試算した数量。  
(※)実際の使用量は、飼料原料の需給、価格、搬入方法等により変動する。  
(※)四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先:全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部 TEL:03-5931-8007

④ 日本養鶏連の飼料用米の使用可能数量

地区	年間使用可能数量 (千トン)	備考
北海道	0.0	
東北	0.5	*粳米、不可
関東	1.5	
北陸	0.0	
東海	1.4	
近畿・中国	6.0	*粳米、不可
四国	0.0	
九州	26.0	*一部、粳米不可
合計	35.4	

(※)使用可能数量は、輸入とうもろこし以下の価格であることを前提に、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。  
(※)実際の使用量は、飼料原料の需給、価格、搬入方法等により変動する。  
(※)四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先:日本養鶏連 事業部 TEL:03-5296-7041

- 畜産農家の令和4年産飼料用米の新規需要量（令和4年6月現在）

都道府県	新規需要量	
	件数	数量（トン）
北海道	1	1,000
岩手県	4	1,463
宮城県	1	50
山形県	1	200
福島県	5	459
茨城県	5	4,340
群馬県	1	200
千葉県	4	3,731
山梨県	4	68
長野県	7	385
静岡県	4	47
石川県	7	110
愛知県	3	240
奈良県	3	350
和歌山県	1	10
京都府	1	20
岡山県	1	155
広島県	4	865
香川県	3	90
福岡県	5	996
佐賀県	1	4
長崎県	3	170
大分県	1	1,000
鹿児島県	1	60
沖縄県	2	11
合計	73	16,024

\* 供給先が確保されていない新規需要量について、都道府県から報告のあった件数・数量を記載  
 ※ 需要量が未定のものについては、需要件数には含むが需要量には含まない。

問い合わせ先：畜産局飼料課 TEL: 03-3502-5993

# 飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等

## 飼料用米のマッチングの取組状況

- 畜産農家と耕種農家とのマッチングのための新規需要について要望調査を実施したところ、令和4年産飼料用米について、畜産農家から約1.5万トン(67件)の希望が寄せられている。さらに、全農グループ飼料会社において約58万トン、日本飼料工業会において約66万トンの受入が可能であるなど、配合飼料メーカーからの要望もあり、農林水産省としてもこれらのマッチング活動を推進。
- 令和2年産飼料用米の生産・利用拡大に向けては、全国、地方ブロック、各県(地域)段階において推進体制を整備し、生産・流通・利用にかかる各種課題解決に向けた取組を総合的に推進。

### 飼料用米の畜産農家における新規需要量及び飼料業界団体における使用可能数量

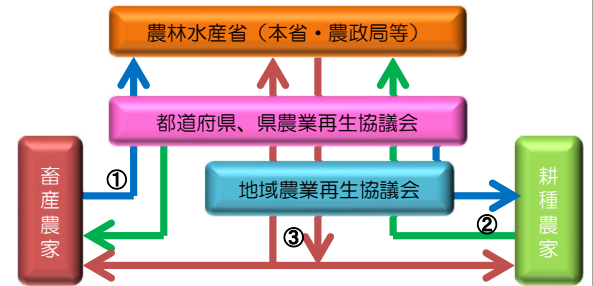
- 畜産農家の新規需要量：約1.5万トン(67件)  
(令和4年5月現在)
- 全農グループ飼料会社：年間約58万トン  
(米使用可能数量約78万トンのうちMA米・備蓄米を含まない数量。)
- (協)日本飼料工業会組合員工場：年間約66万トン  
(米使用可能数量のうちMA米・備蓄米を含まない。)

### 飼料業界主要4団体の飼料用米生産拡大に向けたメッセージ (平成29年3月28日公表)

- ・ 飼料業界の主要4団体が、飼料用米の生産拡大に向け、飼料用米に取り組む生産者に対するメッセージをとりまとめ、公表。
- ・ 当面の飼料用米の使用可能数量は4団体で120万トン程度と十分に利用できる体制になっており、安心して飼料用米生産に取り組んでいただきたい旨が記載。

### マッチング活動の取組体制

- ① 新たに飼料用米の供給を希望する畜産農家の連絡先や希望数量・価格等の取引条件を聞き取り、需要者情報としてとりまとめ、産地側(地域再生協・耕種農家等)へ提供
- ② 地域(再生協)における飼料用米の作付面積や数量を聞き取り、産地情報として取りまとめ、利用側(畜産農家等)へ提供
- ③ 各関係機関が連携し、マッチング活動を推進



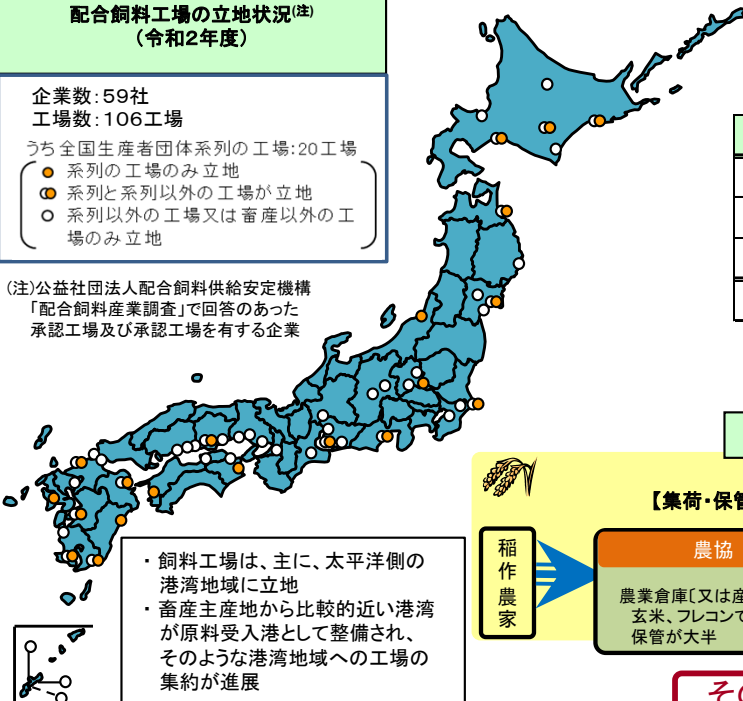
## 配合飼料メーカーへの飼料用米の供給について

- 耕種農家は、農協に出荷することで、自ら需要先の確保を図る必要がなく、飼料用米の生産に取組可能。
- 農協は、CEや耕種農家が乾燥した飼料用米を地域の農業倉庫等で保管。
- 農協と出荷契約を締結した全国団体は、飼料メーカーの要望に応じ、工場近くの営業倉庫等で開袋・バラ化作業を行い、工場に搬入。
- 飼料メーカーは、とうもろこしの代替として飼料用米を配合し、畜産農家に出荷(工場は、在庫として保有せず、計画的に受入・配合)。
- 飼料工場では、次の課題をクリアすれば、受入量の増加に対応可能。
  - ・ 配合飼料の主原料(とうもろこし等)と同等またはそれ以下の価格での供給
  - ・ 工場への長期的かつ計画的な供給と集荷・流通の円滑化(例えば、半年程度前から供給量の調整を行い、計画的に搬入)

### 配合飼料工場の立地状況(注) (令和2年度)

企業数：59社  
工場数：106工場  
うち全国生産者団体系列の工場：20工場  
● 系列の工場のみ立地  
○ 系列と系列以外の工場が立地  
○ 系列以外の工場又は畜産以外の工場のみ立地

(注)公益社団法人配合飼料供給安定機構「配合飼料産業調査」で回答のあった承認工場及び承認工場を有する企業



- ・ 飼料工場は、主に、太平洋側の港湾地域に立地
- ・ 畜産主産地から比較的近い港湾が原料受入港として整備され、そのような港湾地域への工場の集約が進展

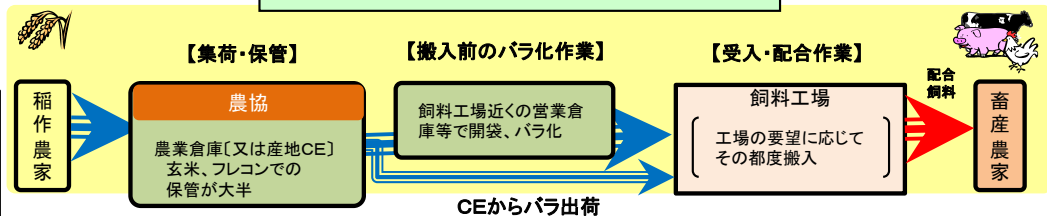
### 畜種別のコメの利用可能量(試算)

【※家畜の生理や畜産物に影響を与えることなく給与可能と見込まれる量】

区分	採卵鶏	ブロイラー	養豚	乳牛	肉牛	合計
配合飼料生産量	635万ト	385万ト	566万ト	316万ト	463万ト	2,365万ト
配合可能割合	20%	50%	15%	10%	3%	
利用可能量	127万ト	192万ト	85万ト	32万ト	14万ト	450万ト
(参考)R3年度使用量	38万ト	41万ト	37万ト	7万ト	4万ト	127万ト

資料：公益社団法人配合飼料供給安定機構発行「飼料月報」より  
(配合可能割合は畜産栄養有識者からの聞き取り及び研究報告をもとに試算)  
注：利用可能量は、令和3年度の配合飼料生産量に配合可能割合を乗じて算出。

### 全国生産者団体による飼料用米の集荷・流通体制



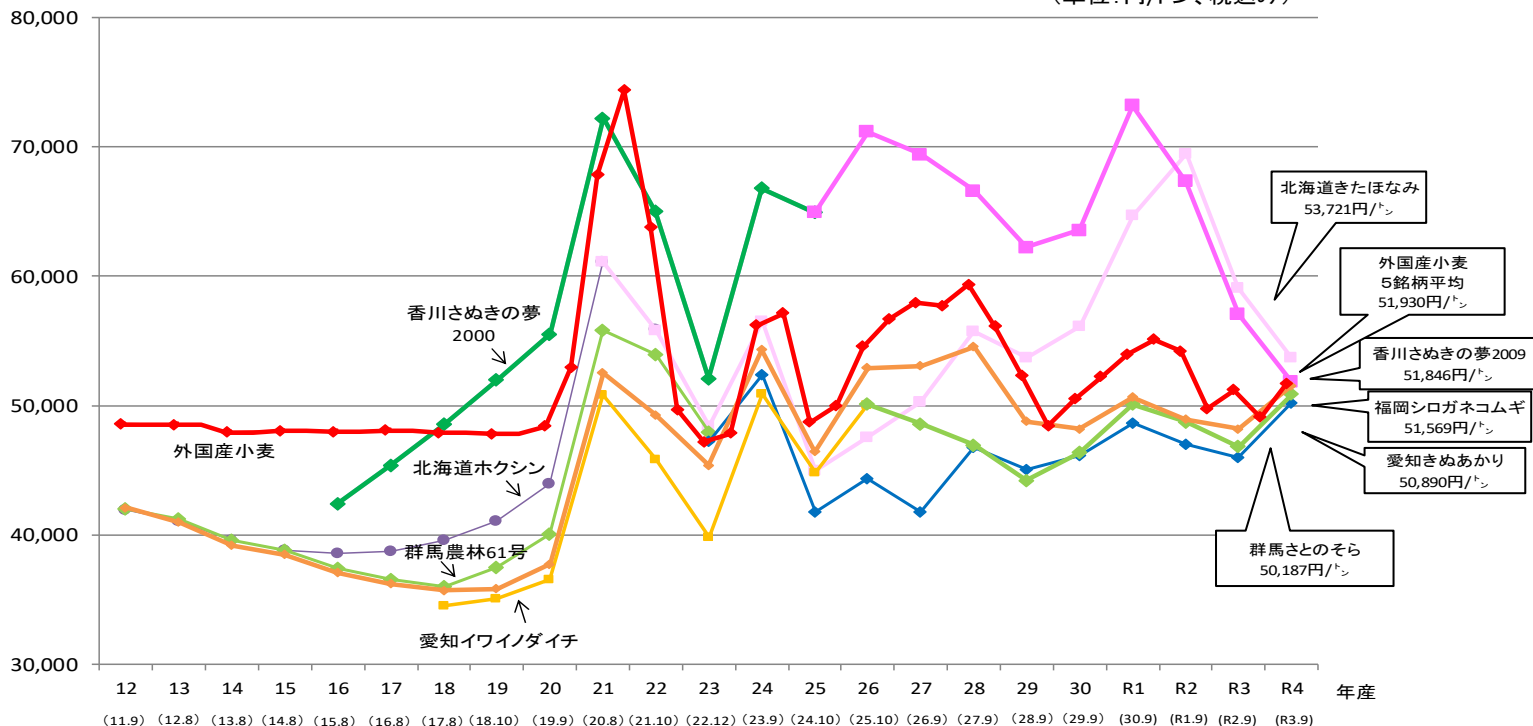
その他-4

# (3) 麦・大豆の需要情報

## ① 令和4年産麦の産地別銘柄別入札結果

令和4年産国内産麦の入札の結果、取引の基準となる指標価格（加重平均）（税込）は、麦種別平均で、小麦53,795円/トン、小粒（六条）大麦45,860円/トン、大粒（二条）大麦40,878円/トン、はだか麦38,397円/トン。

(単位:円/トン、税込み)



注1: 国内産小麦の価格は、播種前入札第1回、第2回及び再入札の落札加重平均価格(税込み)。年産の下段の( )内は国内産麦の播種前入札実施年月である。  
 注2: 外国産小麦の価格は、18年までは年度平均の実績価格であり、19年以降は、国内産麦の入札実施年月時点の輸入小麦の政府売渡価格(5銘柄平均)である。  
 注3: ホクシン(きたほなみ)については、22年産までは「ホクシン」の価格であり、23年産からは「きたほなみ」の価格である。  
 注4: さぬきの夢については、24年産までは「さぬきの夢2000」の価格であり、25年産からは「さぬきの夢2009」の価格である。  
 注5: 農林61号(さとのそら)については、23年産までは「農林61号」の価格であり、24年産からは「さとのそら」の価格である。  
 注6: イワイノダイチ(きぬあかり)については、25年産までは「イワイノダイチ」の価格であり、26年産からは「きぬあかり」の価格である。  
 注7: R1年産から国内産小麦の税込み価格は農林水産省で算出。

### ア 令和4年産小麦

(単位:円、トン、税抜き)

麦種	産地	銘柄	地域区分	前年産 指標価格 (1)	令和4年産			指標価格 前年産対比 (3)÷(1)	上場数量 (4)	申込数量 (5)	落札 数量	落札 残数量	申込数量 倍率 (5)÷(4)
					基準価格 (2)	指標価格 (3)	対比 (3)÷(2)						
小麦	北海道	春よ恋	全地区	73,963	74,703	68,431	91.6%	92.5%	11,920	13,130	11,300	620	1.1
小麦	北海道	きたほなみ	全地区	54,698	55,245	49,742	90.0%	90.9%	128,190	91,820	91,820	36,370	0.7
小麦	北海道	ゆめちから	全地区	55,995	56,555	50,966	90.1%	91.0%	26,180	8,900	8,900	17,280	0.3
小麦	北海道	はるきりら	全地区	64,737	65,384	58,846	90.0%	90.9%	1,990	1,390	1,390	600	0.7
小麦	岩手	ゆきちから	全地区	35,508	35,863	35,621	99.3%	100.3%	1,080	2,320	1,080	0	2.1
小麦	宮城	シラネコムギ	全地区	42,055	42,476	43,570	102.6%	103.6%	530	530	530	0	1.0
小麦	茨城	さとのそら	全地区	43,215	43,647	44,180	101.2%	102.2%	3,630	6,270	3,630	0	1.7
小麦	群馬	つるびかり	全地区	49,500	49,995	50,851	101.7%	102.7%	1,190	1,760	1,190	0	1.5
小麦	群馬	さとのそら	全地区	42,615	43,041	46,469	108.0%	109.0%	4,730	13,270	4,730	0	2.8
小麦	埼玉	あやひかり	全地区	42,179	42,601	45,693	107.3%	108.3%	1,510	5,040	1,510	0	3.3
小麦	埼玉	さとのそら	全地区	40,673	41,080	43,250	105.3%	106.3%	4,330	13,890	4,330	0	3.2
小麦	岐阜	イワイノダイチ	全地区	42,341	42,764	45,172	105.6%	106.7%	1,240	2,910	1,240	0	2.3
小麦	岐阜	さとのそら	全地区	43,496	43,931	44,911	102.2%	103.3%	1,360	3,320	1,360	0	2.4
小麦	愛知	きぬあかり	全地区	43,373	43,807	47,120	107.6%	108.6%	5,430	13,830	5,430	0	2.5
小麦	愛知	ゆめあかり	全地区	-	44,807	42,382	94.6%	-	1,610	820	820	790	0.5
小麦	滋賀	農林61号	全地区	47,197	47,669	48,752	102.3%	103.3%	1,650	4,510	1,650	0	2.7
小麦	滋賀	ふくさやか	全地区	41,547	41,962	45,139	107.6%	108.6%	1,110	2,680	1,110	0	2.4
小麦	滋賀	びわほなみ	全地区	47,791	48,269	49,108	101.7%	102.8%	2,150	3,550	2,150	0	1.7
小麦	滋賀	さぬきの夢2009	全地区	52,812	53,340	48,006	90.0%	90.9%	2,110	400	400	1,710	0.2
小麦	福岡	シログアネコムギ	全地区	44,629	45,075	47,749	105.9%	107.0%	6,060	13,350	6,060	0	2.2
小麦	福岡	チクゴイズミ	全地区	42,240	42,662	43,425	101.8%	102.8%	5,580	11,640	5,570	10	2.1
小麦	福岡	ミナミカオリ	全地区	57,459	58,034	52,263	90.1%	91.0%	1,700	560	560	1,140	0.3
小麦	福岡	シログアネコムギ	全地区	43,579	44,015	47,001	106.8%	107.9%	6,990	20,270	6,990	0	2.9
小麦	佐賀	チクゴイズミ	全地区	41,444	41,858	42,996	102.7%	103.7%	3,480	5,300	3,250	230	1.5
小麦	大分	チクゴイズミ	全地区	40,092	40,493	42,802	105.7%	106.8%	1,410	3,080	1,150	260	2.2
-	-	---合計---	-	-	52,972	49,810	94.0%	-	227,160	244,540	168,150	59,010	1.1

資料: (一社)全国米麦改良協会「令和4年産民間流通麦の入札における落札決定状況(公表)」

- 注1: 基準価格及び指標価格は1トン当たりの価格である。
- 注2: 建値条件は、ばら、1等、産地倉庫在姿である。
- 注3: 基準価格及び指標価格の「合計」欄は、産地・銘柄毎の基準価格又は指標価格を落札数量で加重平均したものである。
- 注4: 令和4年産小麦の基準価格は、令和3年産の指標価格に当該年産の第1回入札時点での輸入麦の政府売渡価格の変動率(1.010)を乗じた価格である。

# イ 令和4年産大麦・はだか麦

(単位:円、トン、税抜き)

麦種	産地	銘柄	地域区分	前年産 指標価格 (1)	令和4年産			指標価格 前年産対比 (3)÷(1)	上場数量 (4)	申込数量 (5)	落札数量	落札 残数量	申込数量 倍率 (5)÷(4)
					基準価格 (2)	指標価格 (3)	対比 (3)÷(2)						
小粒(六条)大麦	宮城	シュンライ	全地区	35,754	35,754	35,754	100.0%	310	580	310	0	1.9	
小粒(六条)大麦	宮城	ミルムギ	全地区	36,023	36,023	35,754	99.3%	190	110	110	80	0.6	
小粒(六条)大麦	宮城	ホワイトファイバー	全地区	—	40,754	38,858	95.3%	450	520	450	0	1.2	
小粒(六条)大麦	茨城	カシマムギ	全地区	45,268	45,268	45,268	100.0%	180	200	180	0	1.1	
小粒(六条)大麦	茨城	カシマゴール	全地区	39,490	39,490	39,490	100.0%	1,080	1,080	1,080	0	1.0	
小粒(六条)大麦	茨城	シュンライ	全地区	38,304	38,304	38,455	100.4%	1,280	1,550	1,280	0	1.2	
小粒(六条)大麦	群馬	シュンライ	全地区	37,776	37,776	37,816	100.1%	440	780	440	0	1.8	
小粒(六条)大麦	富山	ファイバースノウ	全地区	46,116	46,116	46,166	100.1%	2,470	3,480	2,470	0	1.4	
小粒(六条)大麦	石川	ファイバースノウ	I地区	43,666	43,666	43,666	100.0%	1,020	1,580	1,020	0	1.5	
小粒(六条)大麦	福井	ファイバースノウ	全地区	46,488	46,488	46,353	99.7%	3,250	4,500	3,250	0	1.4	
小粒(六条)大麦	福井	はねうまもち	全地区	48,891	48,891	46,548	95.2%	430	240	240	190	0.6	
小粒(六条)大麦	長野	ファイバースノウ	全地区	38,986	38,986	37,868	97.1%	320	190	190	130	0.6	
小粒(六条)大麦	滋賀	ファイバースノウ	I地区	—	38,363	35,620	92.9%	320	470	320	0	1.5	
小粒(六条)大麦	滋賀	ファイバースノウ	II地区	34,672	34,672	34,640	99.9%	1,140	740	670	470	0.6	
小粒(六条)大麦	兵庫	シュンライ	全地区	—	39,268	39,268	100.0%	430	450	430	0	1.0	
—	—	----合計----	—	—	42,677	42,463	99.5%	13,310	16,470	12,440	870	1.2	
大粒(二条)大麦	茨城	ミカモゴールデン	全地区	28,432	28,432	28,479	100.2%	660	770	660	0	1.2	
大粒(二条)大麦	栃木	ニューサチホゴールデン	全地区	32,313	32,313	29,769	92.1%	900	660	530	370	0.7	
大粒(二条)大麦	岡山	スカイゴールデン	全地区	36,577	36,577	35,396	96.8%	610	640	600	10	1.0	
大粒(二条)大麦	岡山	サチホゴールデン	全地区	—	36,577	36,753	100.5%	600	830	590	10	1.4	
大粒(二条)大麦	佐賀	サチホゴールデン	全地区	38,761	38,761	39,523	102.0%	3,500	5,040	3,500	0	1.4	
大粒(二条)大麦	佐賀	はるか二条	全地区	39,400	39,400	39,602	100.5%	4,240	4,870	3,840	400	1.1	
—	—	----合計----	—	—	37,693	37,850	100.4%	10,510	12,810	9,720	790	1.2	
はだか麦	香川	イチバンボシ	全地区	38,964	38,964	35,161	90.2%	690	250	250	440	0.4	
はだか麦	愛媛	ハルヒメボシ	全地区	39,557	39,557	35,639	90.1%	1,160	540	540	620	0.5	
はだか麦	大分	トヨノカゼ	全地区	39,748	39,748	35,790	90.0%	380	240	220	160	0.6	
—	—	----合計----	—	—	39,452	35,553	90.1%	2,230	1,030	1,010	1,220	0.5	

資料:(一社)全国米麦改良協会「令和4年産民間流通麦の入札における落札決定状況(公表)」

注:1 基準価格及び指標価格は1トン当たりの価格である。

2 建値条件は、ばら、1等、産地倉庫在姿である。

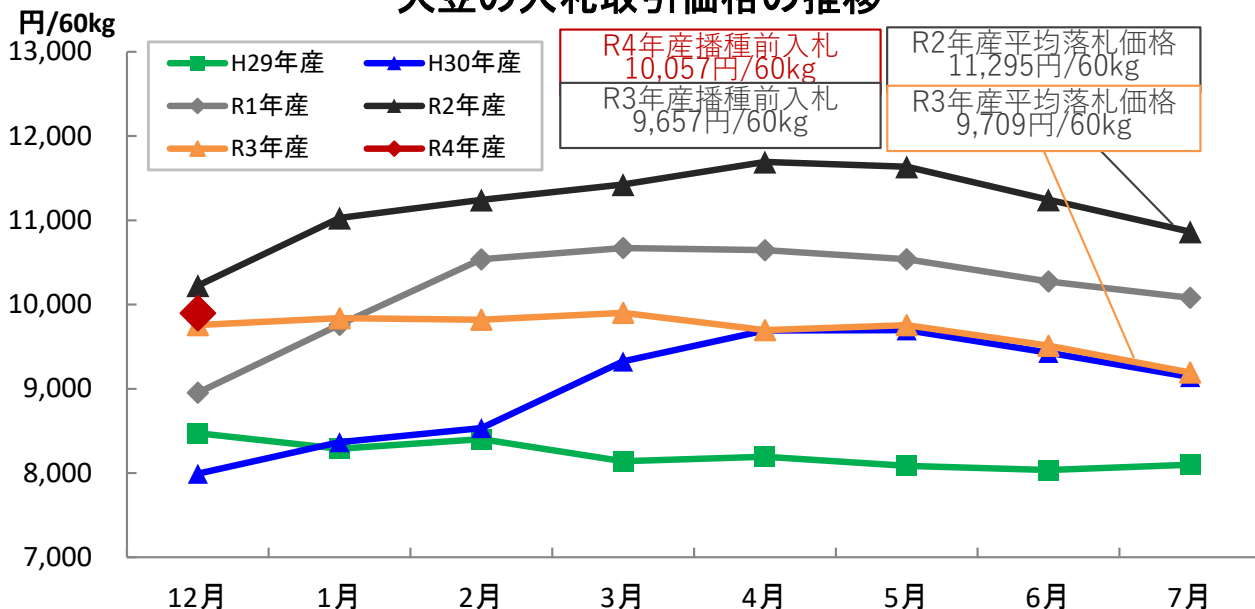
3 基準価格及び指標価格の「合計」欄は、産地・銘柄毎の基準価格又は指標価格を落札数量で加重平均したものである。



## ② 令和4年産大豆の産地品種銘柄別入札結果

- ・ (公財)日本特産農産物協会が開設する令和4年産大豆の収穫後入札取引は、令和4年12月より開始。第1回(12月)は上場1,931t、落札率91%、平均落札価格9,898円/60kgとなった。(令和3年産は上場40,259t、落札率82%、平均落札価格9,709円/60kg)
- ・ また、令和4年産大豆の播種前入札(令和4年4月に実施)では、17,375tが上場され、落札率は95%、平均落札価格は10,057円/60kgであった。(令和3年産は上場量16,711t、落札率93%、平均落札価格9,657円/60kg)

### 大豆の入札取引価格の推移



資料：(公財)日本特産農産物協会入札結果より。注：入札販売価格は各月の全銘柄平均価格(税抜)

### 令和4年産大豆の収穫後入札結果(産地品種銘柄別、年産累計)

(単位：俵、円/60kg(税抜き))

産地	粒別	品種銘柄	上場数量			落札数量			落札率	落札価格		
			普通大豆	特定加工用大豆	合計	普通大豆	特定加工用大豆	合計		普通大豆	特定加工用大豆	合計
北海道	大粒	とよまさり	18,975	1,815	20,790	18,150	1,815	19,965	96%	10,309	9,617	10,247
	大粒	【とよまさりユキホマレ】	15,840	1,485	17,325	15,675	1,485	17,160	99%	10,362	9,630	10,298
	大粒	【とよまさりとよみづき】	330		330	330		330	100%	9,130		9,130
	大粒	【とよまさりとよまどか】	2,805	330	3,135	2,145	330	2,475	79%	10,109	9,560	10,036
	中粒	とよまさり	825	1,155	1,980	660	1,155	1,815	92%	8,978	9,430	9,265
	中粒	【とよまさりユキホマレ】	825	990	1,815	660	990	1,650	91%	8,978	9,430	9,249
	中粒	【とよまさりとよまどか】		165	165		165	165	100%		9,430	9,430
	小粒	とよまさり		165	165		165					
	小粒	【とよまさりユキホマレ】		165	165		165					
	小粒	スズマル	660		660	165		165	25%	8,970		8,970
小粒	ユキシズカ	2,805	330	3,135	1,815	165	1,980	63%	8,387	7,710	8,331	
岩手	大粒	リュウホウ	990		990	990		990	100%	9,403		9,403
秋田	大粒	リュウホウ		165	165		165	165	100%		8,880	8,880
	中粒	リュウホウ	495	165	660	495	165	660	100%	9,410	8,630	9,215
	小粒	リュウホウ		165	165		165	165	100%		7,760	7,760
新潟	大粒	里のほほえみ	990	990	1,980	990	990	1,980	100%	9,430	9,330	9,380
	大粒	エンレイ	165	330	495	165	330	495	100%	10,760	10,485	10,577
	中粒	エンレイ		495	495		495	495	100%		10,073	10,073
石川	大粒	里のほほえみ		165	165		165	165	100%		9,050	9,050
	中粒	里のほほえみ		330	330		330	330	100%		8,830	8,830
全国			25,905	6,270	32,175	23,430	5,940	29,370	91%	10,022	9,407	9,898

注1：北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を〔 〕内に示し、その実績を内数として示している。

注2：落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

大粒	とよまさり
大粒	【とよまさり】
大粒	【とよまさりとよムスメ】

令和4年産大豆の播種前入札結果（産地品種銘柄別）

（単位：俵、円/60kg（税抜き））

産地	粒区分	品種銘柄	品位区分	上場数量	落札数量	落札率	平均落札価格
北海道	大粒	とよまさり	普通・3等以上	89,767	88,117	98%	9,602
	大粒	[とよまさり・ユキホマレ]	普通・3等以上	76,400	74,750	98%	9,508
	大粒	[とよまさり・とよみづき]	普通・3等以上	13,367	13,367	100%	10,127
	小粒	ユキシズカ	普通・3等以上	19,633	11,050	56%	8,441
	小粒	スズマル	普通・3等以上	4,783	983	21%	8,753
青森	大粒	おおすず	普通・3等以上	9,083	9,083	100%	8,648
岩手	大粒	リュウホウ	普通・3等以上	5,117	5,117	100%	9,186
宮城	大粒	ミヤギシロメ	普通・3等以上	10,233	10,233	100%	9,004
	大粒	タチナガハ	普通・3等以上	6,767	6,767	100%	8,830
	大粒	タンレイ	普通・3等以上	6,433	6,433	100%	8,841
秋田	大粒	リュウホウ	特定加工用以上	14,683	14,683	100%	9,180
山形	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	4,950	4,950	100%	9,277
茨城	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	2,967	2,967	100%	9,075
栃木	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	5,117	5,117	100%	9,345
新潟	大粒	エンレイ	特定加工用以上	4,450	4,450	100%	9,940
	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	7,267	7,267	100%	9,357
富山	大粒	エンレイ	特定加工用以上	18,983	18,983	100%	9,795
	大粒	シュウレイ	特定加工用以上	6,433	6,433	100%	9,737
石川	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	2,483	2,483	100%	9,640
福井	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	2,150	2,150	100%	9,798
長野	大粒	ナカセンナリ	普通・3等以上	1,650	1,650	100%	8,796
岐阜	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	4,617	4,617	100%	11,328
愛知	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	9,233	9,233	100%	11,760
三重	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	5,117	5,117	100%	11,304
滋賀	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	4,133	4,133	100%	11,494
	大粒	ことゆたか	普通・3等以上	3,967	3,967	100%	10,131
山口	大粒	サチユタカ	特定加工用以上	500	500	100%	9,650
福岡	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	14,183	14,183	100%	12,875
佐賀	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	20,783	20,783	100%	12,886
熊本	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	4,133	4,133	100%	12,513
全 国				289,583	275,550	95%	10,057

<参考1> 令和3年産大豆の播種前入札結果（産地品種銘柄別）

（単位：俵、円/60kg（税抜き））

産地	粒区分	品種銘柄	品位区分	上場数量	落札数量	落札率	平均落札価格
北海道	大粒	とよまさり	普通・3等以上	83,000	81,350	98%	9,024
	大粒	[とよまさり・ユキホマレ]	普通・3等以上	71,617	69,967	98%	8,966
	大粒	[とよまさり・とよみづき]	普通・3等以上	11,383	11,383	100%	9,378
	小粒	ユキシズカ	普通・3等以上	20,633	8,083	39%	8,838
	小粒	スズマル	普通・3等以上	4,617	833	18%	9,232
青森	大粒	おおすず	普通・3等以上	8,583	8,583	100%	8,982
岩手	大粒	リュウホウ	普通・3等以上	5,117	5,117	100%	9,170
宮城	大粒	ミヤギシロメ	普通・3等以上	9,900	9,900	100%	8,871
	大粒	タチナガハ	普通・3等以上	6,267	6,267	100%	8,339
	大粒	タンレイ	普通・3等以上	5,933	5,933	100%	8,574
秋田	大粒	リュウホウ	特定加工用以上	14,033	14,033	100%	9,227
山形	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	4,450	4,450	100%	8,893
茨城	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	2,967	2,967	100%	9,109
栃木	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	4,133	4,133	100%	9,236
新潟	大粒	エンレイ	特定加工用以上	3,633	3,633	100%	9,720
	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	6,433	6,433	100%	9,363
富山	大粒	エンレイ	特定加工用以上	18,983	18,983	100%	9,834
	大粒	シュウレイ	特定加工用以上	6,433	6,433	100%	9,549
石川	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	2,483	2,483	100%	9,453
福井	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	1,983	1,983	100%	9,460
長野	大粒	ナカセンナリ	普通・3等以上	1,650	1,483	90%	8,764
岐阜	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	4,617	4,617	100%	10,640
愛知	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	9,083	9,083	100%	11,086
三重	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	5,117	5,117	100%	10,240
滋賀	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	3,967	3,967	100%	10,648
	大粒	ことゆたか	普通・3等以上	3,300	3,300	100%	9,932
山口	大粒	サチユタカ	特定加工用以上	500	500	100%	9,600
福岡	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	15,833	15,833	100%	11,652
佐賀	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	20,783	20,783	100%	11,593
熊本	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	4,133	4,133	100%	11,160
全 国				278,517	260,367	93%	9,657

注1：北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を〔 〕内に示し、その実績を内数として示している。

注2：落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

その他-8

大粒	とよまさり
大粒	[とよまさり]
大粒	[とよまさりトヨムスメ]

<参考2> 令和3年産大豆の収穫後入札結果（産地品種銘柄別、年産累計）

- 令和3年産国産大豆の収穫量は246,500トン（「作物統計」（農林水産省統計部公表））で、前年産と比べ27,600トン増加。
- 令和3年産大豆の平均落札価格は9,709円/60kgとなった（令和2年産11,295円/60kg）。

（北海道～栃木県）

（単位：俵、円/60kg（税抜き））

産地	粒別	品種銘柄	上場数量			落札数量			落札率	落札価格		
			普通大豆	特定加工用大豆	合計	普通大豆	特定加工用大豆	合計		普通大豆	特定加工用大豆	合計
北海道	大粒	音更大袖振	4,290		4,290	660		660	15%	9,190		9,190
	大粒	とよまさり	107,225	18,018	125,243	100,361	14,520	114,881	92%	10,809	9,317	10,621
	大粒	【とよまさりトヨムスメ】	13,035	2,145	15,180	7,260	990	8,250	54%	10,356	9,912	10,303
	大粒	【とよまさりユキホマレ】	78,849	13,398	92,247	77,925	11,385	89,310	97%	10,866	9,256	10,660
	大粒	【とよまさりとよみづき】	8,775	660	9,435	8,610	330	8,940	95%	11,072	10,300	11,044
	大粒	【とよまさりとよまどか】	6,566	1,815	8,381	6,566	1,815	8,381	100%	10,294	9,197	10,057
	中粒	とよまさり	52,785	22,473	75,258	52,125	17,820	69,945	93%	9,853	8,736	9,568
	中粒	【とよまさりトヨムスメ】	1,155		1,155	495		495	43%	9,720		9,720
	中粒	【とよまさりユキホマレ】	31,301	19,833	51,134	31,301	16,005	47,306	93%	9,532	8,751	9,268
	中粒	【とよまさりとよみづき】	17,490	1,650	19,140	17,490	825	18,315	96%	10,508	9,150	10,447
	中粒	【とよまさりとよまどか】	2,839	990	3,829	2,839	990	3,829	100%	9,374	8,140	9,055
	小粒	とよまさり	3,960	4,785	8,745	3,630	4,125	7,755	89%	7,880	8,195	8,047
	小粒	【とよまさりユキホマレ】	3,960	4,455	8,415	3,630	3,960	7,590	90%	7,880	8,253	8,075
	小粒	【とよまさりとよみづき】		165	165							
	小粒	【とよまさりとよまどか】		165	165		165	165	100%		6,800	6,800
	中粒	ハヤヒカリ	3,135		3,135	3,135		3,135	100%	9,059		9,059
	小粒	スズマル	11,880	330	12,210	2,640		2,640	22%	8,656		8,656
小粒	ユキシズカ	71,670	1,320	72,990	30,255		30,255	41%	8,218		8,218	
極小粒	ユキシズカ	105		105	105		105	100%	8,770		8,770	
青森	大粒	おおすず	15,840	7,590	23,430	11,880	7,425	19,305	82%	9,009	8,317	8,743
	中粒	おおすず	2,145	1,485	3,630	1,815	1,320	3,135	86%	8,199	8,129	8,169
	小粒	おおすず		984	984		984	984	100%		7,052	7,052
岩手	大粒	リュウホウ	12,540	1,155	13,695	11,055	1,155	12,210	89%	8,788	8,316	8,744
	中粒	リュウホウ	330		330	330		330	100%	8,960		8,960
	小粒	リュウホウ		386	386							
	大粒	シュウリュウ	4,008	165	4,173	3,678		3,678	88%	9,126		9,126
宮城	大粒	ミヤギシロメ	22,440	825	23,265	18,480	825	19,305	83%	9,552	8,590	9,511
	中粒	ミヤギシロメ	13,365	3,569	16,934	12,045	2,310	14,355	85%	9,259	8,374	9,117
	大粒	タンレイ	11,550	2,805	14,355	10,890	2,640	13,530	94%	9,008	8,595	8,928
	中粒	タンレイ	3,022	1,320	4,342	1,980	1,155	3,135	72%	8,714	8,323	8,570
	大粒	タチナガハ	22,946	1,024	23,970	22,286	330	22,616	94%	8,821	8,035	8,809
	中粒	タチナガハ	232		232							
	小粒	タチナガハ	165	165	330	165	165	330	100%	7,180	6,800	6,990
秋田	大粒	リュウホウ	40,095	3,804	43,899	29,370	3,804	33,174	76%	9,068	8,776	9,035
	中粒	リュウホウ	1,155	990	2,145	825	825	1,650	77%	9,734	9,680	9,707
	小粒	リュウホウ		1,155	1,155		1,155	1,155	100%		7,541	7,541
山形	大粒	里のほほえみ	9,746	4,459	14,205	8,921	4,129	13,050	92%	9,612	8,808	9,357
	中粒	里のほほえみ	332		332							
	大粒	リュウホウ	1,543		1,543	883		883	57%	9,585		9,585
	中粒	リュウホウ	1,213		1,213	660		660	54%	8,695		8,695
	小粒	リュウホウ		165	165		165	165	100%		7,520	7,520
	大粒	エンレイ	2,642	210	2,852	2,642	165	2,807	98%	9,594	9,160	9,568
	中粒	エンレイ	1,155	2,433	3,588	1,155	2,313	3,468	97%	8,690	9,071	8,944
小粒	エンレイ		660	660		660	660	100%		8,163	8,163	
福島	大粒	里のほほえみ	2,970	495	3,465	165		165	5%	8,000		8,000
茨城	大粒	里のほほえみ	6,637	825	7,462	5,953	660	6,613	89%	9,599	8,673	9,507
	中粒	里のほほえみ	660	495	1,155	660	495	1,155	100%	8,920	8,490	8,736
	小粒	納豆小粒	1,674		1,674	849		849	51%	9,455		9,455
	極小粒	納豆小粒	1,497	342	1,839	1,002	177	1,179	64%	9,395	8,500	9,261
	(小粒)	その他	495		495							
栃木	大粒	里のほほえみ	5,115	4,125	9,240	4,950	3,465	8,415	91%	9,338	8,686	9,070
	中粒	里のほほえみ	495	825	1,320	495	825	1,320	100%	8,460	7,954	8,144
	小粒	里のほほえみ		342	342							

注1：北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を〔 〕内に示し、その実績を内数として示している。

注2：落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

大粒	とよまさり
大粒	【とよまさり】
大粒	【とよまさりトヨムスメ】

(群馬県以南)

(単位:俵、円/60kg(税抜き))

産地	粒別	品種銘柄	上場数量			落札数量			落札率	落札価格		
			普通大豆	特定加工用大豆	合計	普通大豆	特定加工用大豆	合計		普通大豆	特定加工用大豆	合計
群馬	大粒	里のほほえみ	673		673	433		433	64%	8,170		8,170
	中粒	里のほほえみ	12	61	72	10		10	13%	7,980		7,980
	小粒	里のほほえみ		1	1							
	大粒	ハタユタカ	13	44	57	9		9	15%	7,880		7,880
	中粒	ハタユタカ	127	46	173	44		44	25%	7,965		7,965
	小粒	ハタユタカ	1	14	14	1		1	4%	7,980		7,980
新潟	大粒	里のほほえみ	11,598	4,620	16,218	11,598	4,620	16,218	100%	9,565	9,527	9,554
	中粒	里のほほえみ		1,320	1,320		1,320	1,320	100%		8,943	8,943
	大粒	エンレイ	495	6,435	6,930	495	4,785	5,280	76%	10,507	10,419	10,427
	中粒	エンレイ		1,980	1,980		1,650	1,650	83%		9,352	9,352
	小粒	エンレイ		165	165							
富山	大粒	エンレイ	825	7,920	8,745	825	7,920	8,745	100%	10,340	10,170	10,186
	中粒	エンレイ		165	165		165	165	100%		10,980	10,980
	大粒	シュウレイ		1,480	1,480		1,480	1,480	100%		9,628	9,628
	中粒	シュウレイ		165	165		165	165	100%		8,500	8,500
石川	大粒	里のほほえみ	530	6,039	6,569	165	5,683	5,848	89%	9,210	9,169	9,171
	中粒	里のほほえみ	7	38	44		16	16	36%		7,850	7,850
	小粒	里のほほえみ		3	3		3	3	100%		7,850	7,850
福井	大粒	里のほほえみ	1,650	990	2,640	1,650	990	2,640	100%	10,081	10,073	10,078
	中粒	里のほほえみ		330	330		330	330	100%		9,870	9,870
長野	大粒	ナカセンナリ	495		495	330		330	67%	8,805		8,805
	中粒	ナカセンナリ	4,620	165	4,785	3,960	165	4,125	86%	9,556	8,900	9,530
	小粒	ナカセンナリ	1,320	495	1,815	330		330	18%	8,110		8,110
岐阜	大粒	フクユタカ	5,514	28	5,541	5,514	28	5,541	100%	11,484	8,130	11,467
	中粒	フクユタカ	989	145	1,133	989	145	1,133	100%	11,626	8,775	11,262
	小粒	フクユタカ	1,418	653	2,071	1,418	653	2,071	100%	9,332	8,879	9,189
愛知	大粒	フクユタカ	11,284	1,075	12,359	9,304	1,075	10,379	84%	11,946	11,061	11,855
	中粒	フクユタカ	4,410	446	4,855	4,410	446	4,855	100%	11,566	11,181	11,531
	小粒	フクユタカ	642	3,595	4,237	642	3,595	4,237	100%	9,677	8,748	8,889
三重	大粒	フクユタカ	6,133	68	6,201	6,133	68	6,201	100%	9,968	8,062	9,947
	中粒	フクユタカ	2,850	258	3,108	2,850	258	3,108	100%	11,062	11,409	11,091
	小粒	フクユタカ	918	2,314	3,232	753	1,159	1,912	59%	8,124	8,151	8,141
滋賀	大粒	オオツル	3,960	394	4,354	3,300		3,300	76%	10,466		10,466
	中粒	オオツル	1,650	456	2,106	1,650		1,650	78%	10,436		10,436
	小粒	オオツル		141	141							
	大粒	ことゆたか	7,152	623	7,775	7,152	541	7,693	99%	9,630	9,978	9,654
	中粒	ことゆたか	406	624	1,029	406	406	811	79%	9,715	9,389	9,552
	小粒	ことゆたか	33	569	602	33	209	242	40%	8,030	8,030	8,030
	大粒	フクユタカ	3,518	182	3,700	2,858	182	3,040	82%	12,539	11,494	12,476
	中粒	フクユタカ	3,630	192	3,822	3,465	192	3,657	96%	11,150	10,821	11,133
小粒	フクユタカ	112	2,102	2,214	112	2,102	2,214	100%	8,010	8,395	8,376	
山口	大粒	サチユタカ	1,485	1,061	2,546	1,485	1,061	2,546	100%	11,228	10,678	10,999
	中粒	サチユタカ	165	339	504	165	339	504	100%	11,230	9,260	9,906
	小粒	サチユタカ		87	87		87	87	100%		9,339	9,339
熊本	大粒	フクユタカ	3,584	188	3,772	3,584	188	3,772	100%	13,344	14,341	13,394
	中粒	フクユタカ	2,634	985	3,619	2,634	985	3,619	100%	12,800	13,204	12,910
	小粒	フクユタカ		1,379	1,379		1,379	1,379	100%		12,329	12,329
大分	大粒	フクユタカ	2,032	1	2,032	2,032	1	2,032	100%	13,172	12,220	13,172
	中粒	フクユタカ	1,785	839	2,623	1,785	839	2,623	100%	12,422	13,318	12,708
	小粒	フクユタカ		332	332		332	332	100%		12,657	12,657
全 国			529,720	141,266	670,986	428,562	119,167	547,728	82%	9,864	9,152	9,709

注1:北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を [ ] 内に示し、その実績を内数として示している。

注2:落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

大粒	とよまさり
大粒	[とよまさり]
大粒	[とよまさりとヨムスメ]

# (4) 野菜等の需給情報

- 農林水産省は、我が国の主要な野菜について需要に即した生産を図るため、毎年、次期作の夏秋野菜及び冬春野菜の需要量、供給量、作付面積に関するガイドラインを策定しています。
- 全国出荷団体等は、このガイドラインを踏まえ供給計画を策定し、この計画に即した野菜の出荷に努めることとしています。

## I. 令和4年度 冬春野菜等の需給ガイドライン

### 1. 需要量

種別	主な出荷時期	需要量(トン)	(参考) 前年産実績(トン)
冬キャベツ	令和4年11月から5年3月まで	421,300	425,333
春キャベツ	5年4月から6月まで	258,600	265,653
冬春きゅうり	4年12月から5年6月まで	276,500	277,670
秋冬だいこん	4年10月から5年3月まで	699,900	697,358
春だいこん	5年4月から6月まで	173,900	173,921
たまねぎ	5年4月から6年3月まで	1,329,500	1,234,695
うち北海道産		774,200	692,324
うち都府県産		555,300	542,371
冬春トマト	4年12月から5年6月まで	326,700	332,656
うち大玉トマト		243,800	245,619
うちミニトマト		82,900	87,037
冬春なす	4年12月から5年6月まで	101,500	100,451
冬にんじん	4年11月から5年3月まで	299,200	295,850
春夏にんじん	5年4月から7月まで	242,000	243,764
春ねぎ	5年4月から6月まで	61,900	58,795
夏ねぎ	5年7月から9月まで	70,000	69,383
秋冬はくさい	4年10月から5年3月まで	464,100	489,482
春はくさい	5年4月から6月まで	92,900	95,193
ばれいしょ	5年4月から6年3月まで	1,787,000	1,747,916
冬春ピーマン	4年11月から5年5月まで	77,900	75,669
ほうれんそう	5年4月から6年3月まで	231,700	228,387
冬レタス	4年11月から5年3月まで	149,200	151,417
春レタス	5年4月から5月まで	93,200	91,544

(注1)ミニトマトの需給ガイドラインには、「ミディトマト」を含む(以下同じ)。

(注2)需要量は、過去10か年(平成23年～令和2年。最新のデータが令和3年の場合は平成24年～令和3年。以下同じ。)の一人当たり需要量の推移から、回帰式により推計年次の一人当たり需要量を推計し、これに当該年次の推計人口を乗ずることにより、上表の程度と推計。需要量は純食料(人間の消費に直接利用可能な食料の形態)ベースで推計。

### 2. 国内産供給量

種別	国内産供給量 (収穫量)(トン)	(参考) 前年産実績
冬キャベツ	591,600	598,800
春キャベツ	361,800	372,500
冬春きゅうり	288,700	289,700
秋冬だいこん	816,500	843,500
春だいこん	200,300	200,500
たまねぎ	1,191,000	1,093,000
うち北海道産	754,400	662,800
うち都府県産	436,600	430,200
冬春トマト	387,200	394,900
うち大玉トマト	290,000	292,500
うちミニトマト	97,200	102,400
冬春なす	115,100	114,500
冬にんじん	228,700	230,500
春夏にんじん	159,400	164,800
春ねぎ	77,000	75,200
夏ねぎ	89,000	89,600
秋冬はくさい	579,500	612,000
春はくさい	115,400	118,800
ばれいしょ	1,160,300	1,149,679
冬春ピーマン	75,800	74,100
ほうれんそう	217,700	213,900
冬レタス	177,300	181,800
春レタス	114,300	112,400

(注) 1. で見込んだ需要量を歩留り率及び(1-減耗率)で除し、輸入動向を勘案して推計。

### 3. 作付面積

種別	作付面積 (ha)		
	令和4年度 ガイドライン	(参考) 令和3年度 ガイドライン	前年産実績
冬キャベツ	15,100	15,300	15,100
春キャベツ	8,800	8,800	8,900
冬春きゅうり	2,680	2,720	2,630
秋冬だいこん	19,800	20,400	19,900
春だいこん	4,230	4,350	4,200
たまねぎ	23,600	23,600	25,500
うち北海道産	12,800	12,800	14,600
うち都府県産	10,800	10,800	10,900
冬春トマト	3,790	3,740	3,840
うち大玉トマト	2,680	2,730	2,690
うちミニトマト	1,110	1,010	1,150
冬春なす	1,040	1,090	1,040
冬にんじん	7,540	7,670	7,540
春夏にんじん	4,160	4,320	4,100
春ねぎ	3,330	3,420	3,280
夏ねぎ	4,880	4,980	4,840
秋冬はくさい	12,300	12,400	12,500
春はくさい	1,800	1,800	1,830
ばれいしょ	74,800	77,200	71,900
冬春ピーマン	710	720	690
ほうれんそう	19,800	20,100	19,600
冬レタス	7,600	7,690	7,560
春レタス	4,080	4,120	4,010

(注) 2. で見込んだ国内産供給量を過去10か年の単収の推移から回帰式等により推計した単収で除して推計。

## II. 令和5年度 夏秋野菜等の需給ガイドライン

### 1. 需要量

種別	主な出荷時期	需要量(トン)	(参考) 令和3年産(トン)
夏秋キャベツ	令和5年7月から10月まで	349,800	369,185
夏秋きゅうり	5年7月から11月まで	238,100	247,122
秋冬さといも	5年6月から6年3月まで	141,300	145,806
夏だいこん	5年7月から9月まで	202,900	192,885
夏秋トマト	5年7月から11月まで	250,200	258,777
うち大玉トマト		200,200	208,706
うちミニトマト※		50,000	50,071
夏秋なす	5年7月から11月まで	152,100	159,005
秋にんじん	5年8月から10月まで	243,400	265,787
秋冬ねぎ	5年10月から6年3月まで	210,100	204,167
夏はくさい	5年7月から9月まで	134,400	133,855
夏秋ピーマン	5年6月から10月まで	64,800	67,329
夏秋レタス	5年6月から10月まで	209,100	204,340

(注1) ミニトマトの需給ガイドラインには、「ミディトマト」を含む。

(注2) 需要量は、過去10か年(平成24年～令和3年。以下同じ。)の一人当たり需要量の推移から、回帰式により推計年次の一人当たり需要量を推計し、これに当該年次の推計人口を乗ずることにより、下表の程度と推計。なお、需要量は純食料(人間の消費に直接利用可能な食料の形態)ペースで推計。

### 2. 国内産供給量

種別	国内産供給量 (収穫量)(トン)	(参考) 令和3年産(トン)
夏秋キャベツ	485,300	516,800
夏秋きゅうり	252,500	261,500
秋冬さといも	142,900	142,700
夏だいこん	236,000	223,800
夏秋トマト	295,200	306,100
うち大玉トマト	236,200	246,900
うちミニトマト	59,000	59,200
夏秋なす	175,200	183,200
秋にんじん	202,000	222,000
秋冬ねぎ	285,100	275,600
夏はくさい	167,500	166,900
夏秋ピーマン	65,400	68,800
夏秋レタス	255,200	249,400

(注) 1. で見込んだ需要量を歩留り率及び(1-減耗率)で除し、輸入動向を勘案して推計。

### 3. 作付面積

種別	作付面積 (ha)	
	令和5年度 ガイドライン	(参考) 令和4年度ガイドライン
夏秋キャベツ	10,000	10,100
夏秋きゅうり	7,380	7,620
秋冬さといも	11,100	11,200
夏だいこん	5,630	5,930
夏秋トマト	7,230	7,390
うち大玉トマト	5,680	5,850
うちミニトマト	1,550	1,540
夏秋なす	7,280	7,670
秋にんじん	5,250	5,400
秋冬ねぎ	14,100	14,100
夏はくさい	2,320	2,390
夏秋ピーマン	2,230	2,190
夏秋レタス	8,450	8,890

(注) 2. で見込んだ国内産供給量を過去10か年の単収の推移から回帰式により推計した単収で除して推計。

### Ⅲ. 今後の生育、出荷及び価格見通し(令和5年1月)について

品目	主産地( )書きは 令和4年1月の 入荷シェア	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年(直近5か年平均)比)	
			1月前半	1月後半
だいこん	千葉(47%) 神奈川(44%)	主産地において、生育が順調であり、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
にんじん	千葉(80%)	主産地において、生育が順調であり、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
はくさい	茨城(87%)	主産地において、生育が順調であり、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
キャベツ	愛知(64%) 千葉(21%)	主産地において、11月から12月上旬にかけての好天により生育が良好であり、1月の出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込み。	安値水準 で推移	安値水準 で推移
ほうれんそう	群馬(36%) 茨城(33%) 埼玉(11%)	主産地において、生育が順調であり、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
ねぎ	千葉(28%) 茨城(20%) 埼玉(19%)	主産地において、生育が順調であり、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
レタス	静岡(33%) 長崎(17%) 香川(12%)	一部主産地において、低温の影響により小玉傾向であるが、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移

注:「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。

### Ⅲ. 今後の生育、出荷及び価格見通し(令和5年1月)について

品目	主産地( )書きは 令和4年1月の 入荷シェア	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年(直近5か年平均)比)	
			1月前半	1月後半
きゅうり	宮崎(43%) 千葉(18%) 高知(15%)	主産地において、生育が順調であり、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
なす	高知(65%) 福岡(16%) 熊本(12%)	主産地において、11月の好天により生育が良好であり、1月の出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込み。	安値水準 で推移	安値水準 で推移
トマト	熊本(41%) 栃木(20%) 愛知(14%)	主産地において、生育が順調であり、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
ピーマン	宮崎(47%) 高知(17%) 鹿児島(16%)	一部主産地において、11月下旬の降雨や低温等の影響により、生育が遅延傾向にあるものの、大幅な出荷量の減少は見込まれず、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
ばれいしょ	北海道(67%) 鹿児島(20%) 長崎(14%)	北海道産は収穫及び貯蔵が完了。他の主産地についても、9月から10月にかけての高温・干ばつ等の影響により生育が遅延傾向にあるものの、大幅な出荷量の減少は見込まれないため、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
さといも	埼玉(59%) 愛媛(13%)	主産地において、生育が順調であり、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
たまねぎ	北海道(84%) 静岡(10%)	北海道産は収穫及び貯蔵が完了。他の主産地についても、生育が順調であり、1月の出荷数量・価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移

注:「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。



## (5) 令和4年産水稻の収穫量

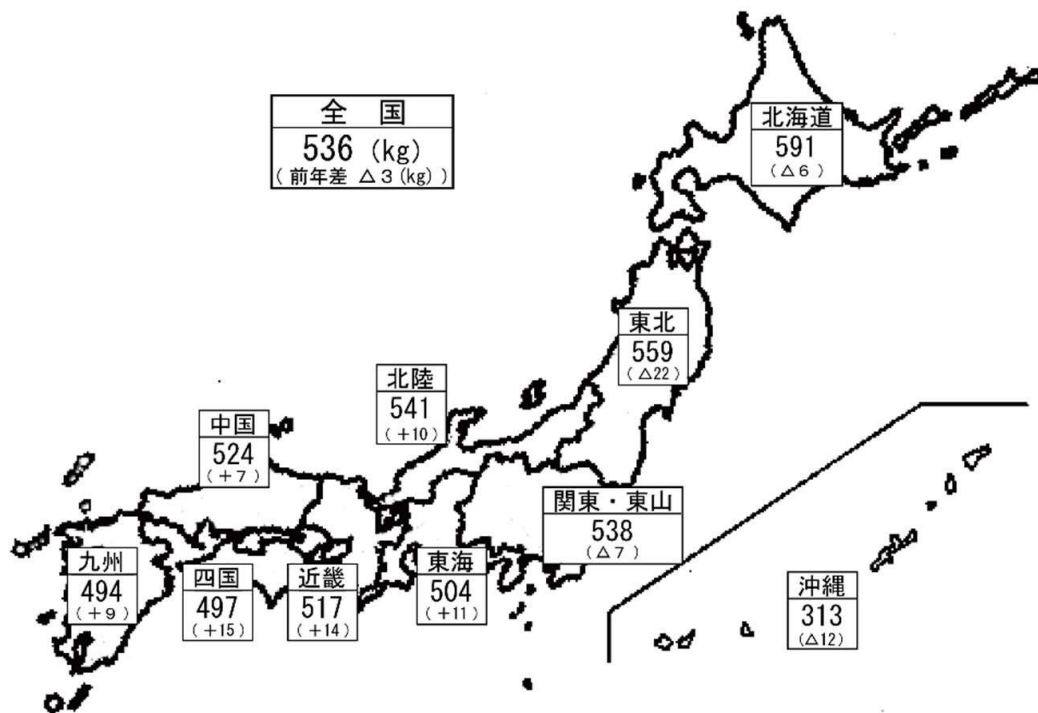
令和4年12月9日公表

### 作物統計調査 令和4年産水陸稲の収穫量 — 水稻の収穫量(主食用)は670万1,000t —

#### 【調査結果の概要】

- 1 令和4年産水稻の作付面積(子実用)は135万5,000haで、前年産に比べ4万8,000ha減少した。うち主食用作付面積は125万1,000haで、前年産に比べ5万2,000ha減少した。
- 2 全国の10a当たり予想収量は536kgが見込まれる。
- 3 以上の結果、収穫量(子実用)は726万9,000tで、前年産に比べ29万4,000tの減少が見込まれる。このうち、主食用の収穫量は670万1,000tで、前年産に比べ30万6,000tの減少が見込まれる。
- 4 なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は100となる見込み。
- 5 令和4年産陸稲の作付面積(子実用)は468haで、10a当たり収量は216kgとなり、収穫量(子実用)は1,010tとなった。

図1 水稻の全国農業地域別 10a当たり収量



- 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a当たり収量及び収穫量は、1.70 mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

○ 令和4年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量の  
本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/index.html#y5](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5) 】

## 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合 45%）以上に相当するよう、ふるい目幅 1.70mm以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表1 ふるい目幅別重量分布状況の推移(全国)

		単位：%					
年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成29年産	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
令和元	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
3	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
4 (概数値)	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
平均 値	100.0	0.8	1.5	2.0	2.9	15.6	77.2
対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.7	0.7

注：平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

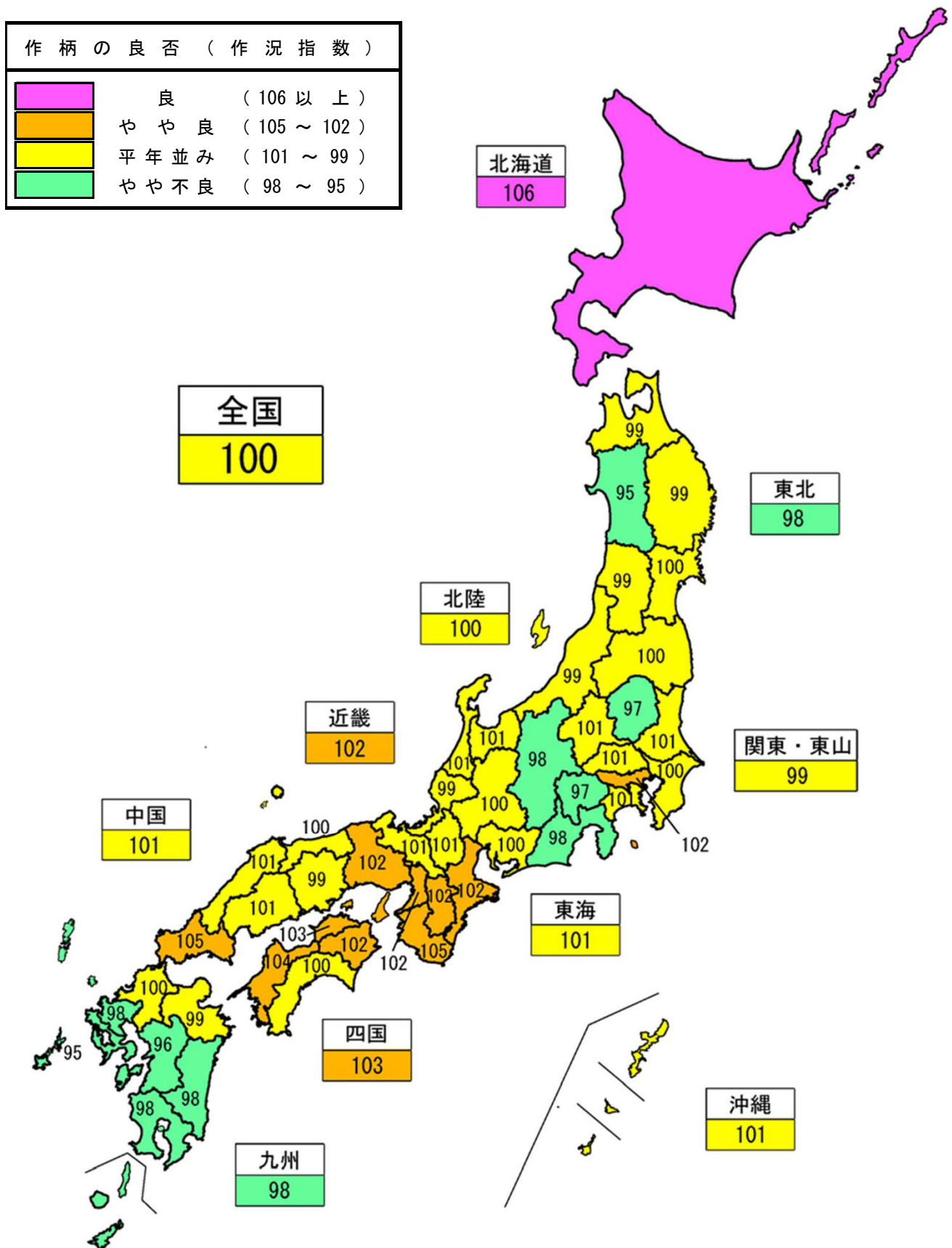
表2 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量(子実用)の推移(全国)

年 産	単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上	
		平成29年産	10a 当たり収量	kg	534	529	521	510
	収穫量	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30	10a 当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
令和元	10a 当たり収量	kg	528	524	517	507	492	411
	収穫量	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2	10a 当たり収量	kg	531	527	520	510	494	418
	収穫量	t	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
3	10a 当たり収量	kg	539	535	527	517	502	423
	収穫量	t	7,563,000	7,502,000	7,397,000	7,260,000	7,049,000	5,937,000
4 (概数値)	10a 当たり収量	kg	536	531	523	513	497	418
	収穫量	t	7,269,000	7,204,000	7,095,000	6,956,000	6,746,000	5,663,000
	対前年比(収穫量)	%	96	96	96	96	96	95

注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり(予想)収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、全国の(予想)収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数



注：1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。  
 2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

表3 令和4年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 農 業 地 域	作付面積（子実用）			10 a 当たり収量		収穫量（子実用）			主食用 作付面積 ④	収穫量 （主食用） ⑤=④×②	作況指数
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産 との比較 対差	実 数 ③=①×②	前年産との比較				
		対差	対比				対差	対比			
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%			
全 国	1,355,000	△ 48,000	97	536	△ 3	7,269,000	△ 294,000	96	1,251,000	6,701,000	100
北 海 道	93,600	△ 2,500	97	591	△ 6	553,200	△ 20,500	96	82,500	487,600	106
東 北	348,300	△ 14,700	96	559	△ 22	1,948,000	△ 162,000	92	308,200	1,723,000	98
北 陸	198,200	△ 3,600	98	541	10	1,072,000	0	100	173,500	938,800	100
関東・東山	240,100	△ 13,000	95	538	△ 7	1,291,000	△ 89,000	94	227,200	1,223,000	99
東 海	87,100	△ 2,500	97	504	11	438,800	△ 2,900	99	85,300	429,900	101
近 畿	96,400	△ 2,900	97	517	14	498,400	△ 1,300	100	92,800	479,500	102
中 国	95,800	△ 3,000	97	524	7	501,600	△ 9,400	98	92,800	486,400	101
四 国	44,600	△ 1,300	97	497	15	221,600	200	100	44,000	218,400	103
九 州	150,100	△ 5,000	97	494	9	741,300	△ 10,700	99	144,400	713,200	98
沖 縄	639	△ 27	96	313	△ 12	2,000	△ 160	93	604	1,890	101

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。  
 2 10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。  
 3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。  
 4 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。  
 5 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

# 令和4年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 ・ 都道府県	作付面積（子実用）			10 a 当たり 収 量 ②	農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数 ①	前年産との比較			最も多い 使用割合 の 目 幅 ③	10 a 当たり 収 量 ④	10 a 当たり 平年収量 ⑤	作況指数 ⑥=④/⑤
		対差	対比					
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,355,000	△ 48,000	97	536	…	512	512	100
北 海 道 (2)	93,600	△ 2,500	97	591	1.90	563	530	106
青 森 (3)	39,600	△ 2,100	95	594	1.90	567	575	99
岩 手 (4)	46,100	△ 2,300	95	537	1.90	508	514	99
宮 城 (5)	60,800	△ 3,800	94	537	1.90	511	512	100
秋 田 (6)	82,400	△ 2,400	97	554	1.90	517	543	95
山 形 (7)	61,500	△ 1,400	98	594	1.90	560	566	99
福 島 (8)	57,800	△ 2,700	96	549	1.85	530	532	100
茨 城 (9)	60,000	△ 3,500	94	532	1.85	509	505	101
栃 木 (10)	50,800	△ 4,000	93	532	1.85	497	515	97
群 馬 (11)	14,400	△ 500	97	502	1.80	486	482	101
埼 玉 (12)	28,600	△ 1,400	95	498	1.80	484	479	101
千 葉 (13)	47,700	△ 2,900	94	544	1.80	535	533	100
東 京 (14)	115	△ 5	96	421	1.80	412	403	102
神 奈 川 (15)	2,880	△ 40	99	501	1.80	481	476	101
新 潟 (16)	116,000	△ 1,200	99	544	1.85	525	528	99
富 山 (17)	35,500	△ 800	98	556	1.90	523	520	101
石 川 (18)	23,100	△ 700	97	532	1.85	515	509	101
福 井 (19)	23,500	△ 1,000	96	515	1.90	481	484	99
山 梨 (20)	4,790	△ 60	99	532	1.80	518	532	97
長 野 (21)	30,800	△ 700	98	608	1.85	589	599	98
岐 阜 (22)	20,700	△ 900	96	487	1.80	477	475	100
静 岡 (23)	15,000	△ 300	98	509	1.80	501	511	98
愛 知 (24)	25,900	△ 500	98	505	1.85	488	490	100
三 重 (25)	25,600	△ 700	97	511	1.85	489	478	102
滋 賀 (26)	29,000	△ 1,100	96	523	1.90	487	483	101
京 都 (27)	14,000	△ 200	99	514	1.85	497	492	101
大 阪 (28)	4,540	△ 80	98	503	1.80	489	478	102
兵 庫 (29)	34,500	△ 1,300	96	513	1.85	487	477	102
奈 良 (30)	8,410	△ 30	100	522	1.80	512	500	102
和 歌 山 (31)	5,980	△ 120	98	519	1.80	511	485	105
鳥 取 (32)	12,100	△ 500	96	514	1.85	494	495	100
島 根 (33)	16,400	△ 400	98	519	1.90	485	482	101
岡 山 (34)	28,100	△ 700	98	524	1.85	496	500	99
広 島 (35)	21,600	△ 600	97	530	1.85	511	508	101
山 口 (36)	17,600	△ 800	96	526	1.85	502	480	105
徳 島 (37)	9,910	△ 390	96	480	1.80	469	462	102
早期栽培 (38)	3,780	△ 150	96	473	1.80	463	453	102
普通栽培 (39)	6,120	△ 280	96	485	1.80	473	467	101
香 川 (40)	10,900	△ 400	96	511	1.80	493	478	103
愛 媛 (41)	13,100	△ 100	99	524	1.85	489	468	104
高 知 (42)	10,800	△ 200	98	460	1.80	447	446	100
早期栽培 (43)	6,010	△ 180	97	488	1.80	476	471	101
普通栽培 (44)	4,750	△ 100	98	425	1.80	412	414	100
福 岡 (45)	33,400	△ 1,200	97	491	1.85	456	456	100
佐 賀 (46)	22,800	△ 500	98	514	1.85	479	487	98
長 崎 (47)	10,400	△ 400	96	470	1.80	442	466	95
熊 本 (48)	31,300	△ 1,000	97	501	1.85	461	479	96
大 分 (49)	18,900	△ 700	96	493	1.80	470	476	99
宮 崎 (50)	15,400	△ 500	97	488	1.80	474	482	98
早期栽培 (51)	5,740	△ 330	95	502	1.80	490	470	104
普通栽培 (52)	9,620	△ 180	98	480	1.80	465	490	95
鹿 児 島 (53)	18,000	△ 600	97	478	1.80	460	470	98
早期栽培 (54)	4,250	△ 130	97	465	1.80	453	448	101
普通栽培 (55)	13,800	△ 400	97	482	1.80	463	477	97
沖 縄 (56)	639	△ 27	96	313	1.80	305	301	101
第一期稲 (57)	471	△ 10	98	343	1.80	337	357	94
第二期稲 (58)	168	△ 17	91	230	1.80	211	155	136

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。  
 2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。  
 3 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については、都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

収穫量（子実用）			主食用 作付面積 ⑧	収穫量 （主食用） ⑨=⑧×②	
実数 ⑦=①×②	前年産との比較				
	対差	対比			
t	t	%	ha	t	
7,269,000	△ 294,000	96	1,251,000	6,701,000	(1)
553,200	△ 20,500	96	82,500	487,600	(2)
235,200	△ 21,700	92	33,900	201,400	(3)
247,600	△ 21,000	92	43,700	234,700	(4)
326,500	△ 26,900	92	57,000	306,100	(5)
456,500	△ 44,700	91	69,100	382,800	(6)
365,300	△ 28,500	93	52,700	313,000	(7)
317,300	△ 18,500	94	51,900	284,900	(8)
319,200	△ 25,600	93	58,300	310,200	(9)
270,300	△ 30,600	90	46,100	245,300	(10)
72,300	△ 1,000	99	12,400	62,200	(11)
142,400	△ 10,000	93	27,400	136,500	(12)
259,500	△ 18,300	93	45,500	247,500	(13)
484	△ 2	100	115	484	(14)
14,400	0	100	2,880	14,400	(15)
631,000	11,000	102	99,900	543,500	(16)
197,400	△ 2,600	99	31,300	174,000	(17)
122,900	△ 2,500	98	20,700	110,100	(18)
121,000	△ 5,200	96	21,600	111,200	(19)
25,500	△ 300	99	4,690	25,000	(20)
187,300	△ 2,600	99	29,800	181,200	(21)
100,800	△ 2,400	98	20,000	97,400	(22)
76,400	△ 1,000	99	15,000	76,400	(23)
130,800	△ 100	100	25,200	127,300	(24)
130,800	600	100	25,200	128,800	(25)
151,700	△ 4,500	97	27,700	144,900	(26)
72,000	400	101	13,400	68,900	(27)
22,800	200	101	4,540	22,800	(28)
177,000	1,200	101	32,800	168,300	(29)
43,900	700	102	8,350	43,600	(30)
31,000	700	102	5,980	31,000	(31)
62,200	△ 1,400	98	12,000	61,700	(32)
85,100	△ 2,400	97	16,100	83,600	(33)
147,200	△ 3,700	98	27,100	142,000	(34)
114,500	△ 1,400	99	21,100	111,800	(35)
92,600	△ 500	99	16,600	87,300	(36)
47,600	△ 300	99	9,640	46,300	(37)
17,900	0	100	...	...	(38)
29,700	△ 500	98	...	...	(39)
55,700	△ 900	98	10,800	55,200	(40)
68,600	1,300	102	13,000	68,100	(41)
49,700	100	100	10,600	48,800	(42)
29,300	△ 100	100	...	...	(43)
20,200	△ 200	99	...	...	(44)
164,000	300	100	32,800	161,000	(45)
117,200	△ 1,600	99	22,300	114,600	(46)
48,900	△ 1,900	96	10,400	48,900	(47)
156,800	500	100	30,200	151,300	(48)
93,200	△ 2,300	98	18,800	92,700	(49)
75,200	△ 2,600	97	13,400	65,400	(50)
28,800	△ 400	99	...	...	(51)
46,200	△ 2,300	95	...	...	(52)
86,000	△ 3,100	97	16,600	79,300	(53)
19,800	△ 400	98	...	...	(54)
66,500	△ 2,400	97	...	...	(55)
2,000	△ 160	93	604	1,890	(56)
1,620	△ 90	95	...	...	(57)
386	△ 73	84	...	...	(58)

4 ④10a当たり収量、⑤10a当たり平年収量及び⑥作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

# (6) 年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移

平成29～令和元年産

全 都 道 府 県	主食用作付面積			収穫量（主食用）			作況指数			
	29	30	元	29	30	元	29	30	元	
	ha	ha	ha	t	t	t				
全 国 (1)	1,370,000	1,386,000	1,379,000	7,306,000	7,327,000	7,261,000	100	98	99	(1)
北 海 道 (2)	98,600	98,900	97,000	552,200	489,600	553,900	103	90	104	(2)
青 森 (3)	38,000	39,600	39,200	226,500	236,000	245,800	101	101	106	(3)
岩 手 (4)	47,000	48,800	48,300	250,500	265,000	267,600	98	101	103	(4)
宮 城 (5)	63,500	64,500	64,800	339,700	355,400	357,000	99	101	102	(5)
秋 田 (6)	69,500	75,000	74,900	398,900	420,000	449,400	99	96	104	(6)
山 形 (7)	56,400	56,400	56,900	337,300	327,100	356,800	100	96	105	(7)
福 島 (8)	59,900	61,200	60,400	328,900	343,300	338,200	100	101	102	(8)
茨 城 (9)	66,400	66,800	66,400	348,600	350,000	334,700	99	99	96	(9)
栃 木 (10)	53,600	54,700	54,900	273,400	300,900	288,800	93	102	97	(10)
群 馬 (11)	13,900	13,700	13,600	69,400	69,300	66,100	101	102	98	(11)
埼 玉 (12)	30,700	30,800	30,900	151,700	150,000	148,900	101	99	98	(12)
千 葉 (13)	53,300	53,900	53,700	289,400	292,100	277,100	100	99	95	(13)
東 京 (14)	141	133	129	580	555	519	99	101	97	(14)
神 奈 川 (15)	3,090	3,080	3,040	15,700	15,200	14,300	102	98	95	(15)
新 潟 (16)	100,300	104,700	106,800	527,600	556,000	578,900	96	95	100	(16)
富 山 (17)	33,300	33,300	33,300	181,800	183,800	184,100	100	102	102	(17)
石 川 (18)	23,200	23,200	22,700	120,400	120,400	120,800	99	100	102	(18)
福 井 (19)	23,300	23,600	23,600	122,300	125,100	122,700	101	101	100	(19)
山 梨 (20)	4,880	4,820	4,810	26,800	26,100	26,000	100	99	99	(20)
長 野 (21)	31,300	31,300	30,900	196,900	193,400	191,600	101	100	100	(21)
岐 阜 (22)	21,500	21,500	21,400	104,900	102,800	103,100	100	97	99	(22)
静 岡 (23)	15,600	15,700	15,600	80,300	79,400	80,700	99	97	99	(23)
愛 知 (24)	26,600	26,700	26,600	136,200	133,200	132,700	101	98	98	(24)
三 重 (25)	26,800	27,100	26,900	128,600	135,200	128,300	95	100	95	(25)
滋 賀 (26)	30,000	30,100	30,200	155,100	154,100	153,700	100	99	98	(26)
京 都 (27)	14,100	13,900	13,800	71,900	69,800	69,700	100	98	99	(27)
大 阪 (28)	5,150	5,000	4,850	26,100	24,700	24,300	102	99	101	(28)
兵 庫 (29)	35,100	35,500	35,300	175,900	174,700	175,400	100	98	99	(29)
奈 良 (30)	8,580	8,530	8,450	44,700	43,800	43,500	102	100	100	(30)
和 歌 山 (31)	6,560	6,430	6,360	33,300	31,600	31,400	102	99	99	(31)
鳥 取 (32)	12,400	12,700	12,600	64,500	63,200	64,800	101	97	100	(32)
島 根 (33)	17,200	17,200	16,900	89,300	90,100	85,500	102	103	99	(33)
岡 山 (34)	29,100	29,400	29,300	158,300	152,000	151,500	103	98	98	(34)
広 島 (35)	23,100	22,900	22,200	123,400	120,200	110,800	102	101	95	(35)
山 口 (36)	19,300	18,900	18,400	100,600	98,700	87,200	103	104	94	(36)
徳 島 (37)	11,300	11,200	11,000	54,200	52,600	51,000	101	99	98	(37)
香 川 (38)	12,800	12,500	12,000	62,000	59,900	56,500	98	96	95	(38)
愛 媛 (39)	13,900	13,900	13,500	70,600	69,200	63,500	102	100	94	(39)
高 知 (40)	11,500	11,400	11,300	54,200	50,300	47,500	103	96	91	(40)
福 岡 (41)	35,100	34,900	34,500	178,700	180,800	156,600	102	104	91	(41)
佐 賀 (42)	24,400	24,000	23,700	129,600	127,700	70,600	102	102	58	(42)
長 崎 (43)	11,600	11,400	11,300	57,400	56,900	51,400	101	104	94	(43)
熊 本 (44)	32,200	32,300	32,300	169,700	170,900	156,000	102	103	94	(44)
大 分 (45)	20,900	20,600	20,400	105,800	103,200	88,700	101	100	85	(45)
宮 崎 (46)	15,000	14,700	14,600	74,900	72,500	67,900	101	100	94	(46)
鹿 児 島 (47)	19,600	18,300	18,300	95,300	88,000	83,100	100	100	94	(47)
沖 縄 (48)	727	716	665	2,190	2,200	1,960	97	99	96	(48)

- 注：1 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。  
 2 収穫量（主食用）については、都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。  
 3 作況指数は、10a当たり年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。  
 4 3年産まで確報値。4年産においては、12月9日公表の速報値。

# 令和2～令和4年産

全 都 道 府 県	主食用作付面積			収穫量（主食用）			作況指数			
	2	3	4	2	3	4	2	3	4	
全 国 (1)	1,366,000	1,303,000	1,251,000	7,226,000	7,007,000	6,701,000	99	101	100	(1)
北 海 道 (2)	95,300	88,400	82,500	553,700	527,700	487,600	106	108	106	(2)
青 森 (3)	38,300	34,200	33,900	240,500	210,700	201,400	105	102	99	(3)
岩 手 (4)	48,200	46,200	43,700	266,500	256,400	234,700	103	103	99	(4)
宮 城 (5)	64,500	61,000	57,000	356,000	333,700	306,100	102	101	100	(5)
秋 田 (6)	75,300	71,400	69,100	453,300	422,000	382,800	105	102	95	(6)
山 形 (7)	56,500	54,900	52,700	351,400	343,700	313,000	104	104	99	(7)
福 島 (8)	59,200	54,700	51,900	332,700	303,600	284,900	102	101	100	(8)
茨 城 (9)	65,500	61,400	58,300	347,800	333,400	310,200	103	103	101	(9)
栃 木 (10)	54,900	50,600	46,100	295,400	277,800	245,300	101	101	97	(10)
群 馬 (11)	13,600	13,000	12,400	67,500	64,000	62,200	100	99	101	(11)
埼 玉 (12)	30,600	28,800	27,400	151,800	146,300	136,500	102	103	101	(12)
千 葉 (13)	52,500	48,100	45,500	281,900	264,100	247,500	99	101	100	(13)
東 京 (14)	124	120	115	496	486	484	98	98	102	(14)
神 奈 川 (15)	2,990	2,920	2,880	14,200	14,400	14,400	97	99	101	(15)
新 潟 (16)	106,700	101,800	99,900	595,400	538,500	543,500	103	96	99	(16)
富 山 (17)	33,200	32,200	31,300	184,600	177,400	174,000	103	99	101	(17)
石 川 (18)	22,600	21,400	20,700	119,800	112,800	110,100	101	101	101	(18)
福 井 (19)	23,300	22,500	21,600	120,700	115,900	111,200	99	99	99	(19)
山 梨 (20)	4,800	4,760	4,690	25,400	25,300	25,000	97	97	97	(20)
長 野 (21)	30,700	30,400	29,800	186,000	183,300	181,200	99	97	98	(21)
岐 阜 (22)	21,400	20,700	20,000	100,600	98,900	97,400	96	98	100	(22)
静 岡 (23)	15,400	15,200	15,000	73,600	76,900	76,400	92	97	98	(23)
愛 知 (24)	26,400	25,800	25,200	129,400	128,000	127,300	96	98	100	(24)
三 重 (25)	26,700	25,900	25,200	127,900	128,200	128,800	96	99	102	(25)
滋 賀 (26)	29,700	28,900	27,700	151,200	150,000	144,900	98	100	101	(26)
京 都 (27)	13,800	13,600	13,400	69,100	68,500	68,900	98	99	101	(27)
大 阪 (28)	4,700	4,620	4,540	22,200	22,600	22,800	94	99	102	(28)
兵 庫 (29)	34,800	34,100	32,800	166,000	167,400	168,300	95	98	102	(29)
奈 良 (30)	8,430	8,400	8,350	40,600	43,000	43,600	92	100	102	(30)
和 歌 山 (31)	6,250	6,100	5,980	28,900	30,300	31,000	92	100	105	(31)
鳥 取 (32)	12,800	12,400	12,000	65,500	62,600	61,700	100	98	100	(32)
島 根 (33)	16,800	16,500	16,100	85,800	86,000	83,600	99	100	101	(33)
岡 山 (34)	28,900	27,900	27,100	145,900	146,200	142,000	95	99	99	(34)
広 島 (35)	22,000	21,700	21,100	109,800	113,300	111,800	94	99	101	(35)
山 口 (36)	17,800	17,400	16,600	68,700	88,000	87,300	73	101	105	(36)
徳 島 (37)	10,700	9,980	9,640	50,900	46,400	46,300	100	98	102	(37)
香 川 (38)	11,600	11,300	10,800	57,500	56,600	55,200	100	101	103	(38)
愛 媛 (39)	13,300	13,200	13,000	63,000	67,300	68,100	91	104	104	(39)
高 知 (40)	11,200	11,000	10,600	48,500	49,600	48,800	93	98	100	(40)
福 岡 (41)	34,400	34,100	32,800	143,100	161,300	161,000	80	98	100	(41)
佐 賀 (42)	23,400	22,800	22,300	102,000	116,300	114,600	81	100	98	(42)
長 崎 (43)	11,000	10,800	10,400	46,400	50,800	48,900	86	99	95	(43)
熊 本 (44)	32,300	31,200	30,200	151,800	151,000	151,300	89	97	96	(44)
大 分 (45)	20,000	19,400	18,800	80,600	94,500	92,700	77	99	99	(45)
宮 崎 (46)	14,300	13,900	13,400	67,900	68,000	65,400	95	100	98	(46)
鹿 児 島 (47)	17,800	17,100	16,600	81,500	81,900	79,300	94	100	98	(47)
沖 縄 (48)	630	623	604	2,030	2,020	1,890	104	105	101	(48)



## (7) 各道府県農業再生協議会等が作成した令和5年産主食用米の生産の目安等

(各都道府県農業再生協議会総会資料等から抜粋)

いわゆる「生産の目安等」については、各県の農業再生協議会等において、国の需給見通しや産地の需要動向等を踏まえて主体的に作成されており、その名称や定義は各県ごとに様々である。令和5年産の作成の考え方により大別すると、おおよそ以下のとおり類型化できる。

### (1) 国の基本指針における生産量の見通し等を踏まえて算出 (22 県)

- ① 国の基本指針における生産量の見通しに29年産までの各県別の生産数量目標の県シェア等に乗じるなどして算出 (8 県)

富山県、山梨県、岐阜県、愛媛県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、  
沖縄県

- ② 国の基本指針における生産量の見通しの対前年減少率を前年目安に乗じるなどして算出 (7 県)

群馬県、石川県、長野県、奈良県、和歌山県、岡山県、高知県

- ③ ①、②に新たな需要増加分、在庫増加分等を加味して算出 (7 県)

宮城県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、

### (2) 地域協議会による需要動向の積上げや独自の需要見込み等により算出 (21 県)

北海道、青森県、岩手県、福島県、新潟県、福井県、静岡県、愛知県、  
三重県、滋賀県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、山口県、徳島県、  
香川県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県

※ 東京都、神奈川県、大阪府及び島根県は目安等を作成していない。

※ 詳細については、以下の各都道府県農業再生協議会等の窓口にお問合せください。

※ 「公表日等」欄に記載の日付は、各都道府県農業再生協議会が総会等にて目安を決定した日、または、プレスリリースを行った日。

## (1) 国の基本指針における生産量の見通し等を踏まえて算出

### ① 国の基本指針における生産量の見通しに29年産までの各県別の生産数量目標の県シェア等に乗じるなどして算出

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
富山	<p>「生産目標」(公表日 2022/12/1)</p> <p>○ 本県産米の生産目標は、①全国の生産量の目安が669万トン(前年実績同(平年作<sup>ベ</sup>-ス))とされたことや、②本県産米の需要見通しが堅調であることを踏まえ、県段階の生産目標を171,211トン(前年実績同(平年作<sup>ベ</sup>-ス))、面積換算で31,300ha(前年実績同)と設定。</p>	<p>富山県農業再生協議会(富山県農業協同組合中央会農業対策課内)</p> <p>TEL076-445-2011</p>
山梨	<p>「目安」(公表日等 2022/12/23)</p> <p>令和5年産主食用米等の生産数量の目安の設定にあたっては、令和5/6年主食用米等需要量680万トンを算定の基準におき、国により生産数量目標が提示されていた平成27年産米における本県シェアを乗じて算出。</p> <p>令和5年産米の生産数量目安 24,820トン(対前年比438トン減) 面積換算 4,596ha(対前年比56ha減)</p>	<p>J A山梨中央会農業振興部内</p> <p>TEL055-223-3503</p>
岐阜	<p>「生産指標」(公表日 2022/12/12)</p> <p>○ 令和5年産主食用米等の生産指標の設定にあたっては、国が令和4年7月に示した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」を基に、平成27年産米の岐阜県シェアを乗じて、令和5年産の市町村別生産指標を設定し、各地域農業再生協議会へ提示した。 (通知日:令和4年10月26日)</p> <p>「生産目標」</p> <p>○ 生産指標を基に、各地域農業再生協議会が設定した、令和5年産の「生産目標」の集計値は、100,000t(面積換算値20,618ha)となる。</p>	<p>岐阜県農政部農産園芸課</p> <p>TEL058-272-8439</p> <p><a href="https://www.pref.gifu.lg.jp/page/16968.htm">https://www.pref.gifu.lg.jp/page/16968.htm</a></p>
愛媛	<p>生産の目安(公表日 2022/12/20)</p> <p>1 愛媛県全体の「生産の目安」の設定方法 県全体の「生産の目安」は、国が公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」において設定された令和5年産米の全国の適正生産量669万トンに、国が平成28年度から固定した県別シェア率を乗じたものを県全体の「生産の目安」の生産量とし、その数値を本県平年単収で除した数値を「生産の目安」の作付面積とする。 令和5年産米の全国の適正生産量669万トン × 本県シェア率 73,920/7,510,000 = 県全体の「生産の目安(生産数量)」65,849トン</p> <p>県全体の「生産の目安(生産量)」65,849トン ÷ 本県平年単収4.98トン/ha = 県全体の「生産の目安(作付面積)」13,223ha</p> <p>2 地域農業再生協議会別の「生産の目安」の設定方法</p> <p>① 作付面積 県全体の「生産の目安」の水準に地域農業再生協議会の作付合計を誘導するよう、各地域農業再生協議会の「生産目標(案)」に一律で係数を乗じて調整した数値とする。</p> <p>② 生産数量 各地域農業再生協議会の「生産の目安」の作付面積に市町村別単収を乗じた数値とする。</p>	<p>愛媛県農業協同組合中央会総合企画部</p> <p>TEL089-948-5610</p>

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
長崎	<p>「生産の目安」（公表日 2022/12/27）</p> <p>○ 「県の生産の目安（生産量）」は 10 月に国から提示された令和 5 年産の「全国の生産数量目安」に「全国における長崎県数量シェア※」を乗じて算定。</p> <p>※ 長崎県数量シェア 0.84%とは、昨年と同様に国が最後に示した平成 29 年度長崎県への生産数量目標 61,511t を全国の生産数量目標 735 万 t で除したものの。</p> <p>【県段階の算定方法】</p> <p>1 「県の生産の目安（生産量）」            全国の生産数量目安×全国における長崎県数量シェア  <math>669 \text{ 万 t} \times 0.84\% = 55,988 \text{ t}</math></p> <p>2 「県の生産の目安（面積）」            生産の目安（生産量）÷長崎県の平年収量  <math>55,988 \text{ t} \div 485 \text{ kg}/10 \text{ a} = 11,544 \text{ ha}</math></p> <p>○ 令和 5 年産長崎県生産数量の目安 55,988t            令和 5 年産長崎県生産面積の目安 11,544ha</p>	長崎県農林部農産園芸課 TEL095-895-2943
宮崎	<p>「作付の目安」（公表日 2022/12/19）</p> <p>・平成 27 年度より固定して用いている配分シェア（≒1.2463%）を用い、本県の令和 5 年産米の「生産の目安」を 83,380 トンとし、「作付の目安」を 16,810 ヘクタールとする。</p> <p>算出根拠と算出方法</p> <p>① 国の令和 5 年産「生産の目安」 6,690,000 トン            ② 宮崎県シェア（平成 27 年度配分シェア） 1.2463%            ③ 県の令和 5 年産「生産の目安」 83,380 トン            ④ 県の令和 5 年産「作付の目安」（③の面積換算値） 16,810ha ※平年収量 496kg</p>	宮崎県農業再生協議会 TEL0985-31-2030  宮崎県農政水産部農産園芸課水田農業担当 TEL0985-26-7136
鹿児島	<p>「生産の目安」（公表日 2022/12/23）</p> <p>1 5 年産に向けた都道府県再生協議会の基本的な考え方            県農業再生協議会において、令和 4 年 10 月公表の国の基本指針における全国の需給見通しを基に、平成 29 年産までの本県の生産数量目標シェア率を乗じて県の生産の目安を設定する。            さらに、市町村毎の生産の目安を算出し、県内実需者の需要見通しの情報とともに各地域農業再生協議会等に提供する。</p> <p>2 5 年産に向けた主食用米等の生産量等の具体的な考え方            令和 5 年産「生産の目安」の設定方法</p> <p>(1) 考え方            県農業再生協議会において、令和 4 年産の生産の目安と同様の方法で、県の生産の目安を設定する。            また、各地域農業再生協議会等がそれぞれの地域の状況を踏まえて地域の「生産の目安」、さらには生産者毎の「生産の目安」を設定することができるよう、地域毎の生産の目安を算出し、各地域農業再生協議会等に対して情報提供を行う。</p> <p>(2) 「生産の目安（生産量）」            「全国の主食用米等生産量」×「29 年産までの本県の生産数量目標シェア率」  <math>669 \text{ 万 t} \times 1.47896\% = 98,940 \text{ t}</math>            ※「全国の主食用米等生産量」は 10 月 20 日公表の 669 万 t を用いることとする。</p> <p>(3) 「生産の目安（面積）」            「上記で算出した生産量」÷「令和 4 年産の 10a 当たり平年収量」  <math>98,940 \text{ t} \div 485 \text{ kg}/10 \text{ a} = 20,400 \text{ ha}</math></p>	鹿児島県農業再生協議会 （事務局：鹿児島県農政部農産園芸課） TEL099-286-3197

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
沖 縄	<p>「目安」（公表日2022/10/25）</p> <p>① 「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」の令和5/6年の需給見通しの供給量における令和5年産の主食用米等生産量※と、平成29年産生産数量目標で用いた沖縄県のシェア※をもとに、沖縄県分の生産量を算出する。</p> <p>② 沖縄県の目標単収を用いて、沖縄県分の生産量の範囲内で、沖縄県の目安作付面積、目安収穫量を設定する。</p> <p>○全国の令和5年産の生産量設定      669万トン うち、沖縄県のシェア                      2,549トン</p> <p>○沖縄県の目安収穫量                      2,549トン 沖縄県の目安作付面積                      797ha 沖縄県の目標単収                              320kg/10a</p> <p>※沖縄県のシェアは、全国に対して0.000381（平成29年産生産数量目標より2,799 t /7,350,000 t）</p>	<p>沖縄県農業再生協議会事務局 （沖縄県農林水産部糖業農産課内） TEL098-866-2275</p>

② 国の基本指針における生産量の見通しの対前年減少率を前年目安に乗じるなどして算出

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
群馬	<p>生産目安」（公表日等 2022/12/22） 令和4年10月に国から公表された全国の主食用米等生産量の対前年比（a）により、算定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <math display="block">\text{県域の生産目安（トン）} = \text{令和4年産主食用米の本県の生産目安（トン）} \times a</math> </div> <p>国が策定した令和5/6年の主食用米等の需給見通しに基づく令和5年産主食用米等生産量は669万トン（対前年比99.1%）であることから、県域の生産目安は、67,475トンと算定される（面積換算値13,595ha）。</p>	<p>JA群馬中央会 担い手支援部 Tel.027-220-2028</p>
石川	<p>「生産基準数量」（公表日 2022/12/12）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県農業活性化協議会において、行政、生産者、販売業者など関係者の合意のもとで主食用米の「生産基準数量」を決定。</li> <li>○ 主食用米の「生産基準数量」は、国の生産量の見通しや考え方も踏まえつつ、国が公表する本県需要実績に基づき設定する。なお、需要環境の安定に配慮しつつ、本県の戦略作物等を含めた生産実態を考慮する。</li> </ul> <p>本県における令和5年産主食用米 生産基準数量：109,514トン</p>	<p>石川県農業活性化協議会 JAグループ石川 営農戦略室 Tel.076-240-5051</p> <p>石川県生産流通課 Tel.076-225-1621 <a href="http://www.chu.is-jp/inkk/">http://www.chu.is-jp/inkk/</a></p>
長野	<p>「生産数量目安値」（公表日等 2022/11/29） 前年の目安値に毎年国が示す適正生産量の増減率を乗じて算定。 需給状況は改善に向かっているものの、依然として県、全国ともにコロナ禍前と比べ多くの在庫を抱えていることから、県内の解消すべき在庫量を目安値に反映させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年産主食用米の生産目安値 176,705トン（対前年 4,195トン減）、面積換算値 28,524 ha</li> </ul>	<p>長野県農政部農業技術課内 Tel.026-235-7221</p>
奈良	<p>「生産数量の目安」（公表日等 2022/12/28） 令和4年10月公表の国が示す基本指針における全国の主食用米等需給見通しによる令和5年産米等生産量が令和4年産米等生産量と同水準であることから、奈良県においても、令和5年産米の生産の目安を、令和4年産米の生産の目安と同水準に設定する。</p> <p>令和5年産生産数量の目安：39,300t（面積換算値：7,677ha）</p>	<p>奈良県食と農の振興部農業水産振興課 Tel.0742-27-7443</p>
和歌山	<p>「生産数量の参考値」（公表日等 2022/12/23） 令和5年産は4年産と同水準の作付面積として全国の生産数量（669万トン）が示されたため、本県も同様に令和4年産と同水準の生産面積を維持し、平年並みの単収として算出。</p> <p>令和5年産米の生産数量の参考値：29,720t（面積換算値：5981.6ha）</p>	<p>和歌山県農業再生協議会 （事務局）和歌山県農林水産部 農業生産局果樹園芸課 Tel.073-441-2904</p>

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
岡山	<p>「生産量の目安」(2022/12/13(決定日))</p> <p>岡山県域における生産量の目安は、令和4年産主食用米等の生産量の目安に10月20日に国が公表した「基本指針」の主食用米等生産量(需給見通し)の対前年比率(669万トン/675万トン)99.1%を乗じて算定する。</p> <p>目安数量 141,238 トン 面積換算 26,851 ha</p> <p>※ 平年単収(526kg/10a)により算出</p>	<p>岡山県農業協同組合中央会総務企画部 TEL086-232-2355</p>
高知	<p>「生産の目安」(公表日2022/12/26)</p> <p>1 令和5年産米の高知県生産数量目標の設定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 需要に応じた生産を進める観点から、全国及び高知県の需要実績(直近1年)を基本として算定する。</li> <li>○ 算定に際しては、全国平均を上回る高知県の人口減少率を考慮する。</li> </ul> <p>令和5年産の高知県生産数量目標  <math>= R5/R6 \text{年の全国需要見通し} \times R3/R4 \text{年の高知県の需要実績の全国シェア} \times 0.99</math>  <math>= 680 \text{万トン} \times 48,653 \text{トン} / 6,963,000 \text{トン} \times 0.99</math>  <math>= 47,039 \text{トン}</math> (面積換算: 10,316ha) (面積換算=47,039トン ÷ 平年収量456kg/10a × 100)</p> <p>2 令和5年産米の市町村・地域農業再生協議会別生産数量の目安の設定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年産については、引き続き、需給バランスの安定に向けた取組を県下全域で推進していく必要があることから、令和3年産の生産数量目標の市町村別シェアにより算定する。</li> </ul> <p>令和5年産の市町村別生産数量の目安  <math>= \text{令和5年産の高知県生産数量目標} \times \text{令和3年産の生産数量目標(面積換算)の市町村別シェア}</math>  <math>+ \text{令和4年産の作付面積を考慮した補正面積}</math></p>	<p>高知県農業振興部農業政策課 TEL088-821-4511</p> <p><a href="http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/162201/2019122000223.html">http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/162201/2019122000223.html</a></p>

③ ①、②に新たな需要増加分、在庫増加分等を加味して算出

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先																											
宮城	<p>「生産の目安」（公表日 2022/11/28）</p> <p>(1) 県の基本数量（A） 国が示す全国の需給見通し（主食用米等生産量）に、県産米シェアを乗じた数量を「県の基本数量」とする。 県産米シェアは、直近5カ年の需要実績シェアの5中3平均値から算出した4.7864・・・%とする。</p> <p>(2) 事前契約の積み上げ（B） 地域農業再生協議会等から報告された「生産計画」を基に、R5年産の事前契約数量を集計し、新たな需要として増加した数量については、「県の基本数量」に積み上げる。</p> <p>(3) 過剰在庫の解消（C） 過剰在庫が生じた場合や翌年産で過剰在庫が見込まれる場合は、解消の措置をとる。</p> <p>(4) 県の「生産の目安」の算定 県の基本数量に事前契約の積み上げ、過剰在庫を勘案し、県全体の「生産の目安」を算定する。</p> <p>(5) (1)～(4)により算定した「生産の目安」の数量、面積が令和4年産の「生産の目安」と同水準であったことから、令和4年産と同面積とした。</p> <p>【算定方法】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">全国の主食用米 適正生産量 669万トン</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">県産米シェア 4.7864・・・%</td> <td style="text-align: center;">⇒</td> <td style="text-align: center;">県の基本数量 (A) 320,213トン</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">+</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事前契約の 積み上げ(B) 0トン</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">過剰在庫 (C) 12,490トン</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">算定した 「生産の目安」 307,723トン  56,955ha</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和5年産 「生産の目安」 307,623トン  56,935ha</td> </tr> </table>           =           <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年産 「生産の目安」 307,357トン  56,935ha</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	全国の主食用米 適正生産量 669万トン	×	県産米シェア 4.7864・・・%	⇒	県の基本数量 (A) 320,213トン	+					事前契約の 積み上げ(B) 0トン	-	過剰在庫 (C) 12,490トン	=	算定した 「生産の目安」 307,723トン  56,955ha	→					<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和5年産 「生産の目安」 307,623トン  56,935ha</td> </tr> </table> = <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年産 「生産の目安」 307,357トン  56,935ha</td> </tr> </table>					令和5年産 「生産の目安」 307,623トン  56,935ha	令和4年産 「生産の目安」 307,357トン  56,935ha	宮城県農業再生協議会 (事務局：宮城県農政部みやぎ米推進課) TEL022-211-2842
全国の主食用米 適正生産量 669万トン	×	県産米シェア 4.7864・・・%	⇒	県の基本数量 (A) 320,213トン																									
+																													
事前契約の 積み上げ(B) 0トン	-	過剰在庫 (C) 12,490トン	=	算定した 「生産の目安」 307,723トン  56,955ha																									
→																													
<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和5年産 「生産の目安」 307,623トン  56,935ha</td> </tr> </table> = <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和4年産 「生産の目安」 307,357トン  56,935ha</td> </tr> </table>					令和5年産 「生産の目安」 307,623トン  56,935ha	令和4年産 「生産の目安」 307,357トン  56,935ha																							
令和5年産 「生産の目安」 307,623トン  56,935ha																													
令和4年産 「生産の目安」 307,357トン  56,935ha																													
秋田	<p>「生産の目安」（公表日 2022/11/25）</p> <p>○ 県全体の「生産の目安」 「全国生産量（669万トン）と県産米シェアから算出した数値」と「県産米需給動向と適正在庫量から算出した数値」の中間値を基本に「販売状況を踏まえた補正」を行って設定。 令和5年産「生産の目安」398,700トン (面積換算値 69,100 ha) 4年産実績対比（面積ベース）±0ha</p>	秋田県水田総合利用課 TEL018-860-1783																											
山形	<p>「生産の目安」（公表日 2022/11/30）</p> <p>○ 県段階の「生産の目安」 国の需給見通し（主食用米生産量）に県産米のシェア（直近6中4平均）を乗じた数値を基礎とし、「つや姫」ブランド需要（加算）と県産米在庫状況（減算）を踏まえ算定。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">主食用米等生産量 669万トン</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">県産米のシェア 0.0477・・・</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: center;">ブランド需要 500トン</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">在庫状況 3,984トン</td> <td style="text-align: center;">⇒</td> <td style="text-align: center;">令和5年産「生産の目安」 316,100トン  (県平年収量ベース 52,860ha)</td> </tr> </table>	主食用米等生産量 669万トン	×	県産米のシェア 0.0477・・・	+	ブランド需要 500トン	-	在庫状況 3,984トン	⇒	令和5年産「生産の目安」 316,100トン  (県平年収量ベース 52,860ha)	山形県県産米ブランド推進課 TEL023-630-2304																		
主食用米等生産量 669万トン	×	県産米のシェア 0.0477・・・	+	ブランド需要 500トン	-	在庫状況 3,984トン	⇒	令和5年産「生産の目安」 316,100トン  (県平年収量ベース 52,860ha)																					

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
茨城	<p>「生産数量目標に相当する数値（以下、目安）」（公表日等 2022/12/16）</p> <p>1 本県の目安について</p> <p>(1) 本県の目安の算出方法</p> <p>本県の目安は、全国の主食用米等生産量の見通しの 669 万トンに、直近 5 年間（平成 29 年～令和 3 年産）の全国の需要実績に対する本県のシェアを乗じた数量を基本とする。</p> <p>さらに、令和 5 年産においては、直近の需給状況を反映させるため、令和 4 年 6 月末の民間在庫量のうち、本県の前年比増減割合と、全国における前年比増減割合を比較し、その割合の差に対する数量について目安に加味する。</p> <p>また、令和 5 年産米の目安を茨城県の年平均収量（525 kg/10 a）で除し、面積換算値を設定する。</p> <p>(2) 目安の算出に用いる本県実績シェアの考え方</p> <p>目安算出のためのシェアについては、令和元年産までの固定値 4.49%を令和 2～6 年産までの 5 年間で段階的に補正することとしており、令和 5 年産においては 4.70%を目安の算出に用いる。</p> <p>なお、直近 5 年間（H29～R3）における需要実績に基づく本県のシェアは 4.73%である。</p> <p>(3) 目安の算出において加味する在庫量の考え方</p> <p>本県と全国における令和 4 年 6 月末時点の民間在庫量の前年比（%）を比較し、本県が全国よりも増加している割合分の数量として 1,173 トンを考慮する。</p> <p><math>1,173 \text{ トン} = (\text{本県の前年比在庫量 } 101.11\% - \text{全国の前年比在庫量 } 99.63\%) \times \text{本県の令和 4 年 6 月末時点の民間在庫量 } 79,289 \text{ トン}</math></p> <p>(4) 上記の（1）～（3）を基に算出した本県の令和 5 年産米の目安</p> <p><math>313,257 \text{ トン} (59,668\text{ha}) = \text{全国の主食用米等生産量の見通し } 669 \text{ 万トン} \times \text{本県シェア } 4.70\% - \text{考慮在庫量 } 1,173 \text{ トン}</math></p> <p>2 自主的推進目標面積の設定について</p> <p>令和 4 年産の主食用米の作付面積 58,300ha に対して、令和 5 年産米の目安面積は 1,368ha 上回る 59,668ha（作付面積比 102.3%）となることから、すでに作付転換に取り組んでおり、目安を達成している産地や生産者を中心に、主食用米への回帰が懸念される。</p> <p>一方、国では、令和 5 年産の主食用米の作付面積を令和 4 年産と同水準に維持することで、令和 6 年 6 月末の民間在庫量が適正になると見込んでいることから、本県においても、全国的な需給と価格の安定に資するための取組として「自主的推進目標面積」（県全体 56,952ha）を地域農業再生協議会へ提示し、すでに取り組んでいる作付転換の取組の定着と、さらなる拡大を働きかけていく。</p> <p>&lt;自主的推進目標面積の設定方法&gt;</p> <p>① 令和 4 年産において目安未達成の市町村の場合 自主的推進目標面積＝令和 5 年産の目安面積</p> <p>② 令和 4 年産において目安を達成している市町村の場合 自主的推進目標面積＝令和 4 年産の主食用米の作付面積</p>	<p>茨城県農業再生協議会（茨城県農林水産部産地振興課） TEL029-301-3921</p> <p><a href="http://www.ibaraki-suiden.jp/">http://www.ibaraki-suiden.jp/</a></p>
栃木	<p>「作付参考値」（公表日等 2022/12/16）</p> <p>需要に応じた生産を進めていくため、令和 5 年産主食用米においても作付参考値を提示することとする。</p> <p>国は基本指針において、令和 5 年産の生産見通しは、令和 4 年産と同水準の生産量としている。</p> <p>また、本県においては、令和 4 年産作付参考値と同水準の生産量とすることにより、令和 6 年 6 月末時点の民間在庫量が時給バランスの改善が見込まれる。</p> <p>以上から、令和 5 年産の作付参考値は、令和 4 年産の作付参考値（44,652 ha）を据え置くこととする。</p>	<p>J A 栃木中央会内 TEL028-616-8531</p> <p><a href="http://www.tcc-hu-ja.or.jp/saiseikyoo/">http://www.tcc-hu-ja.or.jp/saiseikyoo/</a></p>



	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
埼玉	<p>「生産の目安」（公表日等 2022/12/23）  国の「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」において、令和5年産主食用米等の生産量の見通しが令和4年産米作付実績と同水準の作付面積とされたこと、また米価については依然として回復の途上であることから、令和5年産米の「生産の目安」の算定にあたっては、県の基本方針※によらず、令和4年産米の「生産の目安」を据え置いて設定する。</p> <p>【「生産の目安」を据え置くこと理由】</p> <p>① 埼玉県では令和3年産及び令和4年産の作付面積の削減率が、全国の削減率を上回っているため。（令和4年産：埼玉県▲4.9%、全国▲4.0%）</p> <p>② 令和4年6月末の民間在庫量について、埼玉県は前年産から減少しており、削減率が全国の削減率を上回っているため。（埼玉県▲7.1%、全国▲0.37%）</p> <p>この結果、埼玉県の令和5年産米の「生産の目安」は139,031トン、面積換算値は28,285haとする。</p> <p>なお、作付け転換の推進面積として昨年と同水準の「生産の目安」を確実に達成した上で、令和4年産の作付実績並みまで深掘りすることで、長期的な需要減少に対応できるよう、地域の実情に合わせ関係者が一丸となった需給調整を行う。</p> <p>※「基本方針」に定める算定方法で算出すると生産数量 140,792 トン、面積換算値 28,528ha となる。</p>	<p>埼玉県農林部生産振興課内  TEL048-830-4036</p> <p><a href="http://www.saitama-suiden.org/meyasu.pdf">http://www.saitama-suiden.org/meyasu.pdf</a></p>
千葉	<p>「生産目安」（公表日等 2022/11/22）  国が、令和5年産主食用米の適正生産量を令和4年産生産実績とほぼ同数量となる669万トンとしたことを踏まえ、本県では、令和3、4年産において国を上回る生産量の削減率を達成していることから、千葉県農業再生協議会が設定する本県の令和5年産米の生産目安は、令和4年産の生産目安と同数量となる25万1,207トン（面積換算4万6,177ヘクタール）とし、各地域においても令和4年産と同じ生産目安を目標として作付け転換が図られるよう、令和4年産の生産目安と同数量を提示。</p> <p>令和5年産主食用米の生産目安 251,207t（面積換算値 46,177ha）</p>	<p>千葉県農林水産部生産振興課水田農業班内  TEL043-223-2891</p> <p><a href="http://www.chiba-suiden.jp/">http://www.chiba-suiden.jp/</a></p>

(2) 地域協議会による需要動向の積上げや独自の需要見込み等により算出

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先																																																																	
北海道	<p>「生産の目安」（公表日 2022/12/22）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北海道の令和5年産の主食用米の生産の目安は、数量の目安として45万8,602トン、面積の目安として8万2,482haと設定。</li> <li>○ 北海道米の需給と価格の安定を図るため、国による主食用米の需給見通し、農業団体等による販売計画、産地の作付意向、北海道米の民間在庫量の状況などを踏まえて、ほぼ前年産実績並みで設定。</li> </ul>	<p>北海道農業再生協議会水田部会事務局 Tel.011-204-5435</p> <p><a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nsk/kome/suidenbukai.html">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nsk/kome/suidenbukai.html</a></p>																																																																	
青森	<p>「生産数量目標」（公表日 2022/12/23）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年産米の生産数量目標</li> </ul> <p>青森県「需要に応じた米の生産調整」に関する要領（平成29年9月制定）に基づき、各地域農業再生協議会、各農業協同組合及び青森県米穀集荷協同組合の傘下業者から青森県農業再生協議会に報告のあった地域ごとの生産計画数量の計を地域農業再生協議会別生産数量目標とし、その合計を県全体の生産数量目標とした。</p> <p>生産数量目標【県全体】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">R5生産数量目標</th> <th colspan="2">R4生産数量目標</th> <th rowspan="2">R4作付面積</th> </tr> <tr> <th></th> <th>面積換算値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>203,401t</td> <td>205,785t</td> <td>34,169ha</td> <td>33,900ha</td> </tr> </tbody> </table>	R5生産数量目標	R4生産数量目標		R4作付面積		面積換算値	203,401t	205,785t	34,169ha	33,900ha	<p>青森県農産園芸課企画管理グループ Tel.017-734-9479</p>																																																							
R5生産数量目標	R4生産数量目標		R4作付面積																																																																
		面積換算値																																																																	
203,401t	205,785t	34,169ha	33,900ha																																																																
岩手	<p>「生産目安」（公表日 2022/12/16）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県全体の生産目安は、全国的な米の需要状況等を踏まえ、「米の需給及び価格の安定に関する基本指針（令和4年10月公表：農林水産省）」に準じ、令和4年産米と同水準の作付面積とした生産量を設定。</li> </ul> <p>[令和5年産生産数量] 令和4年産作付面積（43,700ha） × 平年単収（540kg/10a） = 235,980トン （面積換算：43,700ha）</p>	<p>岩手県農林水産部農産園芸課 Tel.019-629-5708</p>																																																																	
福島	<p>「生産数量の目安（面積）」（公表日 2022/12/12）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県全体の「生産数量（面積）」の目安</li> </ul> <p>令和4年産主食用米作付実績と同じ51,900haを県全体における令和5年産の主食用米「生産数量の目安（面積）」として設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 制度別・用途別作付計画</li> </ul> <p>全水稲作付面積も令和4年産の作付実績と同じ71,500haと見込み、各用途で多少の増減を設定。</p> <p>その他、水稲以外への転換計画もあわせて策定。</p> <p style="text-align: right;">単位：ha</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年産</th> <th colspan="2">4年産</th> <th colspan="2">5年産</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>計画</th> <th>4年実績差</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④=③-②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主食用作付面積</td> <td>52,600</td> <td>51,900</td> <td>51,900</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計画面積との差</td> <td>-</td> <td>▲700</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">非主食用米</td> <td>SUM(①:⑥)</td> <td>18,800</td> <td>19,629</td> <td>19,600</td> <td>▲29</td> </tr> <tr> <td>①飼料用米</td> <td>11,250</td> <td>12,631</td> <td>12,600</td> <td>▲31</td> </tr> <tr> <td>②備蓄米</td> <td>5,300</td> <td>5,408</td> <td>5,300</td> <td>▲108</td> </tr> <tr> <td>③加工用米</td> <td>1,000</td> <td>382</td> <td>450</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>④WCS</td> <td>1,100</td> <td>1,078</td> <td>1,100</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>⑤輸出米</td> <td>100</td> <td>82</td> <td>100</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>⑥米粉用米他</td> <td>50</td> <td>48</td> <td>50</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>全水稲作付面積</td> <td>71,400</td> <td>71,500</td> <td>71,500</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年産	4年産		5年産		計画	実績	計画	4年実績差	項目	①	②	③	④=③-②	主食用作付面積	52,600	51,900	51,900	0	計画面積との差	-	▲700	-	-	非主食用米	SUM(①:⑥)	18,800	19,629	19,600	▲29	①飼料用米	11,250	12,631	12,600	▲31	②備蓄米	5,300	5,408	5,300	▲108	③加工用米	1,000	382	450	68	④WCS	1,100	1,078	1,100	22	⑤輸出米	100	82	100	18	⑥米粉用米他	50	48	50	2	全水稲作付面積	71,400	71,500	71,500	0	<p>福島県農林水産部水田畑作課内 Tel.024-521-7369</p>
年産	4年産		5年産																																																																
	計画	実績	計画	4年実績差																																																															
項目	①	②	③	④=③-②																																																															
主食用作付面積	52,600	51,900	51,900	0																																																															
計画面積との差	-	▲700	-	-																																																															
非主食用米	SUM(①:⑥)	18,800	19,629	19,600	▲29																																																														
	①飼料用米	11,250	12,631	12,600	▲31																																																														
	②備蓄米	5,300	5,408	5,300	▲108																																																														
	③加工用米	1,000	382	450	68																																																														
	④WCS	1,100	1,078	1,100	22																																																														
	⑤輸出米	100	82	100	18																																																														
⑥米粉用米他	50	48	50	2																																																															
全水稲作付面積	71,400	71,500	71,500	0																																																															

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先																				
新潟	<p>「生産目標」（公表日 2022/12/21） 4年産は非主食用米等への転換が一定程度進んだものの、本県の5年6月末在庫は適正水準には至らない見込み。 引き続き需給調整にしっかりと取り組み、6年6月末在庫を適正水準（本県産米需要量の2.5ヶ月分相当）とする観点から、5年産においても4年産と同様の手法で県生産目標を設定。</p> <p>【令和5年産 主食用米生産目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>県生産目標</th> <th>令和4年産実績比 (R4の作況100の場合と比較)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産量</td> <td>545,400トン</td> <td rowspan="2">同等</td> </tr> <tr> <td>作付面積</td> <td>99,900ha</td> </tr> </tbody> </table>		県生産目標	令和4年産実績比 (R4の作況100の場合と比較)	生産量	545,400トン	同等	作付面積	99,900ha	<p>新潟県農産園芸課 TEL025-280-5295</p> <p><a href="https://www.nigatamai.info/">https://www.nigatamai.info/</a> (新潟米情報センターHP、新潟県農業再生協議会情報)</p>												
	県生産目標	令和4年産実績比 (R4の作況100の場合と比較)																				
生産量	545,400トン	同等																				
作付面積	99,900ha																					
福井	<p>「生産数量の目安」（公表日 2022/12/16） 国が示した令和5年産の全国の需給見通しを参考にするとともに、福井県産米の需給状況と需要見込みに基づき、目安を設定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和4年産生産数量目安</th> <th colspan="2">令和5年産生産数量目安</th> <th colspan="2">R5-R4</th> </tr> <tr> <th>数量(t)</th> <th>面積(ha)</th> <th>数量(t)</th> <th>面積(ha)</th> <th>数量(t)</th> <th>面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福井県</td> <td>115,347</td> <td>22,225</td> <td>114,932</td> <td>22,145</td> <td>▲415</td> <td>▲80</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年産生産数量目安		令和5年産生産数量目安		R5-R4		数量(t)	面積(ha)	数量(t)	面積(ha)	数量(t)	面積(ha)	福井県	115,347	22,225	114,932	22,145	▲415	▲80	<p>福井県農業再生協議会 TEL0776-27-8223</p>
	令和4年産生産数量目安		令和5年産生産数量目安		R5-R4																	
	数量(t)	面積(ha)	数量(t)	面積(ha)	数量(t)	面積(ha)																
福井県	115,347	22,225	114,932	22,145	▲415	▲80																
静岡	<p>「需要量予測」（公表日等 2022/12/28） 平成30年産以降、国から米の生産数量目標設定が示されなくなったため、県農業再生協議会が次年度の県産米需要予測を算出し、各地域農業再生協議会等に向けて示している。 需要予測には、国から提供される県産米の生産量と在庫数量から算出した需要実績を用いる。 平成21年産から令和3年産までの需要実績から回帰分析を行い、令和5年産の県産米の需要量を72,674トンと試算した。</p>	<p>静岡県経済産業部農業局農芸振興課内 TEL054-221-3249</p>																				
愛知	<p>「生産数量目標の目安」（公表日 2022/12/8） 本県の総需要量（人口×一人当たり消費量）に占める本県産米シェア率（過去10年間のシェア率）により需要量を推計し、6月末在庫量を考慮して主食用米生産量を算出する。 算出した主食用米生産量は130,423tであるが、配分基準単収を見直したことにより面積換算値が前年より増加した市町村については、前年の面積換算値を上限としたため、令和5年産米の生産数量目標（主食用）は129,048tに設定する。</p> <p>令和5年産米の生産数量目標の目安 ⇒ 令和5年産米の生産数量目標（主食用）129,048t + 種子用等の生産量728t = 129,776t</p>	<p>愛知県農業再生協議会 事務局：愛知県農業水産局農政部園芸農産課 TEL052-954-6420</p> <p><a href="http://www.aisuikyo.jp/">http://www.aisuikyo.jp/</a></p>																				
三重	<p>「生産量の目安」（公表日 2022/12/13）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国が公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針」に準じ、令和4/5年及び令和5/6年の三重県産主食用米の需給見通しを算出する。</li> <li>○ この需給見通しから算出した令和5年産主食用米等生産量を「主食用米生産量の目安」とする。</li> <li>○ 食用米生産に供する種子については、県産米の安定生産を図る上で重要であることを鑑み、「水稻種子生産量」の必要分とする。</li> <li>○ 「主食用米生産量の目安（125,719t）」に、「水稻種子生産量（403t）」を加え、三重県の「生産量の目安（126,122t）」とする。</li> </ul>	<p>三重県農林水産部農産園芸課 TEL059-224-2547</p> <p><a href="http://www.pref.mie.lg.jp/NOUSAN/HP/77062045898.htm">http://www.pref.mie.lg.jp/NOUSAN/HP/77062045898.htm</a></p>																				

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
滋賀	<p>「生産目標（生産の目安）」（公表日等 2022/11/24）</p> <p>「基本指針」の 5/6 需要量（680 万トン）に滋賀県産米の需要量シェアの維持・向上を目指し、滋賀県の需要量シェア（直近 7 中 5）の平均（2.13%）に 0.01%を加えた数値（2.14%）を乗じて算定するが、滋賀県の民間在庫が積み上がっている状況から、需要量シェアの 0.01%相当分（680t）を生産量に反映するのではなく、民間在庫を減らす等の販売促進を行い対応する。</p> <p>令和 5 年産生産目標（生産の目安）：144,840t（面積換算値：27,962ha）</p>	<p>滋賀県農業再生協議会 TEL077-528-5211</p> <p><a href="http://www.shiga-suiden.jas.or.jp/jyuyou/R05san_haibun.pdf">http://www.shiga-suiden.jas.or.jp/jyuyou/R05san_haibun.pdf</a></p>
京都	<p>「見通し」（公表日等 2022/12/28）</p> <p>主食用米については、米価の下落、主産地からの販売攻勢や全国的な需要減少に対応するため、オール京都でさらに高品質でおいしい売れる米づくりに取り組むとともに、WCS 用稲、飼料用米、加工用米等の多様な実需者ニーズを起点とした需要の拡大、京都府産の米の知名度の向上、生産の低コスト化等を進める。</p> <p>令和 5 年産水稻（主食用）作付見通し：12,814ha</p>	<p>京都府農林水産部農産課 TEL075-414-4953</p>
兵庫	<p>「生産目安」（公表日等 2022/12/05）</p> <p>1 国が示す令和 5 年産主食用米等生産量（669 万 t）に県のシェア（概ね 2.4%）によりベースとなる数値を算定。</p> <p>2 上記で算定した数値から、令和 4 年産の酒造好適米（枠内）相当の数量を控除し、県協議会が実施した県産米の需要動向調査、各地域協議会の意向、農地の利用状況、他作物の生産状況、本県産米の民間在庫量等を踏まえた主食用米の生産余地を総合的に判断し、令和 4 年産と同水準で設定。</p> <p>令和 5 年産生産目安：150,000t（面積換算値：29,940ha）</p>	<p>兵庫県農林水産部農業経営課 TEL078-362-3409</p> <p><a href="https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/documents/20221205_11902_1.pdf">https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/documents/20221205_11902_1.pdf</a></p>
鳥取	<p>「生産数量目標」（決定日 2022/12/6）</p> <p>1 設定等の考え方</p> <p>(1) 県農業再生協議会は、県全体の生産数量目標及び地域別の生産数量目標を設定する。</p> <p>(2) 県全体の米生産数量目標は、JA グループの販売計画に基づき作成した生産数量目標の合計、生産者の作付意向、国の適正生産量を勘案する。</p> <p>(3) 各地域協議会の生産目標数量は、需要に応じた生産のための目安とし、各地域協議会は JA と調整しながら作付推進を行う。</p> <p>(4) 令和 5 年産米については、各 JA が販売計画に基づき作成した生産数量目標の合計、国の適正生産量に基づき試算した本県産米の需要量の範囲内で県全体の生産数量目標を設定する。</p> <p>2 具体的な設定方法</p> <p>(1) 次の①と②の中間値を生産数量目標とする。</p> <p>① 各 JA が販売計画に基づき作成した生産数量目標の合計（63,149 トン）</p> <p>② 国の需給見通し情報に基づく試算は、令和 4 年産試算数量（59,400 トン）から減産量 528 トンを差し引いた数量（58,872 トン）</p> <p>(2) 各地域協議会の生産数量目標は、前年度の作付実績を基に、県全体におけるシェア率を求め、その係数を乗じて設定する。</p> <p>(3) ただし、JA の生産数量目標の合計を県全体の需要量とした場合の地域の生産数量目標は、各 JA 内における前年度の作付シェア率を求め、その係数を乗じて設定する。</p> <p>3 令和 5 年産米の生産数量目標</p> <p>生産数量目標は、上記②58,872 トン～①63,149 トンとの中間値 61,011 トンを鳥取県の生産数量目標の目安とする。</p>	<p>鳥取県農業再生協議会</p> <p>鳥取県農林水産部農業振興監生産振興課 TEL0857-26-7283</p> <p>鳥取県農業協同組合中央会 農政広報部 TEL0857-21-2608</p>

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先												
広島	<p>「生産の目安」（公表日 2022/12/14）</p> <p>① 「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」の全国の需要見通しの5年産主食用米生産量（669万トン）×広島県のシェア率（直近7年間の都道府県別シェアのうち中庸5年の平均）</p> <p>② 令和4年産広島県主食用米生産数量見込み+県内実需者に対する需要動向調査結果により算出した県内産需要量</p> <p>①≥②となった場合、①を生産の目安とする。 ①&lt;②となった場合、②を生産の目安とする。</p> <p>県域の生産の目安（数量）を県平年単収（農林水産省公表値）で除し県域の目安（面積換算値）を算定。 県域主食用米生産の目安 21,174ha/111,800トン（②により算出）</p>	<p>広島県農業再生協議会事務局 （広島県農林水産局農業経営発展課） TEL082-513-3557</p>												
山口	<p>「生産の目安」（公表日 2022/12/23）</p> <p>○ 主食用米の「生産の目安」 山口県地域農業戦略推進協議会が、需要と供給の均衡が保たれるよう、県産米の生産・販売状況及び全国の需給見通し等を加味し設定 地域別の生産の目安は、作付実績に基づく「営農の継続性」や地域の「作付意向」等を勘案し設定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和5年産</th> <th colspan="2">令和4年産（参考）</th> </tr> <tr> <th>生産の目安</th> <th>前年（R4） 作付実績対比</th> <th>生産の目安</th> <th>作付実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>83,500 トン 16,564 ha</td> <td>100%</td> <td>91,300 トン 18,155 ha</td> <td>87,316 トン 16,600 ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 前年との作付実績対比は小数点以下四捨五入 作付実績の数量は各地域作付実績×地域単収の合計値、面積は国の公表値</p>	令和5年産		令和4年産（参考）		生産の目安	前年（R4） 作付実績対比	生産の目安	作付実績	83,500 トン 16,564 ha	100%	91,300 トン 18,155 ha	87,316 トン 16,600 ha	<p>山口県地域農業戦略推進協議会事務局 TEL083-973-2215</p> <p><a href="https://y-ninaite.jp">https://y-ninaite.jp</a></p>
令和5年産		令和4年産（参考）												
生産の目安	前年（R4） 作付実績対比	生産の目安	作付実績											
83,500 トン 16,564 ha	100%	91,300 トン 18,155 ha	87,316 トン 16,600 ha											
徳島	<p>「生産目安」（公表日 2022/12/23）</p> <p>○ 主食用米の生産目安 9,557ha(45,301 トン)</p> <p>○ 算定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国における令和5年産主食用米生産量の見通しは、令和4年産米と同水準の作付面積として生産量を設定することにより、令和6年6月末の民間在庫量が一層適正な水準とすることが出来ると見込んでいる。</li> <li>国における令和5年産主食用米生産量の見通し（6,690千トン）が令和4年産主食用米生産量（6,701千トン）に対し99.8%になることを踏まえ、本県においても同様の係数を乗じることとした。</li> <li>国における令和5年6月末の主食用米民間在庫量は、令和4年6月末に比べて減少し、適正水準に達する見込みであり、県内についても同じような傾向にあることが見込まれる。</li> </ul> <p>以上のことから、本県における令和5年産主食用米の生産目安については、令和4年産の生産実績と同水準とした。</p>	<p>徳島県農林水産部もうかるブランド推進課次世代農業室 TEL088-621-2430</p>												

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
香川	<p>「生産の目標」（公表日 2022/12/20）</p> <p>○ 「生産の目標」設定の方法</p> <p>① 香川県農業協同組合が各地域の現状の品種別作付実態、集荷・販売動向からみた今後の需要等を加味して算定した面積等から、県・JA 担当で構成する、さぬき米生産推進チームにおいて協議のうえ原案を作成。</p> <p>② その際、国が示した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」および本県の主食用米の作付面積が毎年 400 ㍉規模で減少している現状を踏まえ、産地としての生産量の確保や水田農業の維持を図ることとし、県産米の需要・販売動向や作付実績などに基づき、令和 4 年産の作付面積を維持するため、県全体で設定。</p> <p>提示する内容：面積 10,800 ha、生産量 53,568 トン ※参考：県全体の生産の目標 品種及び地域ごとの生産の方向性</p> <p>提示する単位：県全体、香川県農業協同組合の 7 地域</p> <p>その他：① 品種及び地域ごとの生産の方向性は、今後、目指すべき品種構成や地域ごとの作付方向であり、各種施策に取り組むとともに、生産者に情報発信を行いながら推進を図る</p> <p>③ 各地域農業再生協議会は、「生産の目標」に基づき、地域協議会ごとの作付予定面積の算定や水田収益力強化ビジョンを策定</p>	<p>香川県農政水産部農業生産流通課 TEL087-832-3418</p> <p><a href="https://www.saiseikyokagawa.jp/suiden/index.html">https://www.saiseikyokagawa.jp/suiden/index.html</a></p>
福岡	<p>「作付計画数量・面積」（公表予定日 2022/12/23）</p> <p>○ 令和 5 年産における主食用米の作付計画数量・面積</p> <p>(1) 近年の不作に伴う供給量の減少と他県産米の価格低下により、主要な販売先である県内における県産米シェアが低下。県内需要の回復傾向を踏まえ、県産米の需要見込量を算定し設定。 作付計画数量：171,120 トン</p> <p>(2) 作付計画数量を本県の前年産米年平均収量で除して作付計画面積を算出。 作付計画面積：34,500ha</p> <p>※参考 ○ 令和 4 年産 作付計画数量：172,958 トン、作付計画面積：34,870ha</p>	<p>福岡県水田農業推進協議会 （福岡県農林水産部水田農業振興課） TEL092-643-3473</p>
佐賀	<p>「生産のめやす」（公表日 2022/11/22）</p> <p>○ 令和 5 年産米の「生産のめやす」</p> <p>全国では、面積ベースで令和 4 年産と同規模の作付けを行えば、需給が均衡するという見解を示された。 これを踏まえ、佐賀県においても前年産と同水準とすることで、佐賀米の安定供給を図る。</p> <p>・ 令和 5 年産米の「生産のめやす」：127,724 トン（面積換算値 24,609ha）</p> <p>※参考 ・ 令和 4 年産米の「生産のめやす」：127,724 トン（面積換算値 24,609ha）</p>	<p>佐賀県農業再生協議会（佐賀県農林水産部園芸農産課） TEL0952-25-7117</p>
熊本	<p>「作付目安」（公表日 2022/12/23）</p> <p>・ 地域協議会等の主食用米の作付目標面積の積上げが、県の需要見込量（国が示した全国の需給見通しや、新型コロナ禍前と比較した県産米の在庫量を踏まえて算定）を下回ったため、作付目標面積の積上げを作付目安に設定。</p> <p>令和 5 年産米の作付目安 ＝域協議会等の主食用米の作付目標面積の積上げ（※） ＝31,030ha（数量換算値158,970トン） ※ 作付目標面積の積上げは、地域協議会が作成する水田収益力強化ビジョン等に記載された作付目標面積の合算値。</p>	<p>熊本県農林水産部生産経営局農産園芸課 TEL096-333-2388</p> <p><a href="http://www.kumamoto-suiden.jp/">http://www.kumamoto-suiden.jp/</a></p>
大分	<p>「生産の目安」（公表日 2022/11/25）</p> <p>1 設定の時期 11月25日</p> <p>2 算定方法</p> <p>(1) 県全体 平成 30 年産米 20,600 haの作付面積を基準として、国が示した需給の見通し及び水稻の作付実績を勘案したうえで、高収益な園芸品目等への転換促進、その他戦略作物（麦、大豆等）等への転換をすすめるため、令和 5 年産の目安を 18,481ha とする。</p> <p>(2) 市町村への提示 令和 5 年産の目安 18,481ha に令和 4 年産主食用米作付面積の市町村別シェアを乗じる。</p>	<p>大分県農林水産部水田畑地化・集落営農課水田活用推進班 TEL097-506-3593</p> <p><a href="https://www.pref.oita.jp/soshiki/15280/5mokuhyou.html">https://www.pref.oita.jp/soshiki/15280/5mokuhyou.html</a></p>

